

# 業 務 年 報

Report of Iwate Industrial Research Institute

平成14年度 (2002)

岩手県工業技術センター

# 目 次

## 総括

- 1	沿革	4
- 2	規模	6
- 3	組織及び業務	7
- 4	職員	
(1)	職員現員表	8
(2)	職員一覧表	8
(3)	職員の異動	10
- 5	業務実績総括表	11
- 6	歳入歳出予算	12
- 7	表彰	14
- 8	学位取得	14
- 9	職員の研修派遣	14

## 研究業務

- 1	試験研究テーマ一覧	13
- 2	試験研究の概要	17
- 3	成果の公表	
(1)	口頭発表	22
(2)	誌上発表	25
(3)	知的財産権	26

## 支援業務

- 1	現地対応技術支援実績	
(1)	企業訪問	27
(2)	技術アドバイザー派遣	29
(3)	地域活性化アドバイザー登録者名簿	30
- 2	講習会	
(1)	国庫補助事業	33
(2)	県単独事業	34
(3)	中小企業事業団	36
- 3	派遣	
(1)	講師	37
(2)	委員	39
(3)	審査員	43
(4)	その他	45

## 試験・設備利用業務

- 1	依頼試験	48
- 2	設備利用	
(1)	施設使用	49
(2)	機械器具貸付	49

## 人材養成業務

- 1 中小企業開発能力強化推進事業	
(1) 長期共同研究	5 0
(2) 短期共同研究	5 1
(3) 開放施設利用等講習	5 2
- 2 アドバンスＴＯＲＴ事業	5 3
- 3 研修生の受入れ	5 3
- 4 海外技術研修員の受入れ	5 3

## 技術情報業務

- 1 定期刊行物の発行	5 4
- 2 技術情報のオンライン検索	5 4
- 3 特許情報等の提供	5 4
- 4 知的所有権センター	5 4
- 5 広報活動	
(1) 研究等成果発表会	5 7
(2) 一般公開	5 7
(3) 各種展示会での成果発表	5 8
(4) 成果の新聞等への掲載	5 9
(5) 所内見学者	6 3
(6) 来所者	6 4

## その他の業務

- 1 産業技術連携推進会議	6 5
- 2 試験研究機関関連会議	6 6

## 他団体支援業務

- 1 知的財産権制度の普及・発明くふう展	6 7
- 2 (財)いわて産業振興センター支援業務	6 7
- 3 技能検定	6 8
- 4 研究会等	6 9

## 運營業務

- 1 工業技術研究推進会議	7 2
----------------	-----

## 〔参考資料〕

1 主要設備機器	
(1) 日本自転車振興会補助事業	7 5
(2) 国庫補助事業	7 6
(3) 県単独事業	8 1
2 知的財産権の取得・出願状況	8 2
3 職員の海外研修・海外調査	8 5
4 海外発表	8 6
5 主要行事及び特記事項一覧表	8 7

# I 総括

## -1 沿革

- 明治 6年 岩手県勧業試験所 (その組織は農工両試験場を兼ねた)として創立。
- 明治 9年 機業場を設置。(伝習生を採用し、各種織物の指導並びに製作業務)
- 明治 24年 物産陳列所創立。(商品の改良並びに販路拡張等営業者の指導業務)
- 明治 34年 機業場を染織講習所と改め、試験研究を従とし、生徒の養成を主とする
- 大正 4年 染織試験場と改めて、生徒養成の目的を変更し、これを従とし、研究指導本位に復す。
- 大正 10年 染織試験場を「岩手県工業試験場」と改称し、染織/金工/木工/図案/応用化学の5部制の総合試験場として発足。また、物産陳列所を商品陳列所と改称。(農商務省令商品陳列所規則改正による)
- 大正 12年 盛岡市内丸に庁舎新築。(本県のコンクリー近代建築第1号の本館と工場2棟)
- 大正 14年 岩手県工業試験場と岩手県商品陳列所が統合し、岩手県商工館と改称するとともに、図案部及び応用化学部廃止。
- 昭和 8年 商品陳列所と分離、再び岩手県試験場と称し、図案部を復活。
- 昭和 10年 応用化学部を復活。
- 昭和 12年 分場として花巻窯業試験所を設置。
- 昭和 18年 岩手県工業指導所と改称し、指導部/研究部の2部制とし、研究部に金工科/木工科/資源科を設置。花巻窯業試験所は廃止。
- 昭和 21年 図案部を復活、庶務/金工/木工/図案/応用化学/工業相談の6部制。
- 昭和 23年 繊維工業部 (旧染織部)を復活。また、図案部を企劃部にする。農村工業部を新設。
- 昭和 25年 応用化学部を資源部に、企劃部を経営研究部に改称。工業意匠部を新設。(経営研究部の図案部門を分離)農村工業部廃止。(農村工業指導所新設)
- 昭和 27年 醸造部を新設し8部制となる
- 昭和 36年 金工/木工/資源/工業意匠の各部を、それぞれ機械金属/木材工芸/応用化学/産業意匠の各部に改称。
- 昭和 41年 醸造部が分離独立し、紫波郡都南村 (現盛岡市)津志田の新庁舎に移転し「岩手県醸造試験場」として発足する。
- 昭和 43年 紫波郡都南村 (現盛岡市)津志田の新庁舎に移転し、岩手県工業試験場と改称。また、木材工芸部を木材工業部に、応用化学部を分析化学部にそれぞれ改称し、庶務/機械金属/木材工業/分析化学/繊維工業/産業意匠の6部制となる。
- 昭和 47年 水沢分室を水沢市羽田町字並柳に新築移転。

昭和 48年	岩手県醸造試験場を「岩手県醸造食品試験場」と改称。庶務部、醸造部、醗酵食品部の3部制となる。
昭和 49年	醸造食品試験場に保存食品部を新設し、4部制となる。隣接地に新館完成、岩手県工業試験場の特許相談係を廃止し、庶務係と改称。また企画情報係を新設。
昭和 50年	岩手県醸造食品試験場に、流通技術部を新設し、5部制となる。
昭和 51年	岩手県工業試験場の庶務部を管理部に、分析化学部を建築材料部と改称。また、繊維工業部と産業意匠部を統合し、特産工業部を新設、5部制となる。
昭和 54年	岩手県工業試験場の建築材料部を化学部と改称。
昭和 59年	岩手県醸造食品試験場の、保存食品部と流通技術部を統合し、保存流通部を新設し、4部制となる。
昭和 63年	岩手県工業技術センター基本計画策定。
平成 5年	岩手県工業試験場、岩手県醸造食品試験場が、盛岡市飯岡新田の新庁舎(現 岩手県工業技術センター)に移転する。
平成 6年	岩手県工業試験場、岩手県醸造食品試験場の両試験場が統合し、「岩手県工業技術センター」として発足する。総務/企画情報/電子機械/木工特産/金属材料/化学/応用生物/醸造技術/食品開発の9部制となる。岩手県立産業デザインセンターが併設され、総務部及び木工特産部の全職員が兼務発令される。
平成 8年	知的所有権センター設置。
平成 13年	岩手県立産業デザインセンターの運営を岩手県工業技術センターで行うこととし、職員の兼務発令を解く。木工特産部を特産開発デザイン部と改称。
平成 14年	岩手県工業技術センター水沢分室廃止。(3月31日)

以上

-2 規 模

(1)岩手県工業技術センター (岩手県立産業デザインセンターを含む)

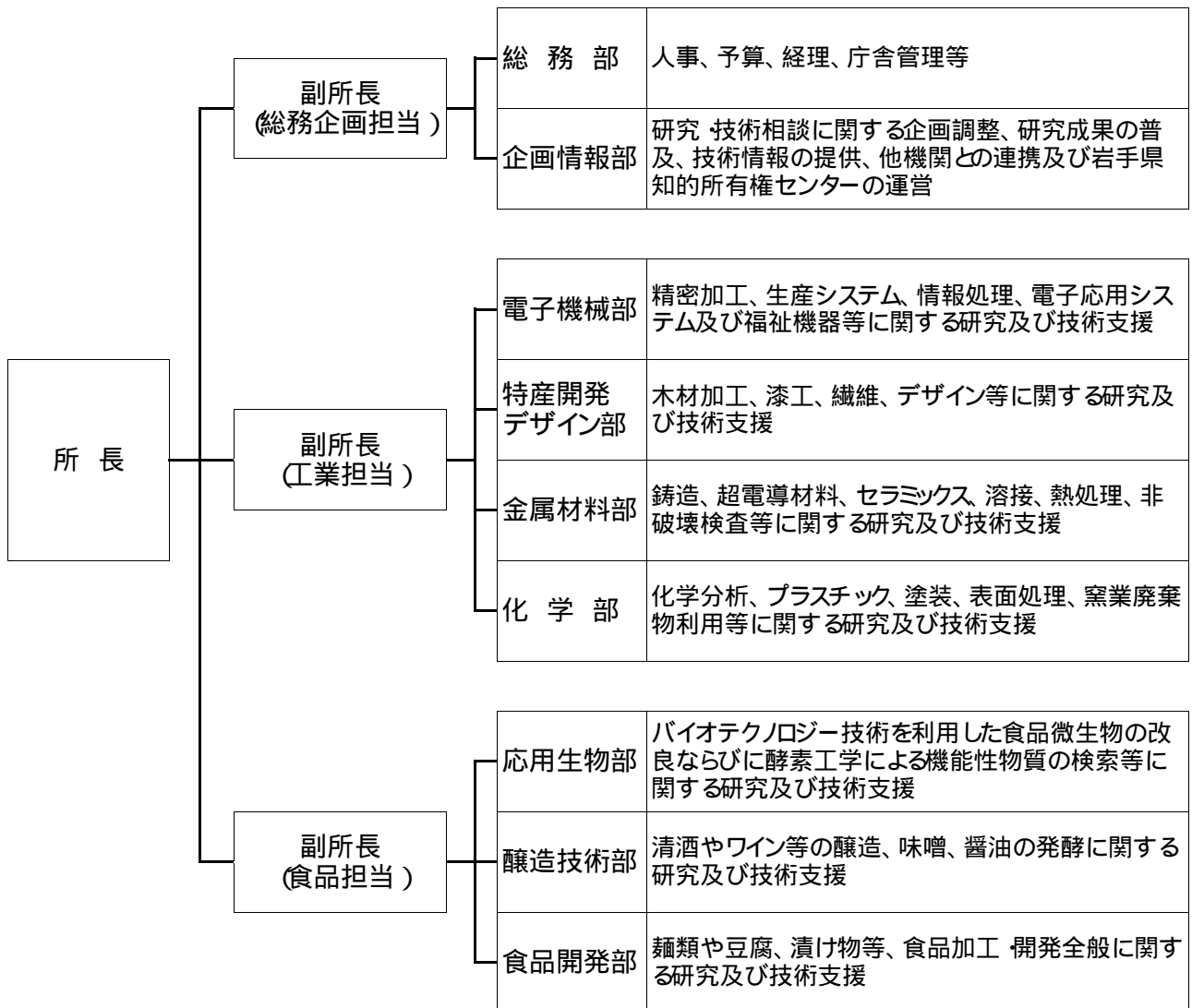
(盛岡市飯岡新田3-35-2 〒020-0852 TEL 019-635-1115、FAX 019-635-0311)

敷地面積 81,736.70m<sup>2</sup> 延床面積 15,866.20m<sup>2</sup>

(単位 : m<sup>2</sup>)

建 物 名	建築面積	床 面 積						備考
		地 1階	1階	2階	3階	塔屋	計	
本 館 棟	4,536.66	524.38	3,823.88	2,994.17	2,628.98	64.32	10,035.73	鉄筋コンクリート造
接続廊下 A			142.72				142.72	〃
接続廊下 B			145.84				145.84	〃
醸造・食品加工実験棟	1,559.89	40.35	1,429.95	93.82			1,564.12	〃
特産工業実験棟	1,589.66		1,464.07	67.90			1,531.97	〃
工業材料実験棟	1,410.37		1,291.05	53.35			1,344.40	〃
電子機械実験棟	967.45		886.35	102.50			988.85	〃
車 庫 棟	81.20		81.20				81.20	鉄骨造
P C B 保管庫	4.12		4.12				4.12	〃
ガスボンベ庫	6.00		6.00				6.00	鉄筋コンクリート造
P H 処 置 槽	21.25		21.25				21.25	〃
計	10,176.60	564.73	9,296.43	3,311.74	2,628.98	64.32	15,866.20	

-3 組織及び業務



I-4 職員

(1) 職員現員表

区分	行政職				研究職								技能職		計
	副所長	部長	主任	主事	所長	副所長	首席専門研究員兼部長	部長	上席専門研究員	主任専門研究員	専門研究員	技師	主任技能員	技能員	
所長					1										1
副所長	2					1									3
総務部		1	1	4										1	7
企画情報部				1				1	1	3	1				7
電子機械部								1	1	5	2				9
特産開発デザイン部							1		2	1	2		1		7
金属材料部							1		3	3	2				9
化学部								1	4	2	1				8
応用生物部							1		1	1	2				5
醸造技術部								1	1	3					5
食品開発部								1	1	2		1			5
計	2	1	1	5	1	1	3	5	14	20	9	1	1	1	66

(2) 職員一覧表

H15. 3. 31

内部組織	職名	氏名	内部組織	職名	氏名
	所長	斎藤 紘一	企画情報部	企画情報部長	畠山 幸男
	副所長(総務企画)	杉田 臣郎		上席専門研究員	藤澤 充
	〃 (工業)	山本 一之		主任専門研究員	鎌田 公一
	〃 (食品)	手塚 敏幸		〃	茨島 明
総務部	主幹兼総務部長	高越 文雄		〃	伊藤 良仁
	主任	吉田 幸子		専門研究員	飯村 崇
	主事	佐々木 博昭		主事	賢木 祐
	〃	平野 真由美			
	〃	照井 康子			
	〃	梅澤 貴次			
	運転技士兼ボイラー技士	中鉢 武志			



内部組織	職 名	氏 名
電子機械部	電子機械部長	田中 慎造
	上席専門研究員	若槻 正明
	主任専門研究員	泉田 福典
	〃	長谷川 辰雄
	〃	堀田 昌宏
		和合 健
	〃	菊地 利雄
	専門研究員	遠藤 治之
	〃	園田 哲也
特産開発デザイン部	首席専門研究員兼特産開発デザイン部長	湯口 靖彦
	上席専門研究員	町田 俊一
	〃	浪崎 安治
	主任専門研究員	有賀 康弘
	専門研究員	東矢 恭明
	〃	長嶋 宏之
	主任技能員	久慈 省一郎
金属材料部	首席専門研究員兼金属材料部長	南幅 留男
	上席専門研究員	高橋 幾久雄
	〃	米倉 勇雄
	〃	勝負澤 善行
	主任専門研究員	桑島 孝幸
	〃	池 浩之
	〃	齋藤 貴
	専門研究員	高川 貫仁
	〃	小野 元

内部組織	職 名	氏 名
化学部	化学部長	小向 隆志
	上席専門研究員	島津 裕子
	〃	瀬川 晃児
	〃	佐々木 英幸
	〃	穴沢 靖
	主任専門研究員	佐々木 秀幸
	〃	鈴木 一孝
	専門研究員	藤原 智徳
	応用生物部	首席専門研究員兼応用生物部長
上席専門研究員		山本 忠
主任専門研究員		小浜 恵子
専門研究員		岸 敦
〃		平野 高広
醸造技術部	醸造技術部長	櫻井 廣
	上席専門研究員	中山 繁喜
	主任専門研究員	畑山 誠
	〃	米倉 裕一
	〃	高橋 亨
食品開発部	食品開発部長	遠山 良
	上席専門研究員	関村 照吉
	主任専門研究員	笹島 正彦
	〃	武山 進一
	技 師	山口 佑子

③ 職員の異動

内 部 組 織	職 名	氏 名	発令年月日	内 容	旧 所 属 ・ 異 動 先 等
	所 長	斎 藤 紘 一	H 1 4 . 4 . 1	採 用	
総 務 部	主 事	平 野 真 由 美	"	転 入	盛岡地方振興局農政部
化 学 部	上席専門研究員	島 津 裕 子	"	"	環境保健研究センター
企 画 情 報 部	主 事	賢 木 祐	H 1 4 . 1 0 . 1 6	採 用	
電 子 機 械 部	専 門 研 究 員	遠 藤 治 之	H 1 4 . 9 . 1	"	
総 務 部	主 任	相 馬 政 江	H 1 4 . 4 . 1	転 出	農 業 研 究 セ ン タ ー
"	"	藤 井 秀 一	"	"	出 納 局 総 務 課
化 学 部	上席専門研究員	佐 々 木 陽	"	"	環境保健研究センター
	副 所 長 (食 品 )	手 塚 敏 幸	H 1 5 . 3 . 3 1	退 職	
総 務 部	部 長	高 越 文 雄	"	"	

-5 業務実績総括表

業務 担当部	試験研究業務		支 援 業 務			
	主 要 研 究 (テ-マ)	基 盤 先 研 導 究 (テ-マ)	個 別 指 導			
			アドバイザー派遣		企業訪問 (企業数)	技術相談 (件)
			(企業数)	(日数)		
総務部・企画情報部	-	-	-	-	29	36
電子機械部	17	4	-	-	130	422
特産開発デザイン部	9	-	-	-	103	730
金属材料部	13	3	5	9	142	290
化学部	11	3	-	-	81	473
応用生物部	5	4	-	-	33	123
醸造技術部	4	2	-	-	42	369
食品開発部	4	2	-	-	50	235
プロジェクト	2	-	-	-	-	-
計 ( )前年度実績	65 (47)	18 (18)	5 (7)	9 (11)	610 (218)	2,678 (1,707)

注) 主要研究テーマ数はテクノブリッジ推進事業(長期共同研究テーマ)およびアドバンスORT事業を含む。

業務 担当部	支 援 業 務							技術情報業務	依頼業務	資質の 向上	
	集団支援 (回)			技術者の育成				技術情 報誌の 発行 (部)	技術情 報オン ライン 検索 (件)	依頼試験 (件)	中小企業 大学校へ の派遣 (人)
	講習会		研 究 会	テクノブリ ッジ推進事 業 (人)	アドバンス ORT事業 (人)	研 修 生 の 受 入 (人)	海外技術研修 員の受入 (人)				
	国	県									
総務部・企画情報部	-	-	-	-	-	1	-	2,700 × 1回	JOIS 10件	43	2
電子機械部	15	5	5	10	6	4	-			153	1
特産開発デザイン部	6	3	3	18	1	-	1			24	-
金属材料部	5	-	17	6	4	1	2			117	-
化学部	2	2	-	8	2	-	-			2,113	-
応用生物部	-	2	3	4	-	1	-			32	1
醸造技術部	-	2	2	10	-	-	-				-
食品開発部	-	8	-	6	-	-	-				-
計 ( )前年度実績	28	22	30 (39)	62 (13)	13 (13)	7 (10)	3 (2)	2,700 (2,700)	10 (13)	2,851 (2,079)	4 (5)

## -6 歳入歳出予算

(歳入)

(単位:千円)

科 目	2 月 現 計 予 算 額			14 年 度 内 容
	14年度 A	13年度 B	増減 A-B	
8款 使用料及び手数料	13,160	11,406	1,754	電波暗室 行政財産使用料 依頼試験手数料
9款 国庫支出金	109,897	163,272	53,375	国庫補助金 国庫委託金
10款 財産収入	7,998	5,906	2,092	機械器具貸付収入 生産物売払収入
13款 諸収入	31,263	23,750	7,513	自転車振興会補助金 受託事業収入 テクノリッジ推進事業参加料 アドバイザー、国庫講習会企業負担金ほか
計	162,318	204,334	42,016	

内訳 清酒2,500?、清酒酵母3,732本/100m?、清酒粕175 kg(普通酒) 120 kg(吟醸酒) 味噌920kg

(歳出)

7款 1項 7目 (工業技術センター費)

(単位:千円)

科 目 ( 節 )	一 般 行 政 経 費 A				主要経費 B	2 月 現 計 予 算 額		
	管理運営費	試験研究費	指導事務費	(小計)		14年度 (A+B) C	13年度 D	増減 C-D
02 給与	302,774	0	0	302,774	0	302,774	311,940	9,166
03 職員手当	176,913	0	0	176,913	0	176,913	191,828	14,915
04 共済費	91,021	230	200	91,451	762	92,213	99,498	7,285
07 賃金	1,800	1,800	1,800	5,400	5,986	11,386	18,244	6,858
08 報償費	0	385	362	747	1,163	1,910	2,715	805
09 旅費	336	3,900	1,643	5,879	10,356	16,235	20,011	3,776
11 需用費	57,616	15,019	2,285	74,920	20,447	95,367	109,551	14,184
12 役務費	1,254	400	2,393	4,047	375	4,422	5,721	1,299
13 委託料	51,458	11,826	2,560	65,844	15,601	81,445	85,858	4,413
14 使用料及び賃借料	15,652	0	200	15,852	75	15,927	16,032	105
15 工事請負費	0	0	0	0	0	0	0	0
16 原材料費	0	2,471	0	2,471	5,065	7,536	9,592	2,056
18 備品購入費	1,655	2,719	0	4,374	223,367	227,741	302,274	74,533
19 負担金、補助金及び交付金	9	900	102	1,011	0	1,011	1,375	364
27 公課費	89	0	0	89	8	97	41	56
計	700,577	39,650	11,545	751,772	283,205	1,034,977	1,174,680	139,703

(注) 上記は2月現計予算額であり 決算額とは若干の相違がある。

(歳出予算事業別内訳)

(単位:千円)

事業名	2月現計予算額			14年度事業内容	
	14年度A	13年度B	増減A-B		
一般行政経費	管理運営費	700,577	728,671	28,094	職員人件費、光熱水費、庁舎管理業務委託料等
	試験研究費	39,650	38,042	1,608	基盤的先導的技術研究推進事業、試験機器保守点検料等
	指導事務費	11,545	10,393	1,152	技術アドバイザー事業等国庫補助事業等
	(小計)	751,772	777,106	25,334	
主要経費	管理運営費	925	1,440	515	分煙対策室内改修修理
	公設試共同研究推進事業	4,207	67,541	63,334	複数の公設試研究機関の共同による先端技術等の研究開発
	福祉機器開発事業	5,028	5,131	103	安価で使いやすい福祉機器・用具の開発
	特定産業集積活性化関連支援強化事業	188,630	241,973	53,343	研究開発、人材育成、交流連携及び設備導入
	設備整備費	26,744	41,320	14,576	試験研究設備購入(自転車振興会補助)
	木質バイオマス燃焼装置試作開発事業	12,780		12,780	木質バイオマスを燃料とする試作ストーブの開発及びマーケティング調査
	素材再利用による新材料製造技術開発事業	26,255		26,255	現状製品より3倍以上の耐久性が優れる材料の開発
	県産清酒品質向上研究推進事業*	3,000		3,000	県産オリジナル原料による吟醸酒の開発、商品化及び酒質の向上
	地域新生コンソーシアム研究開発事業*	3,791		3,791	産学官の共同研究による再生超硬合金製造技術の開発及び廃棄物を混和材に使用する技術開発等
	東北地域の硬質小麦を用いた高品質パン類の開発事業*	3,358		3,358	国産パン用品種を用いた製パン技術の検討、新商品開発の提案等
	中小企業開発能力強化推進事業(テクノブリッジ推進事業)	8,487		8,487	県内中小企業との長期、短期の共同研究及び開放設備講習の実施
	指導事務費		4,664	4,664	
	地域先端技術等共同研究開発促進事業		4,010	4,010	
	環境にやさしい機能性新素材利用事業		7,864	7,864	
	高温超電導体試作開発事業		4,677	4,677	
	技術パイオニア養成事業		3,834	3,834	
	県産吟醸酒商品化研究推進事業*		3,178	3,178	
	フードシステム高度化対策事業		11,942	11,942	
	(小計)	283,205	397,574	114,369	
合計	1,034,977	1,174,680	139,703		

(注) 1 上記は2月現計予算であり、決算額とは若干相違がある。

2 は国庫補助事業

3 \*は受託事業

## -7 表彰

表彰区分	職名	氏名	事績の概要	受賞日
岩手県職員表彰 (事績顕著者)	上席専門研究員	穴 沢 靖	低温環境下で使用可能な水系下塗り塗料の開発に取り組み、その実用化に貢献した。	H14.10.24
岩手県部局長表彰	主任専門研究員	齋 藤 貴	世界最高の性能(従来の5倍以上の性能)を持つ超電導材料を開発し、今後の超電導材料技術の確立に貢献した。	H14.12.17
	主任専門研究員	鎌 田 公 一		

## -8 学位取得

学位区分	学位取得者		取得年月日	学位論文タイトル
	職名	氏名		
博士 (ソフトウェア情報学) (岩手県立大学 大学院)	主任専門研究員	長谷川 辰 雄	H15.3.18	格子パターンによる効果的3次元画像計測に関する研究

## -9 職員の研修派遣

研修名	期間	派遣場所	所属・役職・氏名
岩手県政策課題海外派遣研修	6月22日 ~30日	アメリカ	電子機械部 主任専門研究員 長谷川辰雄
特許庁知的財産権研修	6月24日 ~28日	経済産業省 経済産業研修所	企画情報部 専門研究員 飯村 崇
中小企業大学校中小企業支援担当者研修課程 5日間コース 研究開発マネジメント	7月29日 ~8月2日	中小企業大学校東京校	企画情報部 主任専門研究員 鎌田公一
活性化担当者研修	10月1日 ~3日	中小企業大学校東京校	企画情報部 上席専門研究員 藤澤 充
中小企業大学校中小企業支援担当者研修課程 1ヵ月コース 製品開発(、、)	11月11日 ~12月6日	中小企業大学校東京校	応用生物部 専門研究員 平野高広
中小企業大学校中小企業技術指導員養成課程 3日間コース 中小企業支援機関の役割と期待	1月15日 ~17日	中小企業大学校東京校	電子機械部 部長 田中慎造
いわてISO14001研究会	7月29日 ~2月4日 (計 11回)	マリオス	電子機械部 主任専門研究員 和合 健 特産開発デザイン部 専門研究員 長嶋宏之

# 研究業務

## -1 試験研究テーマ一覧

No.	担当部	テーマ名	事業名	事業年度		担当
1	(電機)	アクティブセンシングによる非破壊検査システムの開発	公設試共同研究推進事業	11 ~ 14	国庫	泉田
2		工具摩耗自動補正機能を持つオープンCNCシステムの開発		12 ~ 14	国庫	若槻
3		次世代クリエイティブソリューションシステムの研究		12 ~ 14	国庫	長谷川
4		超精密加工技術の開発	特定産業集積活性化関連機関支援強化事業 - 研究開発事業	11 ~ 14	国庫	堀田
5		SQUID応用計測システムの開発	ネットワーク型磁気活用研究拠点形成推進事業	11 ~ 15	受託	菊地
6		カーボンナノチューブの応用に関する研究	基盤的・先導的技術研究推進事業	14	県単	泉田
7		秋鮭の画像処理品質判定システムに関する研究		14	県単	長谷川
8		自然エネルギー利用技術に関する研究		14	県単	菊地
9		木質バイオマスガス化燃焼基礎研究		14	県単	園田
10	プロジェクト	人に優しい福祉機器の開発	福祉機器開発事業	11 ~ 14	県単	藤澤 米倉(勇)
11		木質ペレットストーブ試作開発	木質バイオマス燃焼装置試作開発事業	13 ~ 14	県単	田中
12	(特産)	金型設計等におけるCADデータ転送時の互換性問題解決	特定産業集積活性化関連機関支援強化事業 - 研究開発事業	13 ~ 14	国庫	町田
13		地場産業製品へのユニバーサルデザインの導入	ユニバーサルデザイン開発技術普及推進事業	13 ~ 15	県単	町田
14	(金属)	オーステンパ球状黒鉛鋳鉄の高度化	特定産業集積活性化関連機関支援強化事業 - 研究開発	10 ~ 14	国庫	茨島
15		耐磨耗性に優れたコンポキャストマテリアルの開発とその応用	素材再利用による新材料製造技術開発事業	14 ~ 16	国庫	池
16		軽希土類系酸化物超電導バルク材料の接合に関する研究	高温超電導体試作開発事業	14	県単	齋藤
17		廃棄超硬合金のリサイクルによる再生超硬合金の製造技術の開発	即効型地域新生コンソーシアム研究開発事業	14	受託	小野
18		鋳物製品のホーロー加工技術	基盤的・先導的技術研究推進事業	14	県単	米倉
19		小型キュボラ溶解技術の高度化		14	県単	勝負澤
20	低環境負荷型光触媒皮膜の製造技術に関する研究	14		県単	桑島	
21	(化学)	フッ化カルシウム汚泥のコンクリート混和材への応用	地域新生コンソーシアム研究開発事業	14 ~ 15	国庫	佐々木(秀)
22		トリアジンチール有機ナノ薄膜の高機能発現研究開発	都市エリア産学官連携促進事業	14 ~ 16	国庫	鈴木
23		磁気利用による有機めっき法における膜制御技術の開発	ネットワーク型磁気活用研究拠点形成推進事業	11 ~ 15	受託	鈴木
24		還元窒化処理した低品位粘土鉱物の特性評価	基盤的・先導的技術研究推進事業	14	県単	瀬川
25	(化学)	溶融・結晶制御技術による産業廃棄物の無害化と有効活用	基盤的・先導的技術研究推進事業	14	県単	佐々木(秀)

No.	担当部	テーマ名	事業名	事業年度		主担当者
26	(化学)	無機系廃棄物の再資源化技術に関する研究	基盤的 先導的技術研究推進事業	14	県単	藤原
27	(応生)	岩手県産大豆の加工特性について	県産大豆生産販売緊急対策事業	13 ~	受託	大澤
28		岩手県産大豆の加工特性について	県産麦・大豆生産振興対策事業	9 ~ 16	受託	山口
29		リグニン分解微生物の検索	基盤的 先導的技術研究推進事業	14	県単	山本
30		食品中の有用成分の測定と抗酸化性評価法の開発		14	県単	小浜
31		生物素材の高度利用化に関する研究		14	県単	岸
32		天然循環資源を主原料とする成形品加工技術の開発		14	県単	平野
33		県産清酒の品質向上に関する研究	県産清酒品質向上研究推進事業	14 ~ 16	受託	中山
34	(醸造)	ヤマブドウの成分分析及び新商品開発に関する研究	研究機関共同研究推進事業	12 ~ 14	県単	米倉
35		新発酵調味液ベースの開発	基盤的 先導的技術研究推進事業	14	県単	畑山
36		優良醸造微生物の育種選抜		14	県単	米倉
37	(食開)	岩手県産小麦の加工特性について	県産麦・大豆生産振興対策事業	9 ~ 16	受託	関村
38		国産パン用品種の実用化	21世紀プロジェクト	14	受託	関村
39		県産素材を活用した機能性食品の開発	基盤的 先導的技術研究推進事業	14	県単	笹島
40		冷麺の老化防止と早茹でに関する基礎研究		14	県単	武山



## -2 試験研究の概要

### 1 いわて型ペレットストーブの開発

電子機械部 園田哲也、堀田昌宏  
田中慎造、遠藤治之  
特産開発デザイン部 東矢恭明  
金属材料部 高川貫仁  
サンボット(株) 真賀幸八、落合 昇  
北田 佳晴

木質バイオマスエネルギーは「持続可能な循環型社会」を形成する上で、地球環境への負荷を抑制し、資源の有効活用を促進する事から、日本各地でその利活用に関する取り組みが急速に活発化している。木質バイオマスエネルギーの利用拡大と普及啓発を目的として、これまで外国製のペレットストーブでは完全燃焼させる事が困難であった樹皮 100%のペレットを燃料とし、県産品である南部鉄器を利用したいわて型ペレットストーブの開発を行った。

### 2 創生放電加工による加工精度評価

電子機械部 和合 健、田中慎造  
創成放電加工を企業での製品製造のための実用的な加工技術とするために、加工精度、加工時間、WEDG (ワイヤ放電研削法)などの事項について加工実験を行った。その結果、有用な結果が得られ十分に実用加工として適応できることを確認した。

### 3 カーボンナノチューブの応用に関する研究

電子機械部 泉田福典、田中慎造  
岩手大学工学部電子工学科 馬場 守  
4H-SiC の表面分解法により作成した CNT (カーボンナノチューブ)薄膜を TEM (透過型電子顕微鏡)により観察し、その厚さを評価した。さらに 6H-SiC や N 形、P 形の 4H-SiC でも表面分解法を実施し、Raman 散乱スペクトルの測定によって基板表面の評価を行った。その結果、いずれの基板でも CNT による散乱ピークが観測された。さらに、SiC 基板上に作成した CNT 薄膜上に固体電解質と正極を堆積し、薄膜 Li 電池の充放電特性を測定した。

### 4 秋鮭の画像処理品質判定システムに関する研究

電子機械部 長谷川辰雄、田中慎造  
秋鮭の品質等級の選別は岩手県が最も細分化されているが、その基準は必ずしも一定ではない。これは、明確な選別基準が無いことや、人手選別によるバラつき、地域の目的に応じた合理的な選別など、様々

な要因が考えられる。また、食品加工では、衛生面から人手による選別よりも、自動機械による選別が望まれている。このような背景から本研究では、画像処理による鮭の自動品質判定を行い、選別基準の一定化と衛生管理の向上を目的とする。品質判定の方法は、カラー画像センサによって、鮭の体表面に現れる赤色模様の面積を計算することで判定を行った。本実験は4種類の鮭の画像撮影を行い、一定の判定基準が設定可能であることについて述べる。

### 5 SQUID 応用計測システムの開発

電子機械部 菊地利雄、田中慎造  
岩手大学工学部 大坊真洋  
半導体の検査を主目的としたレーザー-SQUID 顕微鏡の開発を行っている。非侵襲、非接触の計測が可能であり、高温超伝導 SQUID マグネットメータとレーザーダイオードを組み合わせることにより、空間分解能の向上を図っている。レーザーダイオードに 684、783、809、851nm と複数波長を使用することにより p-n 接合を有する単結晶シリコンの少数キャリア拡散長を精度よく算出することが可能となった。また、太陽電池で多用される多結晶シリコンの結晶粒界を検出することができることも明らかとなった。

### 6 振動切削加工技術の基礎的研究

電子機械部 堀田昌宏  
金属材料部 池 浩之、勝負澤善行、高川貫仁  
化学部 鈴木一孝  
企画情報部 飯村 崇  
開発された耐摩耗性に優れた新素材を加工するため、工具刃先に超音波振動を付加する振動切削方法を用いて、鋼系高硬度材料及び超硬を被削材とした基礎的な加工実験を行った。その結果、今回の切削条件において、切削速度を遅くすると正常な加工は期待できないこと、削り誤差は振動切削を用いた場合小さくなることがわかった。

### 7 県産木材製家具へのユニバーサルデザインの導入

特産開発デザイン部 町田俊一、東矢恭明  
長嶋宏之、有賀康弘  
平成 13 年度から、岩手県で生産されている各種日用品を対象に、ユニバーサルデザインの導入を目的とする、ユニバーサルデザイン推進事業を実施している。平成 14 年度は家具をテーマに、12 点の事例開発を行い、ハンドブックを作成した。

## 8 TiO<sub>2</sub>光触媒溶射皮膜の脱臭性能

金属材料部 桑嶋孝幸、高橋幾久雄  
応用生物部 小浜恵子、平野高広  
(株)釜石電気製作所 佐藤一彦、太田利夫  
木村貞則

岩手大学工学部建設環境工学科 伊藤 歩  
アナターゼ型 TiO<sub>2</sub>を高速フレイム溶射装置を使用して、光触媒溶射皮膜を製膜しその脱臭試験を行った。溶射は燃料ガスとしてプロピレン-酸素を使用し、溶射皮膜を形成した。表面及び断面はSEMによる観察を行った。アナターゼ型 TiO<sub>2</sub> からルチル型 TiO<sub>2</sub> への転移はX線回折装置により確認し、また、脱臭試験は、アセトアルデヒドを使って評価を行った。併せて、耐候性試験装置により皮膜の耐久性試験を行った。その結果、(1)皮膜中のアナターゼ残存率は、約 85%であった。(2)アセトアルデヒド分解実験では、初期濃度 100ppm のアセトアルデヒドが約 30 分でほとんど分解された。(3)耐久試験では、1000 時間経過後の皮膜も分解時間はほとんど変わらなかった。

## 9 廃棄超硬合金粉末を用いた再生超硬合金の製造技術とその特性

金属材料部 小野 元、齋藤 貴  
企画情報部 鎌田公一  
岩手大学工学部 中村 満

廃棄超硬合金の再粉化技術によって得られる再生タングステンカーバイド(WC)粉末を用いた再生超硬合金の製造技術開発を行い、その機械的特性を市販 WC 粉末を用いて作製した市販超硬合金と共に評価した。市販超硬合金の硬さ及び抗折力は日本工業規格(JIS)を十分に満たす。一方、再生超硬合金は市販超硬合金に比べ硬さでは約 2%低く、抗折力では約 20%低い値を示すが、JIS をほぼ満足することが分かった。

## 10 トリアジンチオール蒸着重合膜への光磁場の活用

化学部 鈴木一孝  
岩手大学工学部 森 邦夫  
(財)いわて産業振興センター 叶 榮彬

真空蒸着法により、各種基板にシアリルアミノトリアジンチオール化合物(DA)の被膜を作製し、その光重合性に及ぼす磁場効果と成膜プロセスにおける磁気利用技術について検討した。1T 以下の汎用磁場で成膜する場合、基板により光重合率に磁場効果の違いが見られ、成膜初期の基板への吸着率と関係があることがわかった。また、成膜から光照射に至る成膜

プロセスにおける磁気活用として、特に光照射時に磁場が有効であることが確認された。強磁場を使った場合、基板に影響されず、光重合率は向上することがわかった。

## 11 木質バイオマスガス化燃焼基礎研究

電子機械部 園田哲也、遠藤治之、田中慎造  
地球温暖化対策の為、脱化石燃料への取組みが急務となっている中、木質バイオマスエネルギーの有効利用に関する技術開発が求められている。本研究では、木質バイオマスを燃料とした小規模ガス化コージェネレーションシステムの開発を最終目標とし、その予備研究として、木質ペレットのガス化について基礎的な実験を行った。実験で得られた主な結果として、CO ガス 25%vol と高濃度の可燃性ガスを得る事が出来た。

## 12 自然エネルギー利用技術に関する研究

電子機械部 菊地利雄、田中慎造  
自然エネルギー利用技術に関する研究として、太陽電池、その中でも次世代薄膜太陽電池として期待されている CIGS (CuInGaSe<sub>2</sub>)薄膜太陽電池に関する研究を行った。核となる CIGS 層は通常、真空蒸着によって製膜されるが、低コスト化の観点から微粒子をインク状にして塗布する非真空プロセスによる製膜を試みた。試作では、セレン化銅とセレン化インジウムの粉末を使用し、それぞれをインク状として 2 層に塗布し、2 層で約 8 μm 厚の CIS 層を形成することができた。

## 13 コンプレストウッド利用製品の実用化

特産開発デザイン部 浪崎安治、有賀康弘  
木製車いすの実用化について検討をした。昨年度の試験結果をもとに、木製車いすを再度試作し、JIS に規定されている強度試験に供した。その結果、自在輪に使用したキャストタイヤに問題が見られたものの、キャストタイヤの材質を変えることで問題を解決できることが認められた。その他については異常は認められなかった。これらの結果をふまえ、盛岡市内の建具組が木製車いすの製造販売をすることになった。

## 14 CADデータ交換に関する指導事業

特産開発デザイン部 長嶋宏之、町田俊一  
昨今、製造業において CAD/CAM システムの普及に伴い、データ交換時のトラブルが多く発生している。そこで、データ交換時に発生する問題を抽出し、それに対する解決策を検討した。そこで、光造形用データとして使用頻度が高い、「STL」、「IGES」形式のデータ

を事例とし、異なるシステム間でのデータ交換時の問題点を検証した。その結果下記の事項に配慮することで不具合を改善することができた。

1. CAD 間での許容精度やオブジェクト次数を適正値にする
2. CAD システムの独自機能の多用を避け、複雑な要素や極小要素を作らない
3. データ保存時にデータの品質を検証し、保存時の各種設定を適正に行う

#### 15 複合オーステンパ球状黒鉛鑄鉄の耐摩耗性

金属材料部 勝負澤善行、池 浩之、高川貫仁  
企画情報部 茨島 明

土木・産業機械の性能向上のため、高い耐摩耗性と強靱な機械的性質の鑄鉄材が必要とされている。これに対応して、鑄ぐるみにより超硬合金を複合化させたオーステンパ球状黒鉛鑄鉄を製作し、その耐摩耗性について検討を行った。その結果、次のことが明らかになった。

(1)超硬合金粉及び焼結体を球状黒鉛鑄鉄により鑄ぐるみ複合化することは容易であり、さらに超硬合金の割れを伴わずにオーステンパ熱処理が可能である。(2)超硬合金の複合化により、オーステンパ球状黒鉛鑄鉄及び球状黒鉛鑄鉄の耐摩耗性能を大きく向上できる。(3)超硬合金と球状黒鉛鑄鉄の鑄ぐるみ界面には、黒鉛層が晶出する。

#### 16 鑄鉄製厨房用品へのカラー珪瑯施工技術

金属材料部 米倉勇雄

鑄鉄製厨房用品に対する、欠陥の無いカラー珪瑯施工方法について検討した。その結果、ピンホール欠陥防止のためには、鑄物基材に対する脱ガス熱処理が非常に有効であることが判った。

また、軽微な欠陥が発生した製品については、時間と温度を調整した再焼成によって、その部分の補修が可能であることが明らかになった。

#### 17 コシキ溶解技術の高度化

金属材料部 勝負澤善行、高川貫仁、池 浩之  
企画情報部 茨島 明

コシキ炉溶解の操業安定化を目的に、溶解の基礎的調査を行い、さらにイオウ含有量の抑制、高温溶解技術について検討を行った。その結果、コークスの一部を木炭に代替することにより、イオウの増加を抑制することができた。また、空気と一緒に酸素ガスを吹き込むことにより、高い温度の鑄鉄溶湯を得ることができた。

#### 18 メッシュネットを用いた人体用簡易3次元計測

電子機械部 長谷川辰雄  
県立大学ソフトウェア情報学部 土井章男  
松田浩一

本研究では、オーダメイド靴の製作のための足計測を目的に、メッシュネットを利用した3次元形状計測のアルゴリズムを新規に開発した。ステレオマッチングによる3次元計測は従来から行われてきたが、この自動化は、最も困難で未だに不完全である。具体的には、左右2つの画像の同一点を自動的に決定することである。この解決には、実際に必要なアプリケーションの3次元計測精度によって様々な手法が存在する。我々が開発した「メッシュネットを使った足の3次元計測手法」は、細線化及び歪み修正アルゴリズムにより、マッチングの自動化を解決した。計測方法は、タイツのようなメッシュを足に履かせ、数台のデジタルカメラで撮影する。このとき、メッシュ交差点が、マッチング対応点となる。対応点が決まると、透視投影行列によって、メッシュ交差点の3次元座標が求まる。また、メッシュネットの構造は格子であるため、足の形状を分析する際に有効である。

#### 19 メッシュネットによる効果的な三次元足計測システムの開発

電子機械部 長谷川辰雄  
県立大学ソフトウェア情報学部 土井章男  
松田浩一

本研究は、オーダメイド靴作成のために、メッシュネットを活用し、足全体の形状計測に効果的な3次元計測手法を開発した。この計測は、メッシュネットを被せた足を、8台のデジタルカメラで撮影して行われる。メッシュ交差点の座標は、開発した画像処理フィルタによって抽出され、ステレオ計測の対応点として使われる。従来の3次元計測システムは、高額なレーザ装置と高速画像処理装置で構成され、一般ユーザにとって、足全体の形状を手軽に求めることが困難であった。そこで我々は、足全体の3次元の形状を、手軽に求められるようにメッシュの交差点を画像フィルタによって自動抽出する手法を考案した。特徴は、計測誤差が大きくなる箇所が、実計測の前に判定することができることである。これによって、必要なカメラ台数及び位置を決定することができる。また、計測点(メッシュ交差点)は、格子構造のため、足形状の構造解析に直接利用することができるデータ形式である。

## 20 ラジカル消去活性の測定とヤマブドウ抗酸化性に関する研究

応用生物部 小浜恵子、岸 敦、大澤純也  
醸造技術部 米倉裕一  
岩手大学農学部 澤井秀幸、長澤孝志

簡便、高感度かつ多試料を測定可能なラジカル消去活性測定法を確立するため、DPPH ラジカル消去活性、リノール酸メチルペルオキシド生成抑制、oxygen radical absorbance capacity (ORAC)を利用して検討し、ヤマブドウを試料として実際に測定を行った。ラジカル消去活性は試料のポリフェノール含量とほぼ比例し、いずれの方法でも試料間の差を検出することが可能であった。ORACは検出感度が非常に高く、1000倍に希釈した試料での検出が可能であった。また、試験管内でのタンパク質の非酵素的糖化抑制を測定したところ、ヤマブドウジュース搾汁残滓の効果が非常に大きかった。

## 21 県産ヤマブドウの果汁成分分析及び醸造試験

醸造技術部 米倉裕一、櫻井 廣  
食品開発部 山口佑子  
岩手県林業技術センター 泉 憲裕

県産ヤマブドウの選抜系統7系統について果汁分析及びジュースを製造し官能評価を行った。また、ヤマブドウワインの酸味を和らげる醸造法として、マセラシオンカルボニック(MC)処理とマロラクチック発酵(MLF)法の検討を行った。その結果酸の量に減少が見られ、醸造法による酸味改善の可能性が示唆された。

## 23 'ゆきちから'及び'ナンブコムギ'の製パン性

食品開発部 関村照吉、遠山 良

岩手県は平成15年に小麦の奨励品種として'ゆきちから'を採用した。また、既存小麦品種の'ナンブコムギ'は、今後市場出荷量が增加すると予想されることから、両品種の製パン性について市販パン用粉と比較評価した。その結果、両品種ともタンパク質含量は、市販のパン用粉よりも2から3%低く、中力粉の特性値であった。製パン性総合5段階評価では、市販パン用粉のパンを"A"とした場合、食パンを造った場合では'ゆきちから'は"B"、'ナンブコムギ'は"C"であった。フランスパンを造った場合では両品種とも"D"であった。両品種の食パンを比容積が大きく硬さも柔らかく製造できるパン生地のみキシングを検討したところ、高速みキシングをしない方が良かった。また、加水量を減らした場合は作業性は改善されたが、食パンの比容積は低下し硬くなった。食パンを保存したところ、'ゆきちから'の食パンは市販パン用粉の食パン同程

度にやわらかさが保持できた。

## 22 冷麺の早茹でと老化防止

食品開発部 武山進一、山口佑子、笹島正彦  
関村照吉、遠山 良

冷麺の調理方法の簡便化のために麺の早茹で化と冷麺が保存期間に硬化する現象(老化)について調査、検討した。早茹で化については、カップ麺方式での検討を行い、化工デンプン配合と細麺化によって加熱調理時間が短縮できることがわかった。冷麺製造後生麺を25℃1ヶ月保存すると、カップ麺として調理した場合茹で麺のHardness(かたさ)が約4割増加することを確認した。また、試用したいくつかの化工デンプンにこの硬化現象を抑える効果があることを確認した。

## 24 バイオマスを混合した生分解性成型品の試作

応用生物部 平野高広、大澤純也  
化学部 佐々木英幸  
金属材料部 米倉勇雄

バイオマスの有効活用および生分解性プラスチックの機能改変を目的として、小麦のふすま、末粉、根昆布粉末をポリブチレンサクシネートへ重量比1:1で混合し、成型した。成型試作品を、引張強度試験、酵素分解試験、浸漬試験、コンポスト分解試験で評価した。バイオマスを添加すると、引張強度は約1/3~1/6まで低下したが、酵素、浸漬、コンポストによる分解速度は10~800倍上昇した。

## 25 平成14年度産'吟ぎんが' 'ぎんおとめ'の酒造適性

醸造技術部 高橋 亨、中山繁喜  
畑山 誠、米倉裕一、櫻井 廣

平成14年度産'吟ぎんが'と'ぎんおとめ'について酒造用原料米全国統一分析、試験醸造を行った。平成14年度産米は両品種とも砕米率が高めであり、もろみ初期にポーメが出やすいが、もろみの適正管理によりもろみ後半は順調にポーメが減少する事がわかった。

## 26 岩手県産酒米育種系統の醸造適性評価( )

醸造技術部 高橋 亨、櫻井 廣

'吟ぎんが'を上回り「山田錦」並の酒造適性を有する酒造好適米選抜のため、県農業研究センターで育種されている4系統について酒造用原料米全国統一分析法に基づく原料米分析、見掛精米歩合50%精米試験、総米30kgの清酒醸造試験を行った。供試原料米の理化学分析において、酒造適性基準値を満たしているものは「江さけ432号」だけであった。また、見掛

精米歩合 50%精米試験は 4 系統とも「吟ぎんが」に比べ劣ることがわかった。「江さけ 431 号」、「江さけ 432 号」は醸造試験の結果、対照の「吟ぎんが」より酒質が劣り、酒質の点からも「吟ぎんが」に劣ることが明らかになった。

#### 27 低アルコール清酒の試験醸造

醸造技術部 中山繁樹、櫻井 廣

女性に好まれる低アルコール清酒の開発を目指し、酒質設計と試験醸造を行った。清酒を希釈しブドウ糖と酸味料を調合したモデル酒を使い女性パネラーによる嗜好調査を行った結果、クエン酸を添加して酸味を強調した酒が好まれることが分かった。また、液化仕込みで麹歩合の異なる酒を試験醸造し、同様の嗜好調査を行った結果、麹歩合を 10%程度に設定すると清酒らしい旨味と酸味の爽やかさが表れ好まれると思われた。

#### 28 白糖を原料とする色の薄い調味液

醸造技術部 畑山 誠、櫻井 廣

本研究の目的は、白糖を原料とする全窒素 1.0%以上、色度 50 番以上の色の薄い調味液を製造することである。調味液の着色を抑えるために、市販されている種麹、乳酸菌、酵母の選択を行った。その結果、ほぼ目標に到達し、全窒素 1.0%、色度 49 番の調味液を造ることが出来た。

#### 29 岩手県産大豆の豆腐加工適性

食品開発部 山口佑子、山本 忠

応用生物部 平野高広、岸 敦

小浜恵子、大澤純也

県産大豆の品種別および栽培条件別の加工適性について検討するために、奨励品種候補を含む 4 品種の一般成分、豆乳の性質、凝固特性などを調べ、併せて充填豆腐を製造し官能評価を行った。その結果、全ての品種で十分な強度を持つ充填豆腐が製造可能であることが示され、さらに栽培条件別の豆腐加工適性が明らかになった。

#### 30 膨化処理による機能性県産食品素材の活用

食品開発部 笹島正彦、遠山 良

機能性のある食材として注目されている各種色付き大豆（青大豆、茶豆、黒平豆）を使用した膨化菓子の製造法について検討した。その結果、大豆の種類により膨化度や風味が異なり、青大豆の場合あおばた豆よりもいわてみどりの方が膨化菓子の素材として適しており、穀類膨張機を使用した適切な膨化処理圧

力は 4~5kg/cm<sup>2</sup> の範囲であった。また、茶豆や黒平豆も 5kg/cm<sup>2</sup> で良好な膨化物が得られた。さらに、新規機能性膨化菓子製造の原材料とすることを目的に、デンプンをベースとした膨化食品の原料調製や、あらかじめ加熱調理したのち乾燥し、熱湯を注ぐだけで簡単に調理できる穀粒状即席粥の製造方法についても検討した。その結果、膨化食品原料については乾燥に長時間を要し、また、穀粒状即席粥については湯戻り性が不十分であり、実用化するためにはこれらの課題の検討が必要と考えられた。

- 3 成果の公表

(1) 口頭発表

No.	発表テーマ	発表者	発表会名	発表日	場所
電子機械部					
1	工具摩耗自動補正機能を持つオープンCNCシステムの開発	若槻正明、細田俊英、他4名	中小企業技術開発産学官連携推進事業成果普及講習会	7月30日	工業技術センター
2	チタン合金における鏡面加工への試み	堀田昌宏	産業技術連携推進会議機械・金属部会 秋季東北・北海道地域部会	10月10日	ウエルサンピア八戸
3	岩手県内でのゲージの持ち回りによる三次元測定機評価	和合 健	産業技術連携推進会議第2回知的基盤部会第31回計測分科会傘下形状計測研究会	10月17日	広島ガーデンパレス
4	工具摩耗自動補正機能を持つオープンCNCシステムの開発	若槻正明、細田俊英	中小企業技術開発産学官連携推進事業成果普及講習会	10月16日	神奈川県産業技術総合研究所
5	工具摩耗自動補正機能を持つオープンCNCシステムの開発	若槻正明、細田俊英	中小企業技術開発産学官連携推進事業成果普及講習会	10月24日	広島県立東部工業技術センター
6	次世代クワイティソリューションシステムの開発	長谷川辰雄、中村吉信	中小企業技術開発産学官連携推進事業成果普及講習会	11月8日	広島弥生会館
7	アクティブセンシングによる非破壊検査システムの開発	泉田福典、菊地利雄	中小企業技術開発産学官連携推進事業成果普及講習会	11月14日	工業技術センター
8	次世代クワイティソリューションシステムの開発	長谷川辰雄、中村吉信	中小企業技術開発産学官連携推進事業成果普及講習会	11月14日	工業技術センター
9	次世代クワイティソリューションシステムの開発	長谷川辰雄、中村吉信	中小企業技術開発産学官連携推進事業成果普及講習会	11月15日	福島県ハイテクプラザ
10	アクティブセンシングによる非破壊検査システムの開発	泉田福典、菊地利雄	中小企業技術開発産学官連携推進事業成果普及講習会	11月21日	広島市工業技術センター
11	アクティブセンシングによる非破壊検査システムの開発	泉田福典、菊地利雄	中小企業技術開発産学官連携推進事業成果普及講習会	11月26日	山形県工業技術センター
12	アクティブセンシングによる非破壊検査システムの開発	泉田福典、菊地利雄	中小企業技術開発産学官連携推進事業成果普及講習会	11月29日	鹿児島県工業技術センター
13	ゲージの持ち回りによる三次元測定機評価	和合 健	2002年精密工学会東北支部学術講演会	12月7日	一関工業高等専門学校
14	アクティブセンシングによる非破壊検査システムの開発	泉田福典	中小企業技術開発産学官連携推進事業成果普及講習会	12月10日	秋田県工業技術センター
15	岩手型ペレットストーブの開発	園田哲也	リサイクル技術研究講演会	12月19日	釜石ベイシティーホテル
16	岩手型ペレットストーブについて	園田哲也	木質バイオマス利用促進シンポジウム「森林とエネルギー」	1月26日	プラザおでって
17	工具摩耗自動補正機能を持つオープンCNCシステムの開発	若槻正明、細田俊英	INSデジタルエンジニアリング研究会	2月7日	いわてIT研究開発センター
18	工具摩耗自動補正機能を持つオープンCNCシステムの開発	若槻正明、細田俊英	中小企業技術開発産学官連携推進事業成果普及講習会	2月20日	かみゆしアーバンリゾート 那覇

No.	発表テーマ	発表者	発表会名	発表日	場所
特産開発デザイン部					
19	木製車いすの開発	有賀康弘	第29回国際福祉機器展	9月10日	東京国際展示場
20	コンプレストウツの製品への応用試作	浪崎安治	物質工学会平成14年度 秋季東北・北海道地域部会	10月3日	ホールサムインよこて
21	木製学校用家具の開発	有賀康弘	物質工学会平成14年度 秋季東北・北海道地域部会	10月3日	ホールサムインよこて

#### 金属材料部

22	溶接接合部可視化装置を用いた溶接技術	桑嶋孝幸	第2回アーケ溶接データベースワークショップ	4月30日	(独)産業技術総合研究所四国センター
23	サーメット粒子鑄ぐるみによる27%Cr白鑄鉄の部分強化	池 浩之	日本鑄造工学会全国講演大会	5月25日	関西大学
24	リサイクル超硬合金の製造技術開発及び粉末評価技術の開発	鎌田公一、小野 元	即効型地域新生コンソーシアム第1回推進会議	7月2日	マリオス
25	超電導体の接合技術	小野 元	2002年度第1回超電導応用研究会シンポジウム	7月12日	工業技術センター
26	溶接部可視化装置による溶接・溶射加工の観察	桑嶋孝幸	(社)溶接学会東北支部大会第41回溶接・溶射研究会	7月19日	ホテル東日本
27	サーメット粒子鑄ぐるみによる27%Cr白鑄鉄の部分強化	池 浩之	H14年度産技連会議機械金属部会材料研究会	9月19日	富士工業技術センター
28	廃棄貝殻による鑄鉄溶湯の清浄化	高川貫仁	日本鑄造工学会第141回全国大会	10月7日	山形テルサ
29	27%Cr白鑄鉄によるサーメット粒子の鑄ぐるみ	池 浩之	日本鑄造工学会第141回全国大会	10月7日	山形テルサ
30	誘導加熱による偏オーステンパ球状黒鉛鑄鉄	勝負澤善行	平成14年度産技連会議機械金属部会東北北海道地域部会	10月11日	ウエルサンピア八戸
31	使用済み超硬合金を利用したクラッシュ歯の開発	池 浩之、勝負澤善行、茨島 明、高川貫仁	素形材技術展パネル発表	11月7日	パシフィック横浜
32	廃棄貝殻による鑄鉄溶湯からの脱リン技術の開発	高川貫仁、勝負澤善行、茨島 明、池 浩之	素形材技術展パネル発表	11月7日	パシフィック横浜
33	オーステンパ球状黒鉛鑄鉄に関する開発	勝負澤善行、茨島 明、池 浩之、高川貫仁	素形材技術展パネル発表	11月7日	パシフィック横浜
34	溶射飛行粒子の計測と皮膜性状への影響	桑嶋孝幸	(社)高温学会第11回溶射総合討論会	11月28日	テクノアークしまね
35	オーステンパ球状黒鉛鑄鉄の応用事例	茨島 明	第43回素形材技術担当者会議	11月28日	(独)産業技術総合研究所中部センター
36	27%Cr白鑄鉄によるサーメット粒子の鑄ぐるみ	池 浩之	日本鑄造工学会東北支部鑄造技術部会	1月21日	ハーネル仙台
37	HVOF-YAGレーザー複合溶射法による表面改質技術	桑嶋孝幸	平成14年度第3回表面改質技術委員会	1月28日	(社)日本溶接協会
38	HVOF-YAGレーザー複合溶射法による表面改質	桑嶋孝幸	大阪大学接合科学研究所研究集会	3月17日	大阪大学
39	再生超硬合金の製造技術と評価技術の開発	鎌田公一、小野 元	即効型地域新生コンソーシアム第2回推進会議	3月18日	マリオス
40	HVOF溶射へのYAGレーザー同時照射効果	桑嶋孝幸	(社)日本金属学会春期全国大会	3月28日	千葉大学

No.	発表テーマ	発表者	発表会名	発表日	場所
-----	-------	-----	------	-----	----

化学部

41	トリアジンチオールの有機メッキにおける磁気処理効果とその応用	鈴木一孝	地域結集成果発表会in一関	7月22日	サンルート一関
42	Growth Effects on Morphology and Transport Properties of Pentacene Thin Films	Rongbin Ye、鈴木一孝	Korea-Japan Joint Forum 2002	10月22日 ~ 24日	東北学院同窓会館 (仙台)
43	廃プラスチックの舗装材としての利用	佐々木秀幸	資源処理学会第109回例会	11月7日	盛岡グラントホテル
44	カリウムの定量に関する考察	藤原智徳	第29回分析研究会	11月22日	(独)産業技術総合研究所東北センター
45	The Effect of Thermal Annealing on morphology and Electronic Properties of Pentacene Thin Films	Rongbin Ye、鈴木一孝	Second international conference on Molecular Electronics and Bioelectronics	3月5日 ~ 7日	学士会館 (東京)

醸造技術部

46	米と醸造食品	櫻井 廣	第61回農業機械学会自由集会@岩手	9月17日	岩手大学
47	岩手県酒造好適米『吟ぎんが』、『ぎんおとめ』	櫻井 廣	第26回酒米懇談会	10月9日	東京都滝野川会館

食品開発部

48	おからを使用した食品の製造	遠山 良	研究成果発表会	5月24日	工業技術センター
49	盛岡冷麺の製造と品質	遠山 良	ABOC20回記念講演会	7月5日	岩手大学工学部
50	おからを使用した食品の製造	遠山 良	食品関係技術研究会	9月4日	食品総合研究所
51	電子レンジ調理用冷麺の検討	武山進一	日本調理科学会 平成14年度大会	9月7日	大阪市立大学
52	おからを使用した食品の開発	笹島正彦	平成14年度産業技術連携推進会議 生命工学部会東北北海道地域部会	9月19日	山形市
53	岩手発信の麺類の種類とその特徴	遠山 良	平成14年度日本応用糖質科学会東日本支部岩手県シンポジウム	9月27日	岩手大学農学部5号館
54	オカラを利用した食品製造	関村照吉	フォーラム北東北	10月10日	秋田県庁第2庁舎
55	郷土食ひつつみの機械化製造技術開発	関村照吉	産業技術連携推進会議物質工学部会包装分科会	10月17日	アイリス愛知 (名古屋)
56	岩手県産小麦を使用した製パン技術	関村照吉	国産小麦を使用した各種食品への加工技術講演会	1月31日	工業技術センター
57	岩手の食品産業と工業技術センター	遠山 良	岩泉町物産振攻会講演会	2月7日	龍泉洞温泉ホテル
58	おからを使用した食品の製造	遠山 良	豆腐製造技術講演会	2月21日	工業技術センター
59	岩手県産大豆の豆腐加工適性評価	山口佑子	豆腐製造技術講演会	2月22日	工業技術センター
60	おからを使用した食品の製造	遠山 良	ハitek研究会・TOBIN合同セミナー	2月27日	仙台市シルバーセンター



## 2) 誌上発表

No.	掲載テーマ	発表者	掲載雑誌名	発刊号
-----	-------	-----	-------	-----

### 電子機械部

1	計測機器と計測技術	和合 健	機械と工具 (工業調査会)	第47巻第1号 (2003年1月号)
2	Efficient 3D Foot Measurement System Using Mesh Net	Tatsuo Hasegawa, Akio Doi, Koichi Matsuda	画像電子学会	第31巻第6号
3	超精密切削環境における表面品位への影響	堀田昌宏	東北産学官連携協議会	平成14年4月

### 特産開発デザイン部

4	岩手の手織ホームスパン	湯口靖彦	染織	12月号
5	コンプレストウツの製品への応用試作	浪崎安治、有賀康弘、高橋民雄	産業技術連携推進会議東北・北海道地域部会研究論文集	第2号
6	木製学校用家具の開発	有賀康弘	産業技術連携推進会議東北・北海道地域部会研究論文集	第2号

### 金属材料部

7	岩手県工業技術センターにおけるレーザー加工への取り組み	桑嶋孝幸	レーザー加工学会誌	Vol.9、 No.3(2002)
---	-----------------------------	------	-----------	----------------------

### 化学部

8	トリアジンチオール真空蒸着膜構造に及ぼすCr酸化表面の影響	鈴木一孝、森邦夫、平原英俊、清水健司	表面技術協会誌	Vol.53, No.4
9	トリアジンチオール真空蒸着膜構造に及ぼす成膜速度の影響	鈴木一孝、森邦夫、平原英俊	高分子論文集	Vol.59, No.9
10	Evaporation Polymerization of DB Toriazine on Iron Plates	K Mori, K Suzuki, K Shimizu and Y Oishi	Langmuir	Vol.18, No.24, p9527
11	ペンタセン有機薄膜の作製とキャラクターゼーション	任岳、叶榮彬、吉田真慈、太田康治、馬場守、西館数芽、鈴木一孝、大石好行、森邦夫	信学技報	Vol.102, No.260, p37
12	ペンタセン有機薄膜の作製と電気的特性	菅原栄一、叶榮彬、任岳、吉田真慈、太田康治、馬場守、西館数芽、鈴木一孝、大石好行、森邦夫	信学技報	Vol.102, No.260, p43
13	トリアジンチオール(DA)真空蒸着膜の鉄基板への吸着機構	鈴木一孝、森邦夫、叶榮彬、平原英俊	高分子論文集	Vol.60, No.3
14	廃プラスチックの舗装材としての利用	佐々木秀幸、藤原忠司、酒井晃二、大沼一人、中根健	資源処理技術	第49巻、第4号 (通巻第165号) 9-14

### ③) 知的財産権

#### 取得

No.	名称	種類	年月日	番号	発明者	
					所属	氏名
1	走査型スクイッド顕微鏡	特許	H14.4.26	3302344	電子機械部 (現 岩手大学)	大坊真洋
2	鋳鉄の熱処理方法	特許	H14.10.25	3364193	金属材料部	勝負澤善行、茨島 明、 池 浩之、高川貴仁
3	机	意匠	H14.10.4	1159049	特産開発デザイン部 産業技術短期大学校	有賀康弘、浪崎安治 高橋民雄
4	廃棄物を用いたコンクリート組成物	特許	H14.12.13	3379644	化学部 岩手大学 セイナン工業(株)	佐々木秀幸 藤原忠司 江 東

#### 出願

No.	名称	種類	年月日	番号	発明者	
					所属	氏名
1	アルミニウム合金と同時処理可能な マグネシウム合金の表面処理方法	特許	H14. 4.26	特願 2002-49753	化学部	穴沢 靖
2	臨界電流密度の高い酸化物超電導 体	特許	H14. 7. 8	特願 2002-198284	金属材料部 企画情報部	齋藤 貴、小野 元 鎌田公一
3	速乾性漆液の加工装置	特許	H14. 7.31	特願 2002-222396	特産開発デザイン部 産業技術短期大学校	町田俊一 小林正信
4	生体内の障害を緩和する機能性組 成物	特許	H14. 9.20	特願 2002-313481	応用生物部	小浜恵子、山口佑子
5	臨界電流密度の高い酸化物超電導 体	特許	H14.11. 8	特願 2002-325504	金属材料部	齋藤 貴、小野 元
6	温風暖房機	意匠	H14.12.2	意願 2002-33284	特産開発デザイン部 電子機械部	東矢恭明、堀田昌宏、 園田哲也、田中慎造
7	温風暖房機	意匠	H14.12.2	意願 2002-33285	特産開発デザイン部 電子機械部	東矢恭明、堀田昌宏、 園田哲也、田中慎造
8	木質ペレット燃料燃焼装置	特許	H14.12.13	特願 2002-362460	特産開発デザイン部 電子機械部	東矢恭明、堀田昌宏、 園田哲也、田中慎造
9	ペレット燃料燃焼装置	特許	H14.12.13	特願 2002-362461	特産開発デザイン部 電子機械部	東矢恭明、堀田昌宏、 園田哲也、田中慎造
10	断熱路盤構造	特許	H15.3.24	特願 2003-79449	化学部 環境保健研究センター 岩手大学 岩手建工(株)	佐々木秀幸 酒井晃二 藤原忠司 下家正治、他
11	金属複合材の製造方法	特許	H15.3.26	特願 2003-84733	金属材料部 企画情報部	池 浩之、勝負澤善行、 高川貴仁、 茨島 明

# 支援業務

## - 1 現地対応技術支援実績

### (1) 企業訪問

広域生活圏	市町村名	実施部名								計 (A)	事業所 数 (B)	訪問率 (A/B)
		電機	特開	金属	化学	応生	醸造	食開	企画			
盛岡	盛岡市	26	31	9	4	1	6	7	1	85	242	35.1%
	雫石町	2	3	2	1	0	1	0	0	9	35	25.7%
	葛巻町	0	0	0	0	1	1	0	0	2	17	11.8%
	岩手町	3	1	1	0	1	0	1	2	9	35	25.7%
	西根町	4	1	1	0	0	1	0	0	7	36	19.4%
	滝沢村	6	1	3	1	0	1	2	0	14	72	19.4%
	松尾村	0	4	1	0	2	0	0	0	7	9	77.8%
	玉山村	2	4	9	2	1	0	0	0	18	43	41.9%
	安代町	1	3	0	0	0	0	2	0	6	15	40.0%
	紫波町	3	0	4	4	0	4	2	0	17	55	30.9%
	矢巾町	5	0	3	5	1	0	0	0	14	37	37.8%
小計	52	48	33	17	7	14	14	3	188	596	31.5%	
岩手中央	花巻市	24	6	11	10	1	1	1	5	59	230	25.7%
	北上市	16	2	24	8	2	1	0	3	56	298	18.8%
	大迫町	1	1	0	0	0	0	1	1	4	16	25.0%
	石鳥谷町	1	0	1	1	0	1	0	0	4	38	10.5%
	東和町	0	0	1	0	0	1	0	0	2	25	8.0%
	湯田町	0	0	2	1	0	0	1	0	4	14	28.6%
	沢内村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0.0%
	小計	42	9	39	20	3	4	3	9	129	633	20.4%
胆江	水沢市	5	8	24	2	1	1	3	0	44	156	28.2%
	江刺市	3	2	5	2	1	0	1	6	20	108	18.5%
	金ヶ崎町	0	0	1	1	1	0	0	0	3	38	7.9%
	前沢町	1	0	6	0	0	1	1	1	10	60	16.7%
	胆沢町	0	1	1	0	0	0	2	0	4	45	8.9%
	衣川村	2	1	0	0	0	0	0	0	3	16	18.8%
	小計	11	12	37	5	3	2	7	7	84	423	19.9%
両磐	一関市	5	2	1	5	0	3	2	2	20	157	12.7%
	花泉町	0	0	1	1	1	1	0	0	4	39	10.3%
	平泉町	0	2	0	0	0	0	1	1	4	26	15.4%
	大東町	0	1	0	2	1	1	0	0	5	57	8.8%
	藤沢町	1	0	1	0	2	1	0	0	5	22	22.7%
	千厩町	0	0	0	0	1	2	0	0	3	37	8.1%
	東山町	3	0	0	4	1	0	0	0	8	28	28.6%
	室根村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0.0%
	川崎村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0.0%
	小計	9	5	3	12	6	8	3	3	49	399	12.3%
気仙	大船渡市	0	1	5	3	1	1	5	0	16	158	10.1%
	陸前高田市	0	0	1	0	0	4	0	1	6	66	9.1%
	住田町	0	0	0	1	0	0	0	0	1	19	5.3%
	小計	0	1	6	4	1	5	5	1	23	243	9.5%

広域生活圏	市町村名	実施部名								計 (A)	事業所 数 (B)	訪問率 (A/B)
		電機	特開	金属	化学	応生	醸造	食開	企画			
釜石	釜石市	3	1	10	4	3	2	1	3	27	106	25.5%
	遠野市	0	3	2	2	0	1	0	1	9	54	16.7%
	大槌町	1	3	0	2	1	0	0	0	7	56	12.5%
	宮守村	0	0	0	1	0	0	0	0	1	15	6.7%
	小計	4	7	12	9	4	3	1	4	44	231	19.0%
宮古	宮古市	6	0	6	1	1	1	6	0	21	126	16.7%
	田老町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0.0%
	山田町	0	0	0	1	1	0	0	0	2	50	4.0%
	岩泉町	0	6	1	1	2	1	0	0	11	26	42.3%
	田野畑村	0	0	0	1	0	0	0	0	1	12	8.3%
	新里村	0	2	1	0	0	0	0	0	3	16	18.8%
	川井村	0	0	0	0	0	0	1	0	1	11	9.1%
小計	6	8	8	4	4	2	7	0	39	261	14.9%	
久慈	久慈市	1	2	1	3	1	2	1	1	12	84	14.3%
	普代村	0	0	0	0	0	0	1	0	1	11	9.1%
	種市町	0	0	1	0	0	0	1	1	3	24	12.5%
	野田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0.0%
	山形村	0	0	0	1	0	0	1	0	2	5	40.0%
	大野村	0	4	0	1	0	0	0	0	5	11	45.5%
	小計	1	6	2	5	1	2	4	2	23	140	16.4%
二戸	二戸市	1	0	1	0	1	1	3	0	7	60	11.7%
	軽米町	1	2	0	1	1	1	0	0	6	19	31.6%
	九戸村	0	1	1	1	0	0	1	0	4	16	25.0%
	浄法寺町	1	3	0	0	2	0	0	0	6	10	60.0%
	一戸町	2	1	0	3	0	0	2	0	8	39	20.5%
	小計	5	7	2	5	4	2	6	0	31	144	21.5%
合計		130	103	142	81	33	42	50	29	610	3070	19.9%

資料出所 経済産業省「工業統計調査報告書」(従業員4名以上の事業所)平成13年12月31日調査時点

## (2) 技術アドバイザー派遣

支援企業数	規模別	従業員	20人以下	21～50人	51～100人	101～300人	301人～	計	
		数	4	1	-	-	-	5	
	業態別	業態	創業企業	ベンチャー企業	その他 中小企業				計
		数	-	-	5				5
診断支援の 企業数 (個別)	分類	経営	技術	人材	情報	その他		計	
	件数	-	4	-	-	-		4	
診断支援の 組合等の数 (集団)	分類	経営	技術	人材	情報	その他		計	
	件数	-	1	-	-	-		1	
1企業あたりの 支援日数	最長		最短		平均				
	3日		1日		1.8日				

## (3) 地域活性化アドバイザー登録者名簿 (136名)

任期 (H12.10.1 ~ H14.9.30)

分野	氏名	所属及び役職名	指導技術分野	
電気 (21名)	遠藤 良一	遠藤技術事務所代表	電子・情報・システム工学	
	原 宏行	(有)ソフトウインド代表取締役 中小企業診断士	情報工学・電子工学	
	関 亨士郎	岩手大学工学部教授	電気工学・電子工学	
	道上 修	岩手大学工学部教授	超電導・薄膜作成・装置化	
	藤原 民也	岩手大学工学部教授	プラズマ処理技術	
	柏葉 安兵衛	岩手大学工学部教授	電子デバイス工学	
	岡 英夫	岩手大学工学部助教授	磁気応用工学	
	千葉 則茂	岩手大学工学部教授	情報工学	
	馬場 守	岩手大学工学部教授	電気工学・電子工学	
	尾山 茂	一関工業高等専門学校非常勤講師	電気工学・超音波工学	
	佐藤 清忠	一関工業高等専門学校講師	電子・情報・デザイン工学	
	鹿股 昭雄	仙台電波工業高等専門学校教授	計算機工学	
	加藤 靖	仙台電波工業高等専門学校教授	情報工学・計算機工学	
	久保田 賢二	岩手大学工学部電気電子工学科講師	電磁波工学	
	柴田 義孝	岩手県立大学ソフトウェア情報学部教授	情報通信分野	
	土井 章男	岩手県立大学ソフトウェア情報学部教授	情報工学	
	佐々木 淳	岩手県立大学ソフトウェア情報学部助教授	情報システム	
	南幅 留男	工業技術センター金属材料部長	電子回路、電子計測	
	藤澤 充	工業技術センター企画情報部上席専門研究員	コンピュータネットワーク、福祉用具評価技術	
	泉田 福典	工業技術センター電子機械部主任専門研究員	EMC、電子デバイス、電子材料、電子計測	
長谷川辰雄	工業技術センター電子機械部主任専門研究員	プログラミング、ネットワーク通信		
機械 (16名)	石岡 幸夫	東北産業能率研究所所長	品質管理・生産管理	
	井上 繁	(株)共立盛岡工場生産技術担当課長	機械加工技術・品質管理	
	四戸 立男	四戸技術士事務所所長	機械加工・自動化・生産技術	
	藤田 壽彦	(株)常工代表取締役	機械加工・生産技術	
	井山 俊郎	岩手大学工学部教授	生産工学	
	岩淵 明	岩手大学工学部教授	トライボロジー	
	庄司 克雄	東北大学大学院教授(工学部)	機械加工	
	武藤 一夫	職業能力開発総合大学校講師	機械加工	
	仁科 健治		生産技術	
	佐々木 世治	一関工業高等専門学校教授	熱工学	
	佐藤 昭規	一関工業高等専門学校教授	材料工学、金属表面工学	
	島地 重幸	岩手大学工学部教授	機械システム工学	
	若槻 正明	工業技術センター電子機械部上席専門研究員	機械加工、生産システム、自動化	
	和合 健	工業技術センター電子機械部主任専門研究員	精密測定、計測技術、品質工学	
	堀田 昌宏	工業技術センター電子機械部主任専門研究員	機械加工、精密測定、旋削加工	
	飯村 崇	工業技術センター企画情報部専門研究員	精密加工、精密測定、計測システム	
	金属 (20名)	中川 弘	中小企業診断士	鋳造技術・品質管理技術
		中村 満	岩手大学工学部助教授	金属加工技術
堀江 皓		岩手大学工学部教授	鋳造技術	
千田 昭夫		(有)エイシー技研代表取締役社長	非鉄合金鋳造技術	
長野 烈		長野烈工房代表	非鉄合金鋳造技術	
太田 英明		(財)中部科学技術センター研究企画部長	鋳造技術	
後藤 正治		秋田大学工学資源学部教授	鋳造技術	
片山 博		室蘭工業大学名誉教授	製錬技術	
原田 晴彦		(株)ダイヘン東北支社営業部部长	溶接・切断	
麻生 節夫		秋田大学工学資源学部助教授	鋳造工学	

分野	氏名	所属及び役職名	指導技術分野
金属 (20名)	内藤 武志	内藤技術士事務所代表	表面硬化処理、品質管理
	高橋幾久雄	工業技術センター金属材料部上席専門研究員	溶接技術、非破壊検査技術
	米倉 勇雄	工業技術センター金属材料部上席専門研究員	鋳造加工、造型技術、鋳造法案
	勝負澤善行	工業技術センター金属材料部上席専門研究員	鋳造一般
	鎌田 公一	工業技術センター企画情報部主任専門研究員	粉末冶金、熱処理、材料加工
	茨島 明	工業技術センター企画情報部主任専門研究員	鋳造工学、工学解析
	桑嶋 孝幸	工業技術センター金属材料部主任専門研究員	溶射による表面改質、セラミックス金属接合
	池 浩之	工業技術センター金属材料部主任専門研究員	金属材料一般
	齋藤 貴	工業技術センター金属材料部主任専門研究員	超電導、磁気測定
	高川 貴仁	工業技術センター金属材料部専門研究員	金属材料一般
化学 (25名)	森 邦夫	岩手大学工学部教授	高分子材料化学
	熊谷 直昭	岩手大学工学部教授	電気化学
	佐藤 瀏	岩手大学工学部教授	有機合成化学・有機材料化学
	大石 好行	岩手大学工学部助教授	有機材料化学
	清水 健司	岩手大学工学部教授	化学工学
	小川 智	岩手大学工学部助教授	有機化学
	成田 榮一	岩手大学工学部教授	無機工業化学・環境化学
	小田嶋 次勝	一関工業高等専門学校教授	工業分析化学・環境化学
	中村 儀郎	岩手ネットワークシステム会長	高分子材料化学
	天野 修	(有)天野成形加工研究所代表取締役	高分子材料化学
	瀧川 雄治	岩手大学工学部教授	有機化学
	森 誠之	岩手大学工学部教授	表面技術・表面処理
	中澤 廣	岩手大学工学部教授	廃棄物一般
	海田 輝之	岩手大学工学部教授	廃水処理
	藤原 忠司	岩手大学工学部教授	廃棄物の有効利用
	平原 英俊	岩手大学工学部講師	高分子化学・ゴム工業
	佐野 茂	一関工業高等専門学校教授	化学工学、粉体工学
	河野 隆年	(財)いわて産業振興センター事務局長	分析化学、化学一般
	小向 隆志	工業技術センター化学部長	表面技術一般、廃水処理技術
	佐々木 陽	環境保健研究センター衛生科学部上席専門研究員	繊維化学物理一般、木材化学一般
佐々木英幸	工業技術センター化学部上席専門研究員	プラスチック技術一般、成形加工等	
瀨川 晃児	工業技術センター化学部上席専門研究員	窯業技術一般、分析技術	
佐々木秀幸	工業技術センター化学部主任専門研究員	環境関連技術一般、リサイクル関連技術	
鈴木 一孝	工業技術センター化学部主任専門研究員	メッキ技術、表面処理技術、表面分析	
藤原 智徳	工業技術センター化学部専門研究員	分析技術一般、水質分析	
木工 (4名)	渡引 弥助	木製建具職	木材加工技術
	菅野 国男	職業能力開発総合大学校助教授	木質材料・物性、木材乾燥
	浪崎 安治	工業技術センター特産開発デザイン部上席専門研究員	木材加工、木材接着、木材乾燥
	有賀 康弘	工業技術センター特産開発デザイン部主任専門研究員	木材加工、デザイン
繊維 (3名)	蓮見 雄治	JICA専門家	アタッチメント製造技術
	西村 禎造	縫製工場技術コンサルタント	生産管理技術
	大和 進		紡績、燃糸、製織、縫製、ニット
塗装 (2名)	真柄 文男	斎藤(株)取締役常務	塗装技術
	穴沢 靖	工業技術センター化学部上席専門研究員	塗装技術一般、塗膜評価試験
デザイン (9名)	荻野 克彦	(有)荻野デザイン事務所代表	クラフトデザイン
	羽生 道雄	東北芸術工科大学名誉教授	工業デザイン
	松風 正幸	(有)松風・安東デザイン事務所代表取締役	工業デザイン
	高橋 勇介	岩手工芸技術協会会長	漆工技術・商品開発
	木田 健一	テルモ(株)広告・デザイン部長	商品・デザイン開発

分野	氏名	所属及び役職名	指導技術分野
デザイン (9名)	岩井 美佐子	ミサデザインスタジオ代表	商品開発・デザイン
	及川 利春	オイカワデザイン室代表	エディトリアルデザイン
	町田 俊一	工業技術センター-特産開発デザイン部上席専門研究員	デザイナー一般、プロダクトデザイン
	長嶋 宏之	工業技術センター-特産開発デザイン部専門研究員	デザイナー一般、コンピュータデザイン
福祉 (1名)	大川井 宏明	岩手大学工学部助教授	超音波医学、超音波工学
食品 (35名)	大森 勝雄	(株)岩手銘醸 顧問	酒類製造技術
	小野 伴忠	岩手大学農学部教授	食品工業全般
	城戸 良悦	喜久盛酒造(株)取締役	酒類製造技術
	櫻井 米吉		食品工業全般
	佐竹 秀雄	農産加工技術技術コンサルタント	漬物製造技術
	関澤 憲夫		食品工業全般
	武山 照愿	グリーンベル	パン製造技術
	前田 安彦	宇都宮大学名誉教授	漬物製造技術
	村井 一男		食品工業全般
	吉田 隆一	岩手県味噌醤油工業協同組合事務局長	味噌・醤油製造技術
	西澤 直行	岩手大学農学部応用生物学科教授	食品機能学
	種谷 新一	(株)ダルトン執行役員技術本部長	乳肉製品・食品製造一般
	三浦 靖	岩手大学農学部助教授	食品製造一般
	田中 好雄	田中技術士事務所	衛生管理
	管 徳助	自営	衛生管理
	管野 健美	(株)オリオンパ`-カリ-取締役工場長	パン製造技術
	若尾 紀夫	岩手大学農学部教授	応用微生物学
	磯部 公安	岩手大学農学部助教授	応用微生物学、酵素化学
	塚本 知玄	岩手大学農学部助教授	食品科学
	石川 雄章	前国税庁醸造研究所長	酒類製造技術
	大澤 純也	工業技術センター 応用生物部長	食品製造、食品加工、発酵生産
	山本 忠	工業技術センター 応用生物部上席専門研究員	生物工学
	小浜 恵子	工業技術センター 応用生物部主任専門研究員	遺伝子工学、生物工学、微生物利用
	伊藤 良仁	工業技術センター 企画情報部主任専門研究員	食品加工、食品保存技術、酵素利用
	岸 敦	工業技術センター 応用生物部専門研究員	バイオテクノロジー
	平野 高広	工業技術センター 応用生物部専門研究員	生物工学、発酵生産
	櫻井 廣	工業技術センター 醸造技術部長	醸造一般、清酒、果実酒、ミソ、醤油醸造技術
	中山 繁喜	工業技術センター 醸造技術部上席専門研究員	酒造一般、清酒等の製造鑑評、味センサー
	畑山 誠	工業技術センター 醸造技術部主任専門研究員	醸造一般、ミソ、醤油醸造技術
	米倉 裕一	工業技術センター 醸造技術部主任専門研究員	食品製造技術、微生物利用技術、成分分析
	高橋 亨	工業技術センター 醸造技術部主任専門研究員	生化学、酵素利用、未利用資源の有効利用
	遠山 良	工業技術センター 食品開発部部長	食品加工、食品保存技術
	関村 照吉	工業技術センター 食品開発部上席専門研究員	食品一般、麺類、漬物、食品保存、保蔵
	笹島 正彦	工業技術センター 食品開発部主任専門研究員	食品衛生
	武山 進一	工業技術センター 食品開発部主任専門研究員	食品加工 保存技術、食品分析 (機械分析)

(注)平成14年10月1日以降はアドバイザー制度によらず、企業の要望に応じて随時派遣することとしました。



## - 2 講習会

### (1) 国庫補助事業

講習会名	開催月日	テーマ	講師(敬称略)	開催場所	受講者数
電子機械部					
機械加工技術講習会	9月3日	小径ドリル・エンドミル切削加工技術の動向と実用化	コベルコソールエンジニアリング(株) 次長 五反田 修 出光興産(株) 主任部員 齋藤敏夫	工業技術センター	21
微細放電加工講習会	1月24日	細線ワイヤ放電加工と微細放電加工における最新動向	三菱電機(株)名古屋製作所 課長 岩崎健史	工業技術センター	54
型彫放電加工技術講習会	2月20日	型彫放電加工の基本操作及び加工原理について	(株)カナデン 主任 岩城泰仁	工業技術センター	3
特産開発デザイン部					
木材加工技術講習会	6月12日	続最新の接着剤とシックハウス症候群	コニシ(株)東京支店技術部 次長 井上雅雄	工業技術センター	39
最新機器操作講習会	8月5日	最新機器操作講習	特産開発デザイン部 上席専研 浪崎安治、主専研 有賀康弘、専研 長嶋宏之	工業技術センター	9
木材加工技術講習会	9月19日	コンプレストウッド処理木材の加工と利用技術	(株)フクモト 営業部 部長 大溝真弘	工業技術センター	32
木材加工技術講習会	10月25日	接着剤のはなし	特産開発デザイン部 上席専門研究員 浪崎安治	工業技術センター	9
デザイン技術講習会	3月3日	漆器下地技術について	東京芸術大学 助教授 三田村有純	産業デザインセンター	22
木材加工技術講習会	3月14日	建築基準法の改正に伴う接着剤の動向	コニシ(株)東京支店技術部 次長 井上雅雄	工業技術センター	25
金属材料部					
産業集積活性化事業技術講習会	6月17日	溶接部可視化装置を使った溶接技術	工業技術センター 主任専門研究員 桑嶋孝幸	(株)中央製作所	18
産業集積活性化事業技術講習会	9月25日	金型の寿命対策	ウディホルム(株) 技術本部長 日原政彦	江刺市産業技術交流センター	15
材料加工技術講習会	10月4日	最近の金型材料の活用のポイント及び技術動向 金型加工用最新切削工具と高速度加工 高精度加工	大同特殊鋼(株)技術サービス部 次長 本田弘之 東芝タンガロイ(株)切削工具開発部 主任 小木曾信文	北上市基盤技術支援センター	24
接合技術講習会	11月26日	摩擦攪拌溶接法 金型の補修技術	東北大学大学院工学研究科 教授 粉川博之 日本ユテク(株)工事部 部長 平石正廣	工業技術センター	25
鑄造技術講習会	2月4日	マグネシウム合金鑄物・アルミニウム合金鑄物の生産技術動向	日本マグネシウム協会 顧問 杉浦泰夫	水沢鑄物技術交流センター	24
化学部					
産業集積活性化事業技術講習会	8月27日	エリブソメドの操作講習	(株)溝尻光学 課長代理 高麗勝由	工業技術センター	7
産業集積活性化事業技術講習会	9月27日	めっき前処理洗浄	岩手大学工学部 講師 平原英俊	竹内真空被覆(株)	1

## (2) 県単独事業

講習会名	開催月日	テーマ	講師 (敬称略)	開催場所	受講者数
電子機械部					
感性解析講習会	7月5日	感性スペクトル解析 - 脳波を用いた感性評価	(株)脳機能研究所 主任研究員 武 紀之	工業技術センター	18
中小企業のための 高齢者・障害者 配慮の企業戦略	7月11日	高齢者・障害者のニーズへの ガイドライン ISOガイド71について	(株)トミー 高橋玲子	工業技術センター	10
計測管理セミナー	7月16日～ 17日	計測における不確かさ評価と 計算例 (長さばかり)	(財)日本品質保証機構 課長 片山 誠、参与 内川恵三郎	工業技術センター	20
三次元曲げ加工 技術講習会	12月10日	自由デザインを迫る三次 元曲げ加工	日進精機(株) 吉川 勇	工業技術センター	7
微細加工プロセス 講習会	1月29日	電子線描画による微細加工プ ロセスについて	エリオニクス(株) 田口佳男	工業技術センター	5
特産開発デザイン部					
ユニバーサルデ ザイン講習会	5月27日	13年度事業の報告と14年度の 参加企業の募集	特産開発デザイン部 上席専門研究員 町田俊一	産業デザインセン ター	7
デザイン講習会	12月4日	誰もが使いやすいものづくり	スタジオヘイッキラ 代表 シモ ヘイッキラ	プラザおでって	120
ユニバーサルデ ザイン講習会	3月26日	ユニバーサルデザインの進め 方	千葉大学 教授 青木弘行	工業技術センター	35
化学部					
熱分析講習会	2月28日	TG-DTA-MS、DSC、TMAの原 理と応用	ネッチグレイトパウ東京事務所 代表 松井 照夫	工業技術センター	20
木材塗装技術講 習会	3月6日	環境に優しい塗料と塗装	化学部 上席専門研究員 穴沢 靖	二戸地域職業訓練 センター	18
応用生物部					
岩手県バイオイン ダストリー地域交 流会	12月4日	岩手県での生物系副産物 / 廃 棄物の活用とその展望	東北大学工学部 教授 西野徳三	エスポワールいわ て	92
			鹿島建設(株) 環境本部長 横田長雄		
			岩手大学農学部 助教授 三浦 靖		
			応用生物部 専門研究員 岸 敦		
			(株)海拓舎 常勤顧問 佐々木荘法		
			(株)東興水産 代表取締役 山下秀雄		
			(株)北上製紙 技術環境室長 成田志郎		
葛巻林業(株) 取締役事業部長 福島 尚					
岩手生物素材高 度利用検討会	2月17日	機能性成分の利用法と地域食 品	(独)東北農業研究センター 品質評価研究室長 渡辺 満	工業技術センター	17
			青森県産業技術開発センター 総括主任研究員 内沢秀光		
			応用生物部 主専研 小浜恵子、専研 岸 敦		

講習会名	開催月日	テーマ	講師(敬称略)	開催場所	受講者数
<b>醸造技術部</b>					
岩手県酒造講習会	10月31日	酒造技術全般	醸造技術部 主専研 高橋 亨、畑山 誠 醸造技術部 上席専門研究員 中山繁喜 盛岡税務署 総括上席調査官 日渡一夫 (株)あさ開 醸造リーダー 佐藤智博	工業技術センター	51
	11月1日	酒造技術全般	宮城県産業技術総合センター バイオ班長 橋本建哉 醸造技術部 部長 櫻井 廣 農業研究センター 主任専門研究員 中野央子 仙台国税局鑑定官室 主任鑑定官 中嶋則行 岩手県酒造組合 参与 小嶋 久 所長 斎藤紘一	岩手県酒造組合	40
醤油製造技術講習会	2月25日	基本的な醤油の製造技術	日本醤油研究所 専務理事 勝田修支	ホテルルイズ	24
<b>食品開発部</b>					
冷麺に関する研修会	5月16日	冷麺の品質向上と開発への取り組み	食品開発部 主任専門研究員 武山進一	ホテル愛真館	25
和洋菓子製菓研究会	5月22日	和洋菓子製菓研究会	レオン自動機(株)仙台出張所 所長 吉田健二	工業技術センター	14
製パン技術普及講習会	7月26日	製パン技術普及講習会	月島食品工業(株) 中村和広	工業技術センター	30
和洋菓子製菓研究会	10月23日	和洋菓子製菓研究会	レオン自動機(株)仙台出張所 所長 吉田健二	工業技術センター	18
ナンプコムギ等県産小麦入りパン製造技術研修会並びに製パン業者意見交換会	12月6日	白神こだま酵母を使用した製パン技術研修、ナンプコムギと白神こだま酵母	グリーンベル 代表 武山照愿 オリオンベーカリー(株) 工場長 菅野健美 秋田県総合食品研究所 主任研究員 高橋慶太郎	工業技術センター	48
国産小麦を使用した各種食品への加工技術講演会	1月31日	新しい食品加工技術による個性ある国産小麦製品	(独)食品総合研究所 室長 堀金 彰	工業技術センター	57
豆腐製造技術講演会	2月21日	豆乳からどのようにして豆腐ができるか	岩手大学農学部 教授 小野伴忠	工業技術センター	24
冷凍技術講演/懇談会	3月5日	水と水の科学 - 高品質な冷凍食品を効率よく製造するために -	岩手大学農学部 助教授 三浦 靖	工業技術センター	30

## (3) 中小企業事業団

講習会名	開催月日	テーマ	講師 (敬称略)	開催場所	受講者数
ものづくりIT研修	6月1日～ 3月28日	ネットワークによる生産機械の 制御・監視	電子機械部 上席専門研究員 若槻正明	工業技術センター	1
	7月31日～ 8月1日	3次元CAD/CAMシステムの使 い方	日本PTC (株) 川村智人、森 伸一、武田 淳	工業技術センター	7
	8月1日～ 3月28日	Pro/ENGINEERによる3次元設 計・製作	電子機械部 上席専門研究員 若槻正明	工業技術センター	1
	8月1日～ 3月28日	ANSYSを用いた構造解析	電子機械部 専門研究員 園田哲也	工業技術センター	3
	8月1日～ 3月28日	Moldflow MPIによる樹脂流動 解析	化学部 上席専研 佐々木英幸 電子機械部 上席専研 若槻正明	工業技術センター	3
	8月30日	プラスチック金型設計のための 樹脂流動解析 (M PA)	モールドフロージャパン (株) 八木隆行、立花一成	工業技術センター	7
	2月14日	コラボレーションツールについ て	(株)フォトン 糸川 覚、三登寛文	工業技術センター	16
	2月28日	解析ツール利用方法について	サイバネットシステム (株) 志田 博	工業技術センター	8
	1月23日～ 24日	金型内樹脂流動解析について	モールドフロージャパン (株) マネージャー 立花一成	工業技術センター	4
	3月11日	RPIについて	日立造船情報システム (株) 高橋利 幸 豊田通商 (株) 加納隆博	工業技術センター	9
	3月20日	CAD/CAMハードウェア	日本HP (株) 川口剛志 グラフテック (株) 堀井幸彦	工業技術センター	10
	3月25日	3次元CAD入門	電子機械部 上席専門研究員 若槻正明	工業技術センター	7

### -3 派遣

#### (1) 講師

名 称	月 日	開催場所	出席職員	依頼機関等
総務部				
第31回岩手県非鉄金属加工技術研究会	4月16日	エスポワールいわて	斎藤紘一	岩手県非鉄金属加工技術研究会
平成14年度県・市町村企業誘致連絡会議	4月22日	国保会館	斎藤紘一	企業立地推進課
岩手県商品開発研究会平成14年度通常総会	5月10日	岩手県勤労福祉会館	斎藤紘一	岩手県商品開発研究会
花巻工業クラブ平成14年度総会	5月21日	ホテルグランシェール花巻	斎藤紘一	花巻工業クラブ
岩手県メカトロニクス研究会第1回講習会	5月30日	(株)盛岡地域交流センター	斎藤紘一	岩手県メカトロニクス研究会
岩手県接合技術研究会講演会	6月7日	ホテルルイズ盛岡	斎藤紘一	岩手県接合技術研究会
岩手食品加工研究会記念講演会	6月19日	工業技術センター	斎藤紘一	岩手食品加工研究会
国際産業交流会平成14年度第1回定例会	7月1日	おでって	斎藤紘一	国際産業交流会
企業ネットワークいわて2002	7月9日	帝国ホテル(東京都)	斎藤紘一	企業立地推進課
平成14年度宮古・下閉伊モノづくりネットワーク総会	8月7日	浄土ヶ浜パークホテル	斎藤紘一	宮古・下閉伊モノづくりネットワーク
第11回INS公開講演会	8月31日	岩手大学工学部テクノホール	斎藤紘一	岩手ネットワークシステム
イブニングフォーラム	9月9日	岩手大学地域共同研究センター	斎藤紘一	岩手大学地域共同研究センター他
岩手県酒造講習会	11月1日	岩手県酒造組合	斎藤紘一	岩手県酒造組合
平泉町企業懇談会	11月19日	毛越寺レストハウス	斎藤紘一	平泉町
産業振興フォーラムin江刺	11月21日	ホテルニュー江刺イーズ	斎藤紘一	江刺市
岩手県金属工業協同組合平成14年度実務者研修	12月5日	ホテル東日本	斎藤紘一	岩手県金属工業協同組合
(社)岩手県工業クラブ平成15年新春合同懇談会	1月21日	ホテルメトロポリタン盛岡 New Wing	斎藤紘一	(社)岩手県工業クラブ
千厩工業クラブ講演会	2月20日	千厩公民館	斎藤紘一	千厩工業クラブ
岩手県科学技術振興議員懇談会第10回調査研究会	3月10日	県議会大会議室	斎藤紘一	科学技術課
企画情報部				
新技術フォーラム in盛岡	6月28日	ホテルメトロポリタン盛岡 New Wing	佐々木秀幸	(財)いわて産業振興センター
作業技術 経営力向上研修会	12月19日	ふれあいラント岩手	伊藤良仁	(社)岩手県社会福祉協議会
産学連携フォーラム in滝沢	2月7日	イーハトーヴこずかた	鎌田公一	滝沢村
福祉作業所成功事例 研究開発成果研修会	3月15日	ふれあいラント岩手	伊藤良仁	岩手県障害者作業所連絡協議会

名 称	月 日	開催場所	出席職員	依頼機関等
-----	-----	------	------	-------

電子機械部

産学官交流会 - 製造業における国際競争力強化への取り組みと新技術活用フォーラム	9月6日	ダイヤモンドパレス (一関市)	長谷川辰雄	県南技術研究センター
日本機械学会東北学生会特別講演会	12月13日	一関工業高等専門学校	堀田昌宏	(社)日本機械学会東北支部学生会

特産開発デザイン部

非常勤講師	4月～7月	県立大学	湯口靖彦	県立大学
(財)クラフトセンタージャパン評議員会	5月15日	丸善大ビル (東京都)	町田俊一	(財)クラフトセンタージャパン
中日技術合作計画 2002 地方工芸産業の運営及び販路促進の策鄭	7月30日 ～8月6日	台湾省国立工芸研究所	町田俊一	台湾省国立工芸研究所
平成14年度北岩手クラフトランドサミット	9月26日	安代町テレトラックホール	町田俊一	安代町
特産品開発セミナー	10月26日	水沢市物産館	町田俊一	(社)岩手県産業貿易振興協会
盛岡市民観光大学	1月16日	プラザおでって	湯口靖彦	(社)盛岡観光協会
特産品開発セミナー	2月15日	一関地方振興局	町田俊一	(社)岩手県産業貿易振興協会
大学院集中講義	2月19日 ～21日	千葉大学	町田俊一	千葉大学工学部
インテリアセミナー	3月21日	プラザおでって	町田俊一	岩手インテリアコーディネータークラブ

金属材料部

平成14年度鑄造技術研究講座	8月1日	水沢市鑄物技術交流センター	米倉勇雄	水沢市
平成14年度鑄造技術研究講座	8月22日	水沢市鑄物技術交流センター	米倉勇雄	水沢市
大東町内野小学校たたらものづくり塾	8月30日	大東町大原内野滑岩渓流地	勝負澤善行、 高川貫仁	大東町刀匠鉄山士後援会
平成14年度鑄造技術研究講座	9月5日	水沢市鑄物技術交流センター	米倉勇雄	水沢市
平成14年度鑄造技術研究講座	10月3日	水沢市鑄物技術交流センター	米倉勇雄	水沢市
平成14年度鑄造技術研究講座	10月10日	水沢市鑄物技術交流センター	米倉勇雄	水沢市
平成14年度鑄造技術研究講座	10月17日	水沢市鑄物技術交流センター	米倉勇雄	水沢市
岩手県鉄構工業協同組合技術研修会	11月7日	工業技術センター	桑嶋孝幸	岩手県鉄構工業協同組合
溶接技術指導	2月7日	工業技術センター	高橋幾久雄	岩手大学機械工学科

化学部

岩手大学連携大学院講義	4月1日 ～3月31日	岩手大学	佐々木英幸	岩手大学
科学技術フォーラムin盛岡	7月1日	ホテルニューウイング	佐々木秀幸	科学技術振興事業団
INS環境フォーラム2002in大船渡	10月17日	大船渡プラザホテル	佐々木秀幸	大船渡中小企業支援センター
第1回技術研修会「リサイクル技術研究講演会」	12月19日	釜石ベイシティホテル	佐々木秀幸	(財)釜石・大槌地域産業育成センター

名 称	月 日	開催場所	出席職員	依頼機関等
応用生物部				
岩手県立農業大学校研究科植物コース 応用微生物学」	5月14日 ～6月27日	岩手県立農業大学校	山本 忠	岩手県立農業大学校
醸造技術部				
石鳥谷町酒造大学	7月11日	南部杜氏研修所	櫻井 廣	(社)南部杜氏協会
南部杜氏資格選考試験	7月22日	南部杜氏研修所	高橋 亨	(社)南部杜氏協会
南部杜氏夏季酒造講習会	7月23日 ～25日	石鳥谷町中央公民館 JAいわて中央(紫波町)	櫻井 廣、 中山繁喜、 畑山 誠、 高橋 亨	(社)南部杜氏協会
南部杜氏北上支部研修会	8月19日	翠明荘 (北上市)	櫻井 廣	(社)南部杜氏協会北上支部
石鳥谷町酒造大学	9月6日	工業技術センター	櫻井 廣、 中山繁喜、 畑山 誠、 高橋 亨	(社)南部杜氏協会

#### 食品開発部

岩手大学連携大学院講義	4月1日 ～3月31日	岩手大学	遠山 良	岩手大学
冷麺に関する研修会	5月16日	繋温泉愛真館	武山進一	岩手県乾麺工業協同組合
琴似中学校見学旅行自主研修(岩手の麺類)	5月31日	工業技術センター	遠山 良	琴似中学校
教育学部学生向け講演(岩手県における食品加工の実際)	7月15日	工業技術センター	遠山 良	岩手大学教育学部
産学官フォーラム大迫	7月19日	大迫町民会館	遠山 良	地域プラットフォーム連携強化事業連絡会
矢巾町農業・農村男女共同参画推進事業に係る講座	11月15日	矢巾町公民館	関村照吉	矢巾町

#### (2) 委員

名 称	月 日	開催場所	出席職員	依頼機関等
総務部				
江刺フロンティアパ - ク企業誘致促進協議会	4月24日	江刺市	斎藤紘一	江刺フロンティアパ - ク企業誘致促進協議会
(財)いわて産業振興センター 評議員会	5月29日	マリオス	斎藤紘一	(財)いわて産業振興センター
(財)いわて産業振興センター 評議員会	6月26日	マリオス	斎藤紘一	(財)いわて産業振興センター
人事委員会面接委員	7月29日	盛岡市	斎藤紘一	人事委員会
中小企業創造活動事業計画審査委員会	8月5日	盛岡市	斎藤紘一	産業振興課
中小企業創造活動事業計画審査委員会	9月9日	県庁	斎藤紘一	産業振興課
中小企業創造活動事業計画審査委員会	11月7日	盛岡地方振興局	斎藤紘一	産業振興課
中小企業創造活動事業計画審査委員会	11月13日	マリオス	斎藤紘一	産業振興課
中小企業創造活動事業計画審査委員会	3月19日	水産会館	斎藤紘一	産業振興課
中小企業創造活動事業計画審査委員会	3月20日	水産会館	斎藤紘一	産業振興課

名 称	月 日	開催場所	出席職員	依頼機関等
木質バイオマスエネルギー-利用促進会議	3月24日	教育会館	斎藤紘一	木質バイオマスエネルギー-利用促進会議
岩手県生物工学研究所評議員会	3月26日	県民会館	斎藤紘一	岩手県生物工学研究所
(財)いわて産業振興センター評議員会	3月28日	マリオス	斎藤紘一	(財)いわて産業振興センター

#### 企画情報部

盛岡少年少女発明クラブ第1回企画運営委員会	6月5日	盛岡市子ども科学館	畠山幸男	盛岡市子ども科学館
盛岡少年少女発明クラブ第2回企画運営委員会	2月5日	盛岡市子ども科学館	畠山幸男	盛岡市子ども科学館

#### 電子機械部

第1回花巻市新事業創出基板施設運営委員会	4月5日	花巻市役所	田中慎造	花巻市産業商工課
第1回情報端末機器調達審査委員会	4月24日	県庁	藤澤 充	情報システム課
第1回ものづくりIT融合化推進研究開発 切削加工ワーキンググループ会合	5月10日	(独)産総研臨海副都心センター	若槻正明	(独)産業技術総合研究所
第2回花巻市新事業創出基板施設運営委員会	6月6日	花巻市役所	田中慎造	花巻市産業商工課
第2回情報端末機器調達審査委員会	7月17日	県庁	藤澤 充	地域振興部情報システム課
中小企業活路開拓調査 実現化事業第1回委員会	8月20日	(財)釜石・大槌地域産業育成センター	田中慎造	(協)テクノポー 釜石
第1回独居高齢者在宅支援システム研究開発委員会	8月21日	社団医療法人啓愛会	菊地利雄	(協)快適介護の家
中小企業活路開拓調査 実現化事業第2回委員会	9月17日	(財)釜石・大槌地域産業育成センター	田中慎造	(協)テクノポー 釜石
第3回花巻市新事業創出基板施設運営委員会	9月26日	花巻市役所	田中慎造	花巻市産業商工課
第7回生産情報システム研究会	10月31日	(独)産総研臨海副都心センター	若槻正明	(独)産業技術総合研究所
第1回テクノナレッジネットワーク委員会	11月11日	新丸コンファレンス・スクエア (東京都)	若槻正明	(独)産業技術総合研究所
第2回独居高齢者在宅支援システム研究開発委員会	11月13日	社会医療法人啓愛会	菊地利雄	(協)快適介護の家
中小企業活路開拓調査 実現化事業第3回委員会	12月17日	釜石ステーションホテル	田中慎造	(協)テクノポー 釜石
第3回独居高齢者在宅支援システム研究開発委員会	1月23日	(協)快適介護の家	菊地利雄	(協)快適介護の家
第2回テクノナレッジネットワーク委員会	2月12日	新丸コンファレンス・スクエア (東京都)	若槻正明	(独)産業技術総合研究所
中小企業活路開拓調査 実現化事業第4回委員会	3月19日	釜石ステーションホテル	田中慎造	(協)テクノポー 釜石

#### 特産開発デザイン部

H14年度中小企業経営革新対策支援事業第1回委員会	7月17日	遠野地域森林総合センター	有賀康弘	(協)ノッチアート 遠野
第1回地域人材確保 養成事業実行委員会	9月13日	盛岡地域地場産業振興センター	湯口靖彦	盛岡地域地場産業振興センター
いわて夢住宅推進協議会	12月19日	県民会館	浪崎安治	林業振興課
活路開拓ビジョン実現化事業委員会	12月25日	ホテル サンオーエン	浪崎安治	(協)岩手木工センター



名 称	月 日	開催場所	出席職員	依頼機関等
活路開拓ビジョン実現化事業委員会	1月23日	ホテル サンオーエン	浪崎安治	(協)岩手木工センター
H14年度中小企業経営革新対策支援事業第2回委員会	3月26日	遠野地域森林総合センター	有賀康弘	(協)ノッチアール遠野
安代町漆器生産促進協議会	3月28日	安代町役場	町田俊一	安代町

金属材料部

第一回鋳造ワーキンググループ標準委員会	4月18日	機械振興会館(東京都)	勝負澤善行	(独)産業技術総合研究所
日本鋳造工学会東北支部理事会	4月22日	岩手大学	勝負澤善行	(社)日本鋳造工学会東北支部
第一回アーク溶接データベースワークショップ(産総研四国セ)桑嶋	4月30日~5月1日	(独)産総研四国センター	桑嶋孝幸	(独)産業技術総合研究所
第1回溶射データベース作成ワーキンググループ委員会	5月10日	大阪大学	桑嶋孝幸	(独)産業技術総合研究所
第二回鋳造技術ワーキンググループ準備委員会	5月29日	機械振興会館(東京都)	勝負澤善行	(独)産業技術総合研究所
水沢鋳物技術交流センター運営委員会	7月17日	水沢市鋳物技術交流センター	米倉勇雄	水沢市
鋳造工学会東北支部理事会	7月22日	青森県厚生年金休暇センター	勝負澤善行	(社)日本鋳造工学会東北支部
即効型地域コンソーシアム第一回委員会	7月29日	(財)釜石・大槌地域産業育成センター	小野 元	(財)釜石・大槌地域産業育成センター
ものづくりIT融合化推進技術研究開発に係る公設試会議	7月31日	新丸コンファレンススクエア(東京都)	南幅留男	(独)産業技術総合研究所
ものづくり先端技術第1回鋳造技術WG準備委員会	9月9日	機械振興会館(東京都)	勝負澤善行	(独)産業技術総合研究所
平成14年度中小企業活路開拓調査・実現化事業推進委員会	9月17日	工業技術センター	桑嶋孝幸	釜石機械金属工業団地協同組合
(財)釜石・大槌地域産業育成センター新事業創出研究会	9月17日	(財)釜石・大槌地域産業育成センター	高川貫仁	(財)釜石・大槌地域産業育成センター
(財)釜石・大槌地域産業育成センター新事業創出研究会	10月9日~10日	八戸工業大学	高川貫仁	(財)釜石・大槌地域産業育成センター
第3回溶射データベース作成ワーキンググループ委員会	10月10日	豊田工業大学	桑嶋孝幸	(独)産業技術総合研究所
ものづくり先端技術第2回鋳造技術ワーキンググループ準備委員会	11月21日	機械振興会館(東京都)	勝負澤善行	(独)産業技術総合研究所
即効型地域コンソーシアム第二回委員会	11月22日	ホテルメトロポリタン盛岡	小野 元	(財)釜石・大槌地域産業育成センター
平成14年度中小企業活路開拓調査・実用化事業推進委員会	12月17日	釜石ベイシティホテル	桑嶋孝幸	釜石機械金属工業団地共同組合
(財)釜石・大槌地域産業育成センター新事業創出研究会	12月19日	(財)釜石・大槌地域産業育成センター	高川貫仁	(財)釜石・大槌地域産業育成センター
第4回溶射データベース作成ワーキンググループ委員会	1月22日	新丸コンファレンススクエア(東京都)	桑嶋孝幸	(独)産業技術総合研究所
ものづくり先端技術第2回鋳造技術WG準備委員会	2月25日	機械振興会館(東京都)	勝負澤善行	(独)産業技術総合研究所
廃棄超硬合金のリサイクルによる再生超硬合金製造技術開発」第2回推進委員会	3月18日	マリオス	小向隆志、南幅留男、鎌田公一、小野 元	(財)いわて産業振興センター

化学部

第1回再生資源利用製品認定事業検討委員会	4月22日	県庁	佐々木秀幸	資源循環推進課
----------------------	-------	----	-------	---------

名 称	月 日	開催場所	出席職員	依頼機関等
第2回再生資源利用製品認定事業検討委員会	5月17日	盛岡地方振興局	佐々木秀幸	資源循環推進課
第3回再生資源利用製品認定事業検討委員会	6月12日	盛岡地方振興局	佐々木秀幸	資源循環推進課
第1回岩手県再生資源利用認定製品審査会幹事会	1月23日	盛岡地方振興局	瀬川晃児	資源循環推進課
第2回岩手県再生資源利用認定製品審査会幹事会	3月7日	岩手県公会堂	瀬川晃児	資源循環推進課

応用生物部

農産物加工指導 研究推進連絡会議	7月12日	農業研究センター	大澤純也	農業研究センター
岩手農林研究協議会	8月2日	農業研究センター	大澤純也	岩手大学農学部
ふるさと認証食品検討委員会	2月14日	泉金物産ビル	大澤純也	流通課
農産物加工指導 研究推進連絡会議	3月13日	農業研究センター	山本 忠	農業研究センター

醸造技術部

南部杜氏資格選考委員会	7月24日	南部杜氏研修所	櫻井 廣	(社)南部杜氏協会
-------------	-------	---------	------	-----------

食品開発部

岩手県麦・大豆等産地体制確立推進協議会	5月1日	水産会館	遠山 良	農産園芸課
第1回新商品開発能力育成事業,事業調整連絡委員会	6月27日	ラ・フランス温泉館 (紫波町)	遠山 良	(株)紫波まちづくり企画
山形村地域資源等活用型企業化事業実行委員会(第1回)	7月25日	山形村役場	笹島正彦	(有)総合農舎山形村
盛岡地方農業資源利用ネットワーク構築モデル事業「第1回検討委員会」	7月26日	盛岡地方振興局	笹島正彦	盛岡地方振興局農政部
第1回事業可能性評価委員会	7月30日	マリオス	遠山 良	(財)いわて産業振興センター
第1回事業可能性評価委員会	7月31日	マリオス	遠山 良	(財)いわて産業振興センター
プラント商談会	8月7日	農林会館	関村照吉	岩手県産(株)
第2回事業可能性評価委員会	8月29日	マリオス	遠山 良	(財)いわて産業振興センター
第2回新商品開発能力育成事業,事業調整連絡委員会	9月24日	ラ・フランス温泉館 (紫波町)	遠山 良	(株)紫波まちづくり企画
第1回新商品開発能力育成事業運営委員会	9月26日	キャラホール (盛岡市)	遠山 良	岩手県産株式会社
プラント商談会	9月30日	農林会館	関村照吉	岩手県産(株)
プラント商談会(盛岡会場)	10月3日	ホテルメトロポリタン盛岡	遠山 良、 関村照吉	岩手県産(株)
第3回事業可能性評価委員会	10月18日	マリオス	遠山 良	(財)いわて産業振興センター
プラント商談会(大阪会場)	10月23日	インテックス大阪 (大阪市)	関村照吉	岩手県産(株)
山形村地域資源等活用型企業化事業実行委員会(第2回)	11月14日	山形村役場	笹島正彦	(有)総合農舎山形村
第2回新商品開発能力育成事業運営委員会	11月21日	ジャーランジャーラン (盛岡市)	遠山 良	岩手県産(株)

名 称	月 日	開催場所	出席職員	依頼機関等
盛岡地方農業資源利用ネットワーク構築モデル事業「第2回検討委員会」	11月26日	盛岡地方振興局	笹島正彦	盛岡地方振興局農政部
食品製造残さ有効利用研究会	12月4日	盛岡地方振興局	遠山 良	農業研究センター
第3回新商品開発能力育成事業、事業調整連絡委員会	12月24日	ラ・フランス温泉館 (紫波町)	遠山 良	(株)紫波まちづくり企画
岩手プラント商談会	1月20日	農林会館	武山進一	いわてプラント商談会実行委員会
第3回新商品開発能力育成事業運営委員会	2月5日	キャラホール (盛岡市)	遠山 良	岩手県産(株)
山形村地域資源等活用型企業化事業実行委員会(第3回)	2月6日	平庭山荘 (山形村)	笹島正彦	(有)総合農舎山形村
第4回新商品開発能力育成事業、事業調整連絡委員会	2月13日	ラ・フランス温泉館 (紫波町)	遠山 良	(株)紫波まちづくり企画

### (3) 審査員

名 称	月 日	開催場所	出席職員	依頼機関等
-----	-----	------	------	-------

#### 特産開発デザイン部

第23回水沢市鋳物まつり創作展	7月3日	水沢市伝統産業会館	湯口靖彦	第23回水沢市鋳物まつり実行委員会
第36回全国建具展示会審査会	8月29日	岩手産業文化センター(アピオ)	有賀康弘	第47回全国建具組合連合会岩手大会実行委員会
平成14年度盛岡手づくり村工人展審査	9月19日	盛岡手づくり村	町田俊一	盛岡手づくり村工房祭り実行委員会
第46回岩手県当家伊具ラグコンクール	9月19日	県庁	東矢恭明	調査統計課
第46回岩手県当家伊具ラグコンクール	9月19日	県庁	東矢恭明	調査統計課
全国木工芸コンペ「木と暮らしの工芸展 大野村2002」審査	10月3日	大野村商工会	町田俊一	全国木工芸コンペ「木と暮らしの工芸展 大野村2002」実行委員会
第24回浄法寺生漆共進会審査	10月25日	浄法寺町勤労福祉会館	町田俊一	浄法寺生漆生産組合
第31回躍進いわての産業まつり「特産品コンクール」	10月23日	水沢市体育館	湯口靖彦	(社)岩手県産業貿易振興会
第53回一関地方産業まつり「特産品コンクール」	11月8日	一関文化センター	湯口靖彦	第53回一関地方産業まつり実行委員会
第44回岩手県観光みやげ品推奨審査会	11月15日	農林会館	湯口靖彦	(財)岩手県観光協会
いわて技能フェスタ2002小中学生絵画・版画コンクール	12月17日	岩手県公会堂	湯口靖彦	労政能力開発課
いわて夢住宅推進協議会 第1次審査会	1月15日	県民会館	浪崎安治	林業振興課
いわて農林水産業キャッチフレーズとシンボルマーク審査委員会	1月16日	県民会館	湯口靖彦	農林水産企画室
いわて夢住宅推進協議会審査会	1月30日	県民会館	浪崎安治	林業振興課

#### 金属材料部

第42回岩手県溶接技術競技会第2回審査委員会	4月12日	工業技術センター	高橋幾久雄、 桑嶋孝幸	(社)日本溶接協会岩手県支部
第42回岩手県溶接競技会表彰式	6月4日	ホテル東日本	高橋幾久雄、 桑嶋孝幸	(社)日本溶接協会岩手県支部

名 称	月 日	開催場所	出席職員	依頼機関等
第23回水沢市鋳物まつり南部鉄器新作展	7月3日	水沢市鋳物技術交流センター	米倉勇雄	水沢市
岩手県溶接技術競技会検討会	7月12日	ホテル東日本	高橋幾久雄	(社)日本溶接協会岩手県支部
第2回岩手県溶接技術競技会検討会	8月8日	ホテル東日本	高橋幾久雄	(社)日本溶接協会岩手県支部
第44岩手県観光みやげ品推奨審査会	11月15日	農林会館	南幅留男	(財)岩手県観光協会
第43回岩手県溶接技術競技会審査委員会	3月5日	工業技術センター	高橋幾久雄、 桑嶋孝幸	(社)日本溶接協会岩手県支部
第43回岩手県溶接競技会審査	3月8日	岩手県職業能力開発促進センター	高橋幾久雄、 桑嶋孝幸	(社)日本溶接協会岩手県支部

#### 醸造技術部

第84回南部杜氏自醸清酒鑑評会	4月2日 ～5日	南部杜氏研修所	櫻井 廣、 中山繁喜、 米倉裕一、 高橋 亨	(社)南部杜氏協会
全国新酒鑑評会出品酒持ち寄り研究会	4月6日	岩手県酒造組合	櫻井 廣、 中山繁喜、 米倉裕一、 高橋 亨	岩手県酒造組合
しょづゆJASきき味検査	5月22日	岩手県味噌醤油工業協同組合	畑山 誠	岩手県味噌醤油工業協同組合
しょづゆJASきき味検査	8月22日	岩手県味噌醤油工業協同組合	畑山 誠	岩手県味噌醤油工業協同組合
宮城県清酒鑑評会	9月26日	宮城県産業技術総合センター	櫻井 廣	宮城県酒造組合
しょづゆJASきき味検査	9月26日	岩手県味噌醤油工業協同組合	畑山 誠	岩手県味噌醤油工業協同組合
平成14年東北清酒鑑評会	10月7日 ～11日	仙台国税局	櫻井 廣、 中山繁喜	仙台国税局
しょづゆJASきき味検査	10月25日	岩手県味噌醤油工業協同組合	畑山 誠	岩手県味噌醤油工業協同組合
しょづゆJASきき味検査	11月20日	岩手県味噌醤油工業協同組合	畑山 誠	岩手県味噌醤油工業協同組合
しょづゆJASきき味検査	12月25日	岩手県味噌醤油工業協同組合	畑山 誠	岩手県味噌醤油工業協同組合
しょづゆJASきき味検査	3月19日	岩手県味噌醤油工業協同組合	畑山 誠	岩手県味噌醤油工業協同組合
山形県新酒鑑評会	3月19日	山形県工業技術センター	中山繁喜	山形県酒造組合
青森県新酒持ち寄り研究会	3月25日	青森県酒類卸商業協同組合会議室	畑山 誠	青森県酒造組合

#### 食品開発部

ふるさと食品コンクール	9月3日	盛岡中央卸売市場	関村照吉	農林水産部流通課
第31躍進いわての産業まつり特産品コンクール」	10月24日	水沢市体育館	遠山 良	いわて産業貿易振興センター
第53回一関地方産業祭り特産品コンクール	11月8日	一関文化センター	遠山 良	一関地方産業まつり実行委員会
第44岩手県観光みやげ品推奨審査会	11月15日	農林会館	遠山 良	(財)岩手県観光協会
第1回母ちゃん自慢漬物コンクール	11月23日	道の駅 徹美溪	遠山 良	道の駅 徹美溪 組合法人 美の里
陸前高田市特産品コンクール審査	11月8日	陸前高田シーサイドターミナル(タピック45)	武山進一	陸前高田市産業まつり実行委員会

名 称	月 日	開催場所	出席職員	依頼機関等
-----	-----	------	------	-------

(4) その他

総務部

岩手県地域連携研究センター 開所式	5月14日	地域連携研究センター	斎藤紘一	地域連携研究センター
岩手県技能士会総会	5月14日	盛岡市	山本一之	岩手県技能士会
日本塗装工業会岩手県支部総会	5月17日	盛岡市	山本一之	日本塗装工業会岩手県支部
日本電炉(株)東北ガルバーセンター 落成式	5月22日	日本電炉(株)東北ガルバーセンター	斎藤紘一	日本電炉(株)東北ガルバーセンター
岩手県職業能力開発協会総会	5月22日	盛岡市	杉田臣郎	岩手県職業能力開発協会
(社)岩手県工業クラブ総会	5月31日	盛岡市	斎藤紘一	(社)岩手県工業クラブ
(社)日本溶接協会岩手県支部総会	6月4日	盛岡市	斎藤紘一	(社)日本溶接協会岩手県支部
アルパックテクノ岩手CSセンター 開所式	6月11日	アルパックテクノ岩手CSセンター	杉田臣郎	アルパックテクノ岩手CSセンター
北上ネットワークフォーラム総会	6月24日	北上市	杉田臣郎	北上ネットワークフォーラム
全国建具組合連合会岩手大会	8月30日	盛岡市民文化ホール	山本一之	全国建具組合連合会
高度熟練技能者認定証伝達式	9月12日	サンセル盛岡	山本一之	岩手県職業能力開発協会
森林技術総合研修所ペレットスト- プ点火式	12月18日	森林技術総合研修所(東京都)	斎藤紘一	森林技術総合研修所
岩手県再生資源利用認定製品審査会	3月18日	県民会館	山本一之	資源循環推進課
高度熟練技能者認定証伝達式	3月19日	サンセル盛岡	斎藤紘一	岩手県職業能力開発協会

企画情報部

第9回岩手県産官学連携連絡会議	5月10日	マリオス	佐々木秀幸	岩手大学地域共同研究センター
平成14年度特許流通アドバイザー管理者会議	5月27日	東京都	畠山幸男	(社)発明協会
北上市基盤技術支援センター 運営委員会	5月29日	北上市基盤技術支援センター	畠山幸男	北上市基盤技術支援センター
平成14年度第1回東北リエゾン機関ネットワーク会議	7月4日	仙台市	畠山幸男	東北リエゾン機関ネットワーク
第10回岩手県産官学連携連絡会議	9月3日	地域連携研究センター	鎌田公一	岩手大学地域共同研究センター
岩手県研究開発推進連絡会議第11回ワーキンググループ	9月24日	岩手県公会堂	伊藤良仁	科学技術課
第6回東北リエゾン機関ネットワーク会議	9月30日	仙台市	鎌田公一	東北リエゾン機関ネットワーク
第11回岩手県産官学連携推進連絡会議	11月12日	ホテルグランシェール花巻	鎌田公一	岩手大学地域共同研究センター
岩手県工業技術研究推進会議ワーキンググループ	11月22日	県庁	畠山幸男	科学技術課
公共・大学・専門図書館等連絡協議会	11月29日	都南図書館	賢木 祐	公共・大学・専門図書館等連絡協議会
第12回岩手県産官学連携連絡会議	1月22日	岩手大学地域共同研究センター	鎌田公一	岩手大学地域共同研究センター

名 称	月 日	開催場所	出席職員	依頼機関等
岩手県研究開発推進連絡会議ワーキンググループ会議(第14回)	1月24日	岩手県公会堂	藤澤 充	科学技術課
H15産業集積に係る経産局ヒアリング	2月28日	仙台市	茨島 明	東北経済産業局
岩手県研究開発推進連絡会議ワーキンググループ会議(第15回)	3月27日	エスポワールいわて	藤澤 充	科学技術課

電子機械部

西和賀地域木質バイオマス活用推進会議	11月15日	沢内バーデン	田中慎造、 遠藤治之	北上振興局企画振興課
--------------------	--------	--------	---------------	------------

特産開発デザイン部

象嵌装飾体「マッチング」会議	5月20日	工業技術センター	浪崎安治、 有賀康弘	岩手県知的所有権センター
商品開発事業製品の生産に伴う商品改善検討会	6月5日	大野村産業デザインセンター	町田 俊一	大野村産業デザインセンター
象嵌装飾体「マッチング」会議	9月10日	工業技術センター	浪崎安治、 飯村 崇	岩手県知的所有権センター
象嵌装飾体「マッチング」会議	10月31日	工業技術センター	浪崎安治、 有賀康弘、 飯村 崇	岩手県知的所有権センター
JICA技術研修員受入機関連絡会議	11月1日	ふきみ会館 (秋田市)	長嶋宏之	JICA
象嵌装飾体「マッチング」会議	12月18日	工業技術センター	浪崎安治、 有賀康弘、 飯村 崇	岩手県知的所有権センター
県産木炭プラント推進アクションプラン検討会	2月12日	北ホテル (盛岡市)	湯口靖彦	岩手プラント推進課

金属材料部

水沢市鋳物技術交流センター落成式	4月12日	水沢市鋳物技術交流センター	斎藤紘一、 南幅留男、 米倉勇雄	水沢市
第一回Mgリサイクル研究会	5月17日	花巻市ビジネスインキュベータ	小野 元	Mgリサイクル研究会
南部鉄器協同組合総会	5月21日	ホテルメトロポリタン盛岡	勝負澤善行	南部鉄器協同組合
岩手県鉄工業協同組合総会	5月22日	ホテル東日本	南幅留男	岩手県鉄工業協同組合
水沢鋳物工業協同組合総会	5月24日	水沢市鋳物技術交流センター	南幅留男	水沢鋳物工業協同組合
岩手県鉄鋼工業協同組合青年部通常総会	7月24日	ホテルメトロポリタン盛岡	南幅留男	岩手県鉄鋼工業協同組合青年部
大阪大学接合科学研究所共同研究	7月26日 ～8月3日	大阪大学	桑嶋孝幸	大阪大学
第五回Mgリサイクル研究会	9月2日	花巻地方振興局	小野 元	Mgリサイクル研究会
鉛フリーはんだ利用技術情報交換会	10月24日	(社)日本溶協会	桑嶋孝幸	(社)日本溶協会
第23回SRL研究報告会	11月27日	(財)国際超電導産業技術 研究センター(東京都)	齋藤 貴	(財)国際超電導産業技術 研究センター
花巻市3研究会合同研究会	11月29日	花巻市生涯学園都市会館	斎藤紘一、 南幅留男、 小野 元	Mgリサイクル研究会
岩手県金属工業協同組合実務研修会	12月5日	ホテル東日本	斎藤紘一、 桑嶋孝幸	岩手県金属工業協同組合

名 称	月 日	開催場所	出席職員	依頼機関等
大阪大学接合科学研究所共同研究	1月8日 ～14日	大阪大学	桑嶋孝幸	大阪大学

化学部

第8回岩手県産官学連携連絡会	5月10日	マリオス	佐々木秀幸	岩手大学地域共同研究センター
廃棄物学会東北支部発起人会	3月12日	東北大学	佐々木秀幸	廃棄物学会

醸造技術部

東北6県酒造指導機関協議会	4月24日	仙台国税局	櫻井 廣	仙台国税局鑑定官室
岩手県酒造組合総会	4月25日	酒造組合会議室	斎藤紘一、 手塚敏幸、 櫻井 廣	岩手県酒造組合
卓越技能者被表彰者候補者審査準備会	5月8日	県庁	中山繁喜	労政能力開発課
平成14年度研究進捗発表会 (前期)	6月19日	岩手生物工学研究センター	高橋 亨	岩手生物工学研究センター
酒造技術研究委員会	6月20日	酒造組合会議室	櫻井 廣、中山 繁喜	岩手県酒造組合
全国清酒技術者会東北地区会	7月8日 ～9日	ブナの里白神館 (弘前市)	畑山 誠	東北清酒技術者会
吟醸酒研究会	7月29日	ホテルロイヤル盛岡	櫻井 廣、他 醸造技術部員	岩手県酒造組合
卓越技能者被表彰者候補者審査準備会	9月11日	県庁	中山繁喜	労政能力開発課
平成14年度研究進捗発表会 (後期)	9月18日	岩手生物工学研究センター	中山繁喜	岩手生物工学研究センター
東北6県酒造指導機関協議会	10月11日	仙台国税局	櫻井 廣	仙台国税局鑑定官室
全国酒造技術指導機関合同会議	10月17日	中央合同庁舎第4号館 (東京都)	米倉裕一	国税庁
第10回研究発表会	12月4日	岩手生物工学研究センター	中山繁喜	岩手生物工学研究センター
岩手県酒造組合全員協議会	1月9日	サンセール盛岡	手塚敏幸、櫻 井 廣	岩手県酒造組合
岩手県酒造組合臨時総会	3月26日	ホテルロイヤル盛岡	手塚敏幸、櫻 井 廣	岩手県酒造組合

食品開発部

岩手県麦・大豆等産地体制確立推進協議会 麦部会	5月1日	水産会館	遠山 良、 関村照吉、 山口佑子	農林水産部農産課
県産小麦使用パンの加工試験打ち合わせ	5月15日	工業技術センター	手塚敏幸、 遠山 良、他食 品開発部員	農林水産部農産課
ネットワーク連絡会 2002 Summer	7月19日	岩手看護短期大学	武山進一	岩手大学総合情報処理センター
平成14年度岩手県農業試験研究推進会議専 門部会 (成果検討)畑作	1月15日	農業研究センター	関村照吉	農業研究センター
そば 雑穀等特産農作物研修会	2月12日	労働福祉会館	遠山 良、関村 照吉	農林水産部農産課

# 試験・設備利用業務

## -1 依頼試験

(単位:件、円)

担当部	試験・分析等項目	14年度 A		13年度 B		増減 A - B	
		件数	手数料額	件数	手数料額	件数	手数料額
企画情報部	科学技術情報	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0
化学部	燃料試験	35	99,400	51	153,650	16	54,250
	窯業試験	45	162,400	25	95,440	20	66,960
	非金属材料試験	60	126,600	60	126,600	0	0
	金属材料試験	63	183,330	39	113,490	24	69,840
	非金属総合試験・金属総合試験	96	1,116,560	84	1,124,010	12	7,450
	定性分析	257	816,450	110	321,430	147	495,020
	定量分析	1,254	5,063,990	1,067	4,319,320	187	744,670
	重量測定試験	9	12,070	24	30,720	15	18,650
	塗装・塗膜試験	294	525,060	0	0	294	525,060
	計	2,113	8,105,860	1,460	6,284,660	653	1,821,200
金属材料部	金属材料試験	318	346,740	310	354,240	8	7,500
	金属組織試験	51	122,020	29	69,430	22	52,590
	金属非破壊試験	0	0	60	121,500	60	121,500
	鋳物砂試験	0	0	2	4,140	2	4,140
	定性分析	117	1,744,470	57	849,870	60	894,600
	計	486	2,213,230	458	1,399,180	28	814,050
電子機械部	精密測定試験	88	306,480	76	250,650	12	55,830
	金属組織試験	65	406,900	17	106,420	48	300,480
	計	153	713,380	93	357,070	60	356,310
特産開発デザイン部	木製材料試験	4	24,000	21	57,750	17	33,750
	繊維及び繊維製品の化学試験	14	10,780	14	10,780	0	0
	染色物洗濯堅ろう度試験	6	1,560	0	0	6	1,560
	計	24	36,340	35	68,530	11	32,190
食品系3部	食品試験	32	170,590	0	0	32	170,590
	計	32	170,590	0	0	32	170,590
総務部	副本	43	12,900	33	9,900	10	3,000
	計	43	12,900	33	9,900	10	3,000
合計		2,851	11,252,300	2,079	8,119,340	772	3,132,960



## -2 設備利用

### (1) 施設使用

(単位 :件、時間、円)

担当部	施設名	単位	単価	14年度A			13年度B			増減A-B		
				件数	使用時間	使用料額	件数	使用時間	使用料額	件数	使用時間	使用料額
電子機械	電波暗室	1時間	8,140	80	457	3,719,980	70	391	3,182,740	10	66	537,240

### (2) 機械器具貸付

(単位 :件、時間、m、円)

担当部	機械器具名	単位	単価	14年度A			13年度B			増減A-B		
				件数	使用時間等	貸付料額	件数	使用時間等	貸付料額	件数	使用時間等	貸付料額
化学	低温恒温器	1時間	100				1	40	4,000	1	40	4,000
	促進耐候性試験機		1,230				1	72	88,560	1	72	88,560
	混練試験造粒機		1,300				1	3	3,900	1	3	3,900
	電気熱風乾燥炉		210	3	24	5,040				3	24	5,040
	恒温槽付き引張試験器		400	10	52	20,800				10	52	20,800
	顕微FT-IR		1,000	9	28	28,000				9	28	28,000
	衝撃試験装置(プラスチック)		700	1	3	2,100				1	3	2,100
	原子間力顕微鏡		1,700	4	21	35,700	2	8	13,600	2	13	22,100
	耐候性試験機		500	59	472	236,000	3	88	44,000	56	384	192,000
	オージェ表面解析装置		4,300	3	12	51,600				3	12	51,600
	全自動接触角測定装置		200	5	11	2,200				5	11	2,200
金属材料	微小硬度計	1時間	50				1	3	150	1	3	150
	電気マッフル炉		100				1	8	800	1	8	800
	プラズマ溶射装置		9,300	1	1	9,300				1	1	9,300
	加圧雰囲気炉		2,000	6	33	66,000				6	33	66,000
	微小部X線回折装置		2,400	1	4	9,600				1	4	9,600
	MAG半自動溶接機		200	1	1	200				1	1	200
電子機械	ワイヤーカット放電加工機	1時間	2,860	1	4	11,440				1	4	11,440
	治具中ぐりフライス		320	1	2	640				1	2	640
	軟X線装置		1,060	19	19	20,140	10	19	20,140	9		
	高精度電気特性試験装置		210	2	5	1,050	4	7	1,470	2	2	420
	高速映像解析装置		1,060				1	3	3,180	1	3	3,180
	マイクロフォーカスX線装置		4,660	36	37	172,420	68	160	745,600	32	123	573,180
	熱衝撃試験器		1,330	166	1,249	1,661,170	18	389	517,370	148	860	1,143,800
	高精度ワイヤ放電加工機		3,100	7	43	133,300	1	4	12,400	6	39	120,900
	CNC超精密鏡面加工機		4,000	25	164	656,000	12	137	548,000	13	27	108,000
	CNCパイプベンダー		1,400	8	21	29,400	16	36	50,400	8	15	21,000
	マシニングセンタ		1,800				9	60	108,000	9	60	108,000
	統合型熱変形解析システム		300				1	2	600	1	2	600
	3次元振動解析装置		1,600	5	10	16,000				5	10	16,000
	ユニバーサルサンダー		100	2	2	200				2	2	200
特産開発	旋盤	1時間	100	1	3	300				1	3	300
	フリーボール盤		50	3	5	250				3	5	250
	高速面とり機		210	2	8	1,680	1	4	840	1	4	840
	高速度ルーター		210	3	4	840				3	4	840
	縦突きスライサー		1,270	3	7	8,890	4	9	11,430	1	2	2,540
	カート機		210	11	18	3,780	16	29	6,090	5	11	2,310
	ホフマンプレス機		210	1	1	210	1	2	420		1	210
	商品性能試験用環境シミュレーション装置		4,540	1	8	36,320	2	5	22,700	1	3	13,620
	恒温恒湿器		50	84	672	33,600	4	120	6,000	80	552	27,600
	光硬化樹脂モデル作成装置		4,190				2	51	213,690	2	51	213,690
デザイン	鋳造原型作成装置	m	100				3	10	1,000	3	10	1,000
	コンブウッド圧縮プレスシステム		2,100	3	2.5	5,250				3	3	5,250
	コンブウッド蒸気加圧システム		2,000	3	14	28,000				3	14	28,000
	製品解析用3次元モデル試作装置		2,300	28	166	478,354				28	166	478,354
	(材料費別途加算)											
	モデル作成支援装置		500	24	78	39,000				24	78	39,000
醸造技術	仕上機械器具	1時間	140	54	4,974.8	696,472	68	6853.6	959,504	14	1879	263,032
	巾着乾燥機刷毛機械設備		50	4	80.1	4,005	10	361.3	18,065	6	281	14,060
	乾燥刷毛蒸織設備		120	24	2,321.5	278,580	27	482.6	57,912	3	1839	220,668
	ミニ精米機(30kg)		200	9	67	13,400				9	67	13,400
	自動製麹機(120kg)	900	3	24	21,600				3	24	21,600	
合	計		636		4,818,831	288		3,459,821	351		1,359,010	
総	計		716		8,538,811	358		6,642,561	361		1,896,250	

## V 人材養成業務

### V-1 中小企業開発能力強化推進事業(略称:テクノブリッジ推進事業)

#### (1) 長期共同研究

No.	研修生氏名	所 属	受入部	担当者	研修期間	
1	吉田兼明	上尾精密(株)	電子機械部	若槻正明	7月1日～3月31日	
2	中村吉信	(株)でん		長谷川辰雄	8月1日～3月26日	
3	菊地 伸	東北日本電気(株)			9月11日～3月26日	
4	津志田貴文	美和ロック(株)盛岡工場		和合 健	8月1日～3月31日	
5	鄭 鋼	(株)ニュートン			8月1日～3月31日	
6	及川孔璽	(株)松栄工機釜石工場			8月1日～3月31日	
7	井上研司	(株)東光舎			8月1日～3月31日	
8	泉澤 栄	盛岡セイコー工業(株)		泉田福典	8月1日～3月31日	
9	田鎖 昇	トーア木材(株)	特産開発デザイン部	浪崎安治	8月5日～3月11日	
11	佐藤健吾	新機能材開発企業化(協)			9月4日～3月20日	
10	及川 雄	(有)藤里木工所		有賀康弘	8月7日～3月14日	
13	梨郷次男	(社)大野ふるさと公社		町田俊一	10月1日～3月20日	
14	綱取光男	南部鉄器販売(株)虎山工房		長嶋宏之	10月14日～3月20日	
12	本館修一	サンホレスト化成工業(株)岩手工場			10月1日～3月20日	
15	岡本 紘	シーアンドエス	金属材料部	勝負澤善行	9月1日～3月31日	
16	小平靖明	品川ダイカスト工業(株)		茨島 明	8月1日～2月28日	
17	赤石 晃	ユニカ(株)		桑嶋孝幸	8月1日～3月31日	
18	大木戸希	(株)シチズン岩手			8月1日～3月31日	
19	小岩浩一	三協金属		高川貫仁	8月1日～3月31日	
20	松田隆至	(社)日本塗装工業会岩手県支部	化学部	穴沢 靖	8月1日～3月28日	
21	杉山浩仁	(株)共立盛岡工場			8月1日～3月28日	
22	遠藤俊哉	(株)ティーアンドケイ		鈴木一孝	8月1日～3月25日	
23	田村 剛	上尾精密(株)			8月1日～3月25日	
24	及川幸男	盛岡東京電波(株)			8月1日～3月24日	
25	柴田 修	(株)東亜電化			佐々木英幸	8月1日～3月31日
26	早坂和江	(有)グリーン総業		応用生物部	山本 忠	8月10日～3月31日
27	金野勝久	(株)大和化成研究所 釜石工場	小浜恵子		8月1日～3月7日	
28	古川道生 宮川伸一	(株)岩手畜産流通センター	岸 敦		8月1日～3月31日	
29	久慈浩介	(株)南部美人	醸造技術部	高橋 亨	8月1日～3月20日	
30	関口和成	(株)岩手川		中山繁喜	8月1日～3月20日	
31	吉田秀樹	(株)青三	食品開発部	山口佑子	8月1日～3月28日	
32	吉田毅一	(株)吉田製麺		武山進一	9月18日～3月12日	

## (2)短期共同研究

No.	研修生氏名	所 属	受入部	担当者	研修期間	
1	澤村捷郎	(有)サワ	電子機械部	堀田昌宏	8月1日～9月10日	
2	菅生浩美	(株)トータルシステム		菊地利雄	9月1日～30日	
3	佐藤牧男	個人		長谷川辰雄	10月15日～11月22日	
4	及川 敬 石村眞一 福田 武	(株)及精鑄造所	特産開発デザイン部	湯口靖彦	8月1日～3月28日	
5	菊池邦吉	江刺民芸工房		浪崎安治	8月1日～9月3日	
6	富士原文隆	安代町漆器試作研究会			11月14日～1月10日	
7	小澤 勉	日本太柄(株)北上工場			11月26日～1月7日	
8	福浦英憲	(有)福浦木工所		有賀康弘	8月5日～10月5日	
9	和山忠吉	おりつめ木工			8月25日～9月10日	
10	内田広子	(株)内田木工			9月10日～11月10日	
11	小田島勇一	滴生舎			10月30日～12月10日	
12	坂下勝吾	宮古ボード工業(株)			東矢 恭明	10月5日～25日
13	佐々木哲	フクビハウジング(株)				10月9日～31日
14	前田知行	南部鉄器販売(株)		金属材料部	勝負澤善行	11月1日～2月28日
15	鎌田寛之	リコー光学(株)		化学部	鈴木一孝	8月1日～8月30日
16	藤原正樹	岩手建工(株)			佐々木秀幸	11月1日～1月31日
17	石井勝洋	(株)わしの尾	醸造技術部	畑山 誠	8月1日～9月19日	
18	菅原 健	(株)わしの尾			8月1日～9月19日	
19	高野直樹	佐々長醸造(株)			2月26日～2月28日	
20	玉川聖士	(株)あさ開		中山繁喜	8月5日～1月24日	
21	工藤宝学	アピオス			8月19日～8月30日	
22	横沢裕子	月の輪酒造店		米倉裕一	10月7日～11月1日	
23	山田一雄	アクトオール陽春舎			1月14日～2月20日	
24	漆原 昇	矢巾町農業対策会議		櫻井 廣	11月5日～12月12日	
25	徳江康円 徳江紅好子	(有)丸徳	食品開発部	笹島正彦	10月22日～2月28日	
26	佐々木敏夫	(株)早池峰団子		山口佑子	8月1日～8月9日	
27	藤根啓一	(有)酒麴本舗藤根食品		武山進一	8月1日～8月31日	

## (3) 開放設備利用等講習

No.	講習テーマ	機器名	講師	開催日	場所	参加者数
1	機械加工技術講習会	マシニングセンター 自動旋盤	コベルコツールエンジニアリング(株) 五反田 脩 出光興産(株)営業研究所 齋藤 敏夫	9月3日	工業技術 センター	21
2	計測システム(Lab View)講習会	計測システム(Lab View)	(株)フィールドエンジニア 白井 隆光 バイスリープロジェクト(株) 樋下 裕司	12月6日		24
3	木材加工技術講習会	検知管式気体測定器	コニン(株)東京支店技術部次長 井上雅雄	6月12日		39
4	最新機器操作講習会	コンプウッドシステム 光造形装置 レーザー彫刻機	工業技術センター 浪崎 安治 有賀 康弘 長嶋 宏之	8月5日		9
5	木材加工技術講習会	検知管式気体測定器	工業技術センター 浪崎 安治	10月25日		9
6	射出成形機使用技術	射出成形機	工業技術センター 佐々木英幸	7月15日 ～8月6日		4
7	自動接触角計操作説明会	自動接触角計	営業 小柳勝史	9月9日		4
8	熱分析計操作講習会	ハイブリッド熱分析システム	工業技術センター 佐々木英幸	2月28日		24
9	金型内樹脂流動解析講習会	金型内樹脂流動解析装置	モールドフロッジヤパン(株) マネージャー 立花一成 工業技術センター 佐々木英幸 若槻 正明	1月23日 ～24日		4
10	岩手県バイオインダストリー地域交流会		工業技術センター 岸 敦	12月4日	エスポワール いわて	72
11	岩手生物素材高度利用研究会	超臨界抽出装置	工業技術センター 小浜 恵子 岸 敦	2月17日	工業技術 センター	13
12	杜氏後継者育成事業酒造大学	クリーンベンチ アルコール蒸留装置	工業技術センター 桜井 廣 中山繁喜 畑山 誠 米倉 裕一 高橋 亨	9月6日		16
13	味噌、醤油技術講習会	乳酸菌培養装置	(財)日本醤油研究所専務理事 勝田修支	2月25日	ホテルルイズ	24
14	冷麺に関する研修会	エクストルーダー	工業技術センター 遠山 良	5月16日	ホテル愛真館	25
15	和洋菓子製菓研究会	自動包あん機	レオン自動機(株)仙台営業所 吉田健二	5月22日	工業技術 センター	14
16	製パン技術普及講習会	ミキサー シーターモルダー ホイロ ベーカリーオープン	環境保健センター 小野正文 月島食品工業(株)仙台営業所 鈴木均	7月26日		46
17	和洋菓子製菓研究会	自動包あん機	レオン自動機(株)仙台営業所 吉田健二	10月23日		18

合計 366名

## -2 アドバンストORT事業

研修生氏名	所属	研修内容	受入部	担当者	研修期間
馬場 賢	三友電子工業(株)	半田めっき皮膜の加熱後密着強度不良の調査	電子機械部	泉田福典	7月1日 ~3月31日
高橋範雅 吉田賜早人 小川 裕二	(有)アンス	ANSYSを用いた解析技術	電子機械部	園田哲也	7月1日 ~3月31日
小川口聖子	(株)東北パワープロジェクト	金型製作のスケジューリング	電子機械部	若槻正明	7月1日 ~3月31日
中山博実	HMT	細線ワイヤカット加工	電子機械部	和合 健	9月2日 ~3月31日
石原靖将	(株)モディー	光造形利用による高速製品開発に関する研究	特産開発デザイン部	長嶋宏之	10月1日 ~3月29日
長崎博志	東北日発(株)	超高温耐熱ばね最適時効処理条件の研究	金属材料部	齋藤 貴	10月1日 ~3月31日
高橋 寛	岩手鋳機工業(株)	鋳造品内部欠陥検査と3次元凝固解析システム	金属材料部	茨島 明	10月1日 ~3月31日
今野貴史	日本電炉(株)東北ガルバセンター	めっき高力ボルト摩擦接合表面処理剤の開発	金属材料部	高橋幾久雄	10月1日 ~3月31日
林 俊春	和同産業(株)	純粋洗水処理装置廃水の酸化接触法の研究	金属材料部	桑嶋孝幸	10月1日 ~3月31日
伊藤 乃	(株)スペック	表面改質技術	化学部	鈴木一孝	6月1日 ~3月20日
川村 智	竹内真空被膜(株)	表面改質技術	化学部	鈴木一孝	6月1日 ~3月28日

## -3 研修生の受入れ

研修生氏名	所属	研修内容	受入部	担当者	研修期間
野口一成	岩手大学大学院工学研究科博士前期課程機械工学専攻	ワイヤ放電加工による厚板加工	電子機械部	和合 健	5月1日 ~10月31日
渡邊浩之	岩手大学工学部機械工学科	ワイヤ放電加工によるプレート加工	電子機械部	和合 健	5月1日 ~10月31日
大関茂樹	秋田大学工学資源学部材料工学科	サーメット鑄ぐるみに関する研修	金属材料部	池 浩之	7月30日 ~8月2日
梅村俊樹	秋田県立大学システム科学技術学部電子情報システム学科	電子材料の微細加工及び情報解析	電子機械部	田中慎造	8月19日 ~23日
船越うらら	岩手大学工学部福祉システム工学科	福祉機器(岩手大学工学部インターンシップ)	企画情報部	藤澤 充	8月19日 ~23日
安藤あかね	岩手大学工学部福祉システム工学科	バイオテクノロジー(岩手大学工学部インターンシップ)	応用生物部	岸 敦	9月2日 ~6日
小山大介	岩手大学工学部福祉システム工学科	画像処理(岩手大学工学部インターンシップ)	電子機械部	長谷川辰雄	9月24日 ~27日

## -4 海外技術研修員の受入れ

研修生氏名	所属	研修内容	受入部	担当者	研修期間
Eng.Ysacc CORDERO SALAS	ペルー	鋳造技術	金属材料部	勝負澤善行	8月1日 ~12月13日
Eng.Jose Adolfo ABSI DELGADO	ペルー	鋳造技術	金属材料部	勝負澤善行	8月1日 ~12月13日
アブディアス・カルデロン・クルズ	FUNVESA	鋳物のデザインについて	特産開発デザイン部・金属材料部	東矢恭明	8月6日 ~12月6日

## 技術情報業務

### -1 定期刊行物の発行

(1) 研究報告第9号 <2002(平成14)年度版> … 800部

掲載テーマ 61テーマ

平成13年度に工業技術センターで実施した研究の論文集で「工業技術センター研究報告第9号」として刊行した。(平成14年8月発行)

(2) 平成13年度業務年報 … 850部

平成13年度に実施した工業技術センター業務について取りまとめた。(平成14年10月発行)

(3) 技術情報誌 … 3,500部

年1回発行。No.20(平成14年8月発行)

(内容) センター所長就任にあたり … 岩手県工業技術センター所長 斎藤統一

平成14年度工業技術センター業務計画

研究紹介

研究員紹介

平成13年度特定産業集積活性化関連機関支援強化事業導入設備

職員名簿・人事異動

知的所有権センターのお知らせ

### -2 技術情報のオンライン検索

科学技術文献情報(JOIS) … 10件

### -3 特許情報等の提供

工業技術センター内の知的所有権センターでは、「特許電子図書館専用回線端末機器」を設置し、工業所有権情報の閲覧、提供を行っています。

#### 1 利用者数

特許電子図書館	CD-ROM公報	紙媒体公報(特許・実用)	紙媒体公報(意匠・商法)	索引抄録等	合計
445人	0人	0人	0人	0人	445人

#### 2 文献閲覧物複写状況

[社]発明協会岩手県支部委託] … 5,068枚

### -4 知的所有権センター

特許情報の有効活用を促進するため、岩手県知的所有権センターでは、平成14年度において次の事業を実施した。

#### 1 相談指導

(1) 知的所有権アドバイザー相談指導件数

開催日	開催場所	件数	開催日	開催場所	件数
14. 6.19	岩手大学地域共同研究センター	3	14.12.18	宮古地方振興局	2
14. 7.17	花巻市起業化支援センター	3	15. 1.15	水沢地方振興局	5
14. 8.21	宮古地方振興局	3	15. 1.29	(財)釜石・大槌地域産業育成センター	3

14. 9.18	(財)釜石・大槌地域産業育成センター	2	15. 2.12	花巻市企業化支援センター	2
14.10.16	岩手大学地域共同研究センター	3	15. 2.26	千厩地方振興局	2
14.11.20	(財)岩手県南技術研究センター	2	15. 3.12	(財)岩手県南技術研究センター	1
				合 計 (件)	31

## ② 相談内容

No	相 談 内 容	件数	No	相 談 内 容	件数
1	特許の基本について	2	6	実用新案の登録について	2
2	特許出願手順について	15	7	商標の基本について	1
3	特許の抵触問題について	1	8	商標の登録について	5
4	特許の譲渡について	1	9	商標の抵触問題について	1
5	特許の調査について	2	10	商標の譲渡について	1
				合 計 (件)	31

## 2 情報提供

### (1) 特許電子図書館(IPDL)端末機利用実績

(単位:件)

端末設置箇所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
専用回線端末機器	40	32	47	40	33	35	29	46	25	39	33	41	440
インターネット端末機	0	1	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	5

### ② 特許電子図書館 (PDL) 指導実績

(単位:件)

端末設置箇所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
センター指導	15	18	13	17	11	14	7	15	14	11	15	13	163
訪問指導	9	10	5	5	4	6	9	6	7	7	3	4	75
講演会 説明会	0	0	2	3	2	3	3	2	2	3	3	0	23
普及啓発	6	7	0	8	2	3	4	10	5	5	9	8	67

## 3 流通支援

### (1) 実績一覧

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特許仲介件数	3	5	4	4	5	3	3	6	9	6	3	2	53
特許流通 説明会	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	50	0	0	50
企業等訪問件数	6	5	6	7	9	4	7	14	8	3	4	3	76

### ② 特許流通成立案件

実施権許諾契約件数	10件
オプション契約	1件
秘密保持契約	1件

### ③ 岩手県知的所有権センター印刷物

岩手県知的所有権センターだより第7号(平成15年2月)・・・1,500部

## -5 広報活動

### (1) 研究等成果発表会

【日 時】 4月24日 13:30~17:00 (交流会 17:15~19:30)

【会 場】 大ホール(研究発表・講演会)、小ホール(ポスター発表・技術相談)、産業デザインセンター(交流会)

【参加人数】 139名(前年度比+228%、主な内訳/企業68名、支援機関20名、県市町村44名)

【内 容】 口頭発表(7テーマ、発表15分、質疑5分)

真空でつくるトリアジンチオール有機超薄膜の創製 / 化学部 鈴木一孝

廃棄貝殻による鉄溶湯の清浄化 / 金属材料部 高川貫仁

鉄器厨房用品へのユニバーサルデザインの活用 / 特産開発デザイン部 町田俊一

ベレットストーブの開発 / 電子機械部 園田哲也

おからを使用した食品の製造 / 食品開発部 遠山 良

天然廃棄物を利用した生分解性プラスチックの機能改変 / 応用生物部 平野高広

酒造好適米「吟ぎんが」、ぎんおとめ」の誕生とその商品化 / 醸造技術部 高橋 亨

講演会

タイにおけるものづくりの現状 / 所長 斎藤紘一

ポスター発表

平成13年度に実施した全研究テーマの成果をポスターで発表。

交流会

発表会終了後、参加者間の情報・意見交換の場として初めて実施。

【アンケート結果】 会場受付にて配布し、講演会終了後回収箱もしくはファックス等で42通を回収。

問1		
貴方はこの発表会を何で知りましたか		
選択肢	実数	%
ダイレクトメール	26	61.9
電子メール	4	9.5
ホームページ	2	4.8
県からの情報	4	9.5
産業支援機関から	3	7.1
その他	3	7.1
計	42	100

問4		
貴方は参加にあたり何に興味を持ちましたか(複数回答可)		
選択肢	実数	%
研究発表会	35	44.3
講演	21	26.6
ポスター発表	11	13.9
技術相談会	4	5.1
交流会	7	8.9
その他	1	1.3
計	79	100

問2		
案内の時期適切でしたか?		
選択肢	実数	%
適切	38	90.5
早い	0	0.0
遅い	3	7.1
わからない	1	2.4
計	42	100

問5		
よかったと思う内容 続けて欲しい内容はどれですか(複数回答可)		
選択肢	実数	%
研究発表会	30	38.0
講演	22	27.8
ポスター発表	12	15.2
技術相談会	8	10.1
交流会	7	8.9
計	79	100

問3		
案内の方法は適切でしたか		
選択肢	実数	%
適切	40	95.2
不適切	1	2.4
わからない	1	2.4
計	42	100

問6		
発表会全体の感想をお聞かせください。		
選択肢	実数	%
良い	11	26.2
やや良い	14	33.3
普通	9	21.4
やや悪い	3	7.1
悪い	0	0.0
わからない	1	2.4
無回答	4	9.5
計	42	100



②) 一般公開

【日 時】 9月27日(金)~28日(土) 9:00~17:00 (28日は16:00終了)

【来所者数】 914名(前年度比:136%、27日:276名、28日:638名)

【内 容】 以下の内容について、18箇所の展示・体験コーナーを設置。

研究紹介パネル、研究成果製品・物品等展示

平成13年度の研究成果等のパネルおよび成果物品の展示

試験研究機器紹介、加工機械等実演、試食試飲等

電子機械部:ペレットストーブ、マイクロスコープ、CAD、電波暗室利用による展示、実演

特産開発デザイン部:レーザー加工、木象嵌加工、染色実演

金属材料部:超電導磁気浮上、溶接加工(可視化)、金属の音色、鑄造体験

化学部:射出成形加工、塗装加工の実演

応用生物、醸造技術、食品開発3部合同:

トシ菓子、人工いくら、県産素材によるピザ、甘酒シャーベットの实演、試食

知的所有権センターの紹介、実演

共催行事等

企業発明くふう展まつり(発明協会岩手県支部との共催)

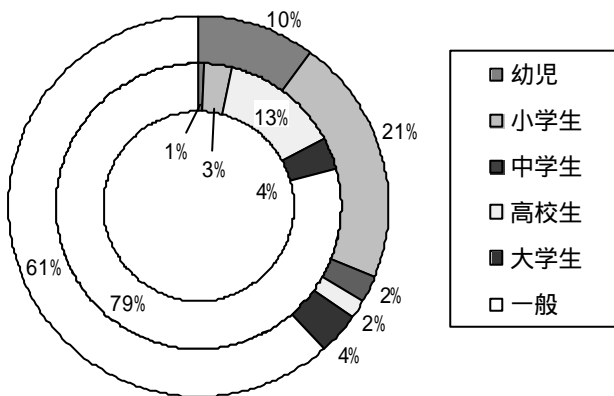
県内企業の新製品、新技術を展示紹介・・・出展44社

岩手県障害者授産施設展示&販売

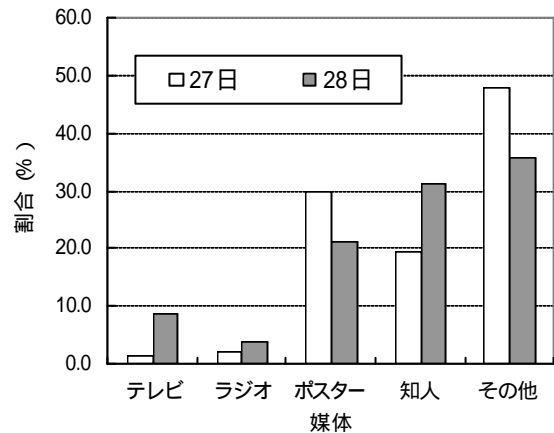
県内障害者授産施設で製作された工芸品等の展示及び販売・・・2日間で10施設

【アンケート結果】 659通回収(回収率:72%)

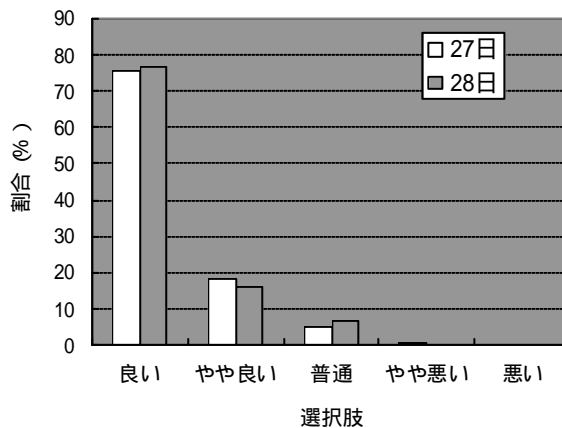
<あなたは? > (内側:27日、外側:28日)



<一般公開を何で知った? >



<全体の印象は? >



③) 各種展示会での成果発表

第7回イーハトーブの科学と技術展

【日時】7月27日(土)～29日(月) 10:00～19:00

【場所】パルクアベニューカワトク、7階ダイヤモンドホール

【主催】岩手大学地域共同研究センター、(財)いわて産業振興センター、INSほか

【内容】上記展示会に工業技術センターの研究や企業との共同研究等により創出された成果(製品等)を出展し、研究や企業支援業務を広く県民に周知した。(3日間で496名入場:昨年度比47%)

出展物は以下のとおり。また、知的所有権センターからも業務内容の出展を行った。

地域のオリジナル食品試食(ウイナーソーセージ、膨化菓子)

特産品等(ユニバーサルデザイン活用南部鉄瓶、木製車椅子、象嵌ペンダント等)

きたかみ子ども科学教室～イーハトーブ科学技術展示会～

【日時】8月17日(土) 11:00～18:00、18日(日) 10:00～17:00

【場所】北上市市民交流プラザ

【主催】岩手県、北上地方振興局、岩手大学地域共同研究センター、北上市ほか

【内容】出展物の試食・体験を通じて工業技術センターを理解していただく目的で参加した。北上でのこの種の展示会は初めてとのこと。(2日間で1,407名入場)なお、出展物は と同様であった。

(4) 成果の新聞等への掲載

No.	誌名	掲載月日	見出し等
1	河北新報	平成14年4月5日	マグネシウム合金の新塗装法開発 ノックロムで表面処理 県工業技術センターと民間企業 コスト高も解消 工程短縮 質もアップ 従来ラインでOK
2	河北新報	平成14年4月5日	香りと味わい競う 岩手・石鳥谷 南部杜氏の清酒鑑評会
3	岩手日報	平成14年4月6日	試験研究を外部評価 県がガイドライン策定 6センター対象ネットでも公表
4	岩手日報	平成14年4月7日	産業創出に民間感覚を 斎藤絏一 所長 (元富士通タイ社長) 県工業技術センター 着任 経営手法生かしたい
5	河北新報	平成14年4月11日	使命は競争力ある技術・商品 試験研究機関に評価制度 県がガイドライン 本年度から運用 外部監査も導入
6	日刊工業新聞	平成14年4月11日	キーマンに聞く 特許電子図書館情報検索指導アドバイザー 知の案内人 興味持ち楽しみながら支援 岩手県知的所有権センター 中嶋孝弘氏
7	岩手日報	平成14年4月16日	鋳物技術センター 落成 水沢
8	河北新報	平成14年4月16日	鋳物の町に新しい拠点 技術交流センター 水沢市が開設
9	日刊工業新聞	平成14年4月18日	試験研究、成果重視に 岩手県 推進へガイドライン
10	日刊工業新聞	平成14年4月19日	横顔 岩手県工業技術センター 所長に就任した斎藤絏一氏
11	日刊工業新聞	平成14年4月25日	マグネシウム合金表面被膜 ノックロム処理剤開発 環境に優しくコスト削減 岩手県工技センターなど
12	盛岡タイムス	平成14年5月1日	県工業技術センターが研究職員を募集
13	読売新聞	平成14年5月2日	県研究機関で外部評価 農業など6分野 競争力強化目指す
14	朝日新聞	平成14年5月6日	地域の再生 公共工事に頼らずに
15	朝日新聞	平成14年5月24日	地元企業の支援策探る
16	岩手日報	平成14年5月25日	ユニバーサルデザイン 使いやすい鉄器 提案 県工業技術センター 課題改善し新製品 南部鉄器協組 10作品を試作 年度内に市場へ
17	岩手日報	平成14年5月25日	「南部美人」と杜氏ら表彰 南部杜氏協会
18	盛岡タイムス	平成14年5月26日	研究成果を発表 県工業技術センターで
19	読売新聞	平成14年5月28日	県工業技術センターなど共同研究 「ホヤの肝」肝臓に効果 二日酔い改善も期待
20	河北新報	平成14年5月29日	岩手県工業技術センター 北国仕様の水系塗料開発 氷点下10度でも凍らず
21	盛岡タイムス	平成14年6月1日	冬も使える水系塗料 零下でも凍らない 環境負荷を軽減 県工業技術センターが民間と共同で開発
22	河北新報	平成14年6月1日	使いやすい南部鉄器 ハンドブックを作製 県工業技術センター
23	河北新報	平成14年6月26日	岩手大 地域にひらく大学 地元の技術積極活用 連携大学院
24	岩手日報	平成14年6月28日	いけるチップボイラー 沢内 実証試験結果を報告 杉でも燃焼、市場性あり 本格導入へ期待

No.	誌名	掲載月日	見出し等
25	盛岡タイムス	平成14年7月6日	国際産業交流研究会 製品と商品は違うもの 県工業技術センター 斎藤紘一 所長が講演
26	日刊工業新聞	平成14年7月10日	新事業創出支援を強化 岩手県花巻地域14機関参加し連絡会
27	岩手日報	平成14年7月10日	企業立地へ産学官民連携をPR 東京で県が説明会
28	毎日新聞	平成14年7月18日	「思わぬ成果生んだ」 世界最強の超電導体開発 4年がかりの研究
29	毎日新聞	平成14年7月18日	最強の超電導体開発 岩手県工業技術センターなど 3,4年後実用化へ
30	盛岡タイムス	平成14年7月18日	「世界最高」を生成 高温超電導で15テスラ 超電導工学研究所が発表 リアモーター応用へ夢膨らむ
31	河北新報	平成14年7月18日	超電導工学研究所盛岡研究所など 世界 最高磁力の高温超電導体開発
32	日経産業新聞	平成14年7月18日	ナノテクで材料改良10テスラの強磁力可能に 超電導工学研などが開発
33	岩手日報	平成14年7月18日	高温超電導で世界最高磁力 盛岡の研究所と県工業センター 生活排水浄化など応用も 米国際会議来月に発表
34	化学工業日報	平成14年7月18日	高温超電導バルク体 磁場依存を大幅改善 超電導工研 - 岩手県工技センター 10テスラで2万アンペアに
35	日刊工業新聞	平成14年7月18日	ユニバーサルデザイン採用 南部鉄器協同組合 日常生活向け拡大へ 鉄瓶など市場投入 安全性、機能性に配慮
36	岩手日報	平成14年7月22日	文科省の産学官連携事業 ナノ薄膜の生産化挑戦 「北上川流域」を採択 岩手大が補助対象に
37	盛岡タイムス	平成14年7月23日	27日イーハトーブの技術展
38	日刊工業新聞	平成14年7月29日	業界点描 南部鉄器 岩手県盛岡市 ユニバーサルデザイン 伝統工芸品にも新潮流
39	盛岡タイムス	平成14年7月29日	火星の石の紹介も イーハトーブ科学と技術展 29日まで川徳で開催
40	化学工業日報	平成14年8月1日	氷点下でも優れた乾燥性 コンクリート塗り用 水系シーラ- 開発 岩手県工業技術センターなど3者
41	盛岡タイムス	平成14年8月6日	産学官民で研究会発足 地場産業を支援へ 企画から販路までを研究
42	岩手日報	平成14年8月6日	超伝導技術で交通革命期待 レンジでチーン「冷麺」を開発 「盛岡特産」仲間入り? 県工業技術センター 大豆レシチン添加 食感十分 パック詰め 商品化へ期待
43	河北新報	平成14年9月2日	2002日本クラフト展に5社の鉄瓶入選 南部鉄器共同組合
44	日刊工業新聞	平成14年9月4日	日報アンテナ 岩手のよさ前面に勝負を
45	岩手日報	平成14年9月13日	県工業技術センター 一般公開 機能的デザインが高い評価 県工業技術センターの南部鉄器 日本クラフト展で入選 使いやすさを重視
46	河北新報	平成14年9月17日	研究成果や設備27,28日に公開 岩手県工技センター
47	盛岡タイムス	平成14年9月19日	
48	日刊工業新聞	平成14年9月20日	

No.	誌名	掲載月日	見出し等
49	日本経済新聞	平成14年9月21日	森林資源エネルギーに 岩手で樹皮燃料のストーブ開発 製紙用チップの廃材利用 燃費、普及のカギ
50	盛岡タイムス	平成14年9月22日	清酒の出来栄を審査 県鑑評会
51	盛岡タイムス	平成14年9月27日	環境保健センター一般公開
52	岩手日報	平成14年9月28日	来場者が研究の成果を体験 県工業技術センター
53	岩手日報	平成14年9月28日	端材や廃材も立派な燃料に 高効率ストーブ開発 県内3社が共同で 南部鉄器技術も活用
54	盛岡タイムス	平成14年9月28日	端材を燃料に 木工所向けにストーブ 高いエネルギー効率 県工業技術センターで公開 木質バイオマスの一環
55	盛岡タイムス	平成14年10月7日	岩手のホームスパン 県工業技術センター 産業として育成
56	日刊工業新聞	平成14年10月23日	異業種と融合
57	河北新報	平成14年10月24日	企業へ技術移転促進 高速ネット応用研究福島など3県が発表
58	岩手日報	平成14年10月29日	入居企業21社が県庁を表敬訪問 韓国産業団地公開
59	岩手日報	平成14年10月31日	岩手の木工 新感覚 グッドデザイン賞に2製品 植木鉢「ウーボット」 ハーフサイズ琴「和音」 環境に良し、音色良し
60	河北新報	平成14年11月22日	県工業技術センターの木材象眼加工法 沖縄の工房が装飾品開発 岩手発特許「里帰り」 動物絵柄のアクセサリ 盛岡で展示販売
61	岩手日報	平成14年11月26日	岩手らしさ発信 知名度高まるウニ染め 宮古の田川さんが考案 殻のエキスを着目工夫重ね多彩な色
62	盛岡タイムス	平成14年12月8日	デザインが生まれる時 ヘイッキラさん北欧家具の哲学語る
63	岩手日報	平成14年12月14日	樹皮成分もよく燃えます ペレットストーブ いわて型試作機完成 官民が共同研究来秋から量産
64	日本経済新聞	平成14年12月17日	ペレット燃料のストーブ試作機 岩手県が一般公開
65	日経産業新聞	平成14年12月17日	ストーブで温暖化対策 燃料に樹皮や木くず 岩手工技センターが共同開発
66	河北新報	平成14年12月17日	環境に「温かく」県庁県民室でPR運動 ペレットストーブ火入れ 間伐材、廃材利用促す CO2削減にひと役 すす、煙ほとんどなし
67	岩手日報	平成14年12月17日	いわて型ペレットストーブ完成祝い、火入れ式 県庁 間伐材の活用を促進 県とサンボット共同開発 今後は家庭用も
68	盛岡タイムス	平成14年12月17日	いわて型の第1号 ペレットストーブ高い燃焼効率が自慢 木質バイオマスを活用
69	岩手日報	平成14年12月19日	順調な試作機ほっと安心
70	岩手日報	平成14年12月19日	福祉分野での産学官民連携探る 盛岡でシンポジウム
71	日本農業新聞	平成14年12月27日	固めた木くずで暖かストーブ 炎が揺らぎ癒やします 試作品作り量産化へ

No.	誌名	掲載月日	見出し等
72	日刊工業新聞	平成15年1月16日	木質バイオマスストーブ開発 岩手県工技センターとサンボット 樹皮を高効率燃焼 改良加え今秋にも量産 小規模施設向け
73	岩手日報	平成15年1月26日	県工業技術センターの「象嵌装飾体の製造法」 特許、次々引き合い 既に契約9件 自治体研究機関 国内最高に
74	日刊工業新聞	平成15年1月31日	売れることが肝心
75	日刊工業新聞	平成15年2月5日	岩手県内のメーカーなど共同開発 薪ストーブ販売順調 燃料に端材、廃材使用 工務店や木工所で好評 今年の売り上げ倍増狙う
76	岩手日報	平成15年2月6日	カルシウム たっぷり カキ殻入りラーメン開発 盛岡の環境科学、県などと共同 めんに活用、健康食 「味にも自身」
77	読売新聞	平成15年3月14日	カルシウムたっぷり カキ殻利用ラーメン開発 盛岡の「環境科学」
78	岩手日報	平成15年3月26日	うまい清酒できました 盛岡で県鑑評会
79	盛岡タイムス	平成15年3月27日	県知事賞2位に岩手川 26酒蔵出品し県新酒鑑評会

## (5) 所内見学者

団体数	県内	22
	県外	5
	計	27
見学者数	県内	536
	県外	150
	計	686

## (見学者一覧)

見学月日	団体等名	人数
H14.4.18	サンポット株式会社 花巻工場	7名
H14.5.2	岩手大学農学部	3名
H14.5.9	岩手県高等学校教育研究会工業部会	27名
H14.5.13	財団法人国際超電導産業技術研究センター	2名
H14.5.14	宇都宮テクノポリスセンター土地地区画審議会	18名
H14.5.24	盛岡市環境部環境課内新工エネルギー等研究会	17名
H14.6.27	T&K	4名
H14.7.3	城東第二クラブ	37名
H14.7.23	独立行政法人農業技術研究機構東北農業研究センター	7名
H14.8.2/8.23	小岩井農牧株式会社	50名
H14.8.20	盛岡市立大宮中学校教員	35名
H14.8.21	東北地区国立学校等技術専門職員	61名
H14.8.29	菅原繁喜様	1名
H14.8.30	全国水産試験場長会	27名
H14.9.4	シンガポールNTU	12名
H14.9.17	大迫町 杜氏	20名
H14.9.19	県立花巻北高校 生徒	10名
H14.9.30	もぢか老人大学城南分校	40名
H14.10.2	玉山村好摩公民館	22名
H14.10.9	大東町進出企業連絡協議会	13名
H14.10.18	三協化成株式会社	4名
H14.10.23	盛岡市産業まつり実行委員会	50名
H14.10.29	韓国産産団地公団ミッション	24名
H14.11.27	盛岡市教研技術・家庭科部会	16名
H14.12.5	県立高度技術専門学院学生	19名
H14.12.6	県立大学盛岡短期大学部学生	26名
H14.12.6	社団法人岩手県木炭協会	15名
H14.12.10	仙北寿会	30名
H14.12.18	東北電力株式会社岩手支店	20名
H14.12.20	雫石麻の会	8名
H14.12.26	青森県相馬村議会	7名
H15.1.14	紫波町議会資源循環調査特別委員会	28名
H15.2.5	紫波町商工会工業部会	20名
H15.2.14	石橋栄子様 他5名	6名
合計		686名

(注) 上記は文書もしくは口頭にて事前に見学申し込みのあったものである。

⑥ 来所者

月別集計表

(単位:人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	備考
335	422	515	618	490	1,508	715	524	619	566	595	559	7,466	H13実績 4,720 (139%)

(注1) 前項の所内見学者数は含まず。(注2) 研究等成果発表会、一般公開の来所者数を含む。

主な来所者

月 日	来 所 者 名 ( 敬 称 略 )
4月8日	(独)新エネルギー 産業技術総合開発機構 理事 青柳桂一、技術参与 大山尚武
6月10日	大野村村長 佐々木祥吉
6月25日	朝日新聞 盛岡支局 長野暁子
7月11日	宮城県産業技術センター 所長 高橋賢一
7月11日	八戸工業大学工学部 教授 佐藤正毅
7月22日	(独)産業技術総合研究所東北センター 所長 水野建樹
8月8日	(財)新日本検定協会 顧問 大崎清志 他2名
9月4日	日本経済新聞社 盛岡支局長 塚本直樹
9月11日	(財)国際超電導産業技術研究センター 常務理事 内藤 修 他1名
9月12日	(株)東洋経済新報社広告局企画製作部 笠間勝久 他2名
10月28日	日本電炉 (株)常務取締役 門松 誠 他2名
11月6日	県議会商工文教委員会 上澤委員長 他8名
11月15日	読売新聞社東京本社 記者 滝田
11月20日	三重県北勢県民局農林商工部 部長 長谷川 他3名
12月6日	(社)発明協会 センター長 柴田勝隆 他1名
1月17日	秋田県高度技術研究所 所長 大内一弘
1月17日	青森県工業試験場 場長 新開紀彦
1月29日	東北経済産業局 係長 鈴木光弘、長橋良浩
2月13日	(独)産業技術総合研究所 シニアリサーチャー 堀尾
2月19日	四日市大学 教授 国保、三重県北勢県民局農林商工部 部長 山川



## その他の業務

### -1 産業技術連携推進会議

名 称	月 日	開催場所	出席職員	開催機関
総務部				
東北地域産業技術連携推進会議	12月4日	KKRホテル (仙台市)	斎藤 紘一、 藤澤 充	東北経済産業局長
産業技術連携推進会議総会	3月14日	虎ノ門パストラル (東京都)	手塚敏幸	経済産業省産業技術環境局長
電子機械部				
情報・電子部会春季東北・北海道地域部会	5月14日	東北経済産業局	藤澤 充	東北経済産業局、(独)産業技術総合研究所
産業技術連携推進会議情報・電子部会 秋季東北・北海道地域部会	10月3日 ～4日	ウエルサンピア会津	長谷川辰雄、 菊地利雄	福島県ハイテクプラザ
産業技術連携推進会議機械・金属部会 秋季東北・北海道地域部会	10月10日 ～11日	ウエルサンピア八戸	堀田昌宏	青森県機械金属試験所
産業技術連携推進会議第2回知的基盤部会	10月17日	広島ガーデンパレス	和合 健	広島県西部工業技術センター、(独)産業技術総合研究所
産業技術連携推進会議情報・電子部会 第7回電磁環境分科会 第12回EMC研究会	10月17日 ～18日	勾当台会館	泉田福典	宮城県産業技術総合センター
中小企業技術開発産学官連携推進事業 平成14年度産学官連携推進委員会	2月19日 ～21日	アーバンリゾート那覇	高橋幾久雄	沖縄県工業技術センター
特産開発デザイン部				
産業技術連携推進会議物質工学部会 春季東北・北海道地域部会総会	5月21日	(独)産総研東北センター	湯口靖彦	秋田県工業技術センター
産業技術連携推進会議物質工学部会総会	5月30日	(独)産総研つくばセンター	湯口靖彦	(独)産業技術総合研究所
産業技術連携推進会議物質工学部会 秋季東北・北海道地域部会	10月3日	ホールサムインよこて	浪崎安治、 有賀康弘	秋田県工業技術センター
金属材料部				
機械・金属部会春季東北・北海道地方部会	6月10日	(独)産総研東北センター	南幅留男	青森県機械金属研究所
機械・金属部会第二回総会	6月20日 ～21日	サンプラザ仙台	南幅留男	産業技術連携推進会議機械・金属部会
機械・金属部会材料研究会	9月19日 ～20日	富士ハイツ	池 浩之、 高川貫仁	産業技術連携推進会議機械・金属部会材料研究会
機械・金属部会秋季東北・北海道地方部会	10月10日	ウエルサンピア八戸	勝負澤善行	青森県機械金属研究所
機械・金属部会第43回素形材技術担当者会議	11月27日 ～29日	(独)産総研中部センター	茨島 明	産業技術連携推進会議機械・金属部会
化学部				
物質工学部会地域部会	5月15日	(独)産総研東北センター	小向隆志	秋田県工業技術センター
資源・エネルギー・環境部会地方部会春季部会	5月21日	合同庁舎 (仙台市)	小向隆志	福島県ハイテクプラザ
物質工学部会総会	5月30日 ～31日	(独)産総研つくばセンター	小向隆志	(独)産業技術総合研究所
平成14年度産業技術連携推進会議窯業部会春季東北・北海道地域部会	5月31日	宮城県産業技術総合センター	瀬川晃児	東北・北海道地方窯業部会
物質工学部会第9回表面技術分科会	6月6日 ～7日	アイリス愛知、(株)デンソー	鈴木一孝	愛知県工業技術センター

名 称	月 日	開催場所	出席職員	開催機関
第49回産業技術連携推進会議窯業部会	6月12日 ～14日	メルパルク松山	斎藤紘一、 瀬川晃児	産業技術連携推進会議窯業部 会
資源・エネルギー・環境部会地方部会秋季部 会	10月3日 ～4日	ホ・ルサムイン横手	島津裕子	秋田県工業技術センタ-
産業技術連携推進会議物質工学部会第40 回高分子分科会	10月29日 ～30日	サンレイク土浦	佐々木英幸	茨城県工業技術センター
第29回分析研究会	11月22日	(独)産総研東北セン ター	藤原智徳	(独)産業技術総合研究所東北 センター
平成14年度知的基盤部会分析分科会	12月5日 ～6日	ホリディン金沢	藤原智徳	広島県西部工業技術センター

応用生物部

生命工学部会東北・北海道地域部会	9月19日 ～20日	ホテルキャスル (山形市)	大澤純也	山形県工業技術センター
------------------	---------------	------------------	------	-------------

-2 試験研究機関関連会議

名 称	月 日	開催場所	出席職員	開催機関
全国食品関係試験研究場所長会総会	6月5日	楠公会館 (神戸市)	手塚敏幸	全国食品関係試験研究場所長 会会長
公立鉾工業試験研究機関長協議会総会	6月20日 ～21日	亀の井ホテル (別府市)	斎藤紘一、 畠山幸男	公立鉾工業試験研究機関長協 議会長
公設試共同研究事業成果普及講習会打ち合 わせ会議	7月8日	(独)産総研臨海副都 心センター	若槻正明	(独)産業総合技術研究所
食品総合研究所及び産業技術総合研究所と の交流会	7月29日 ～30日	(独)食品総合研究所	手塚敏幸	全国食品関係試験研究場所長 会会長
山ブドウ振興に係る打合せ会議	8月2日	水産会館	畠山幸男、 伊藤良仁、 櫻井 廣、 米倉裕一	林業振興課
第7回岩手県バイオテクノロジー研究推進調 整会議に係る事前検討会	10月15日	岩手県公会堂	櫻井 廣	農業技術普及課
中小企業技術開発産学官連携推進委員会	10月16日	神奈川県産業技術総 合研究所	若槻正明	神奈川県産業技術総合研究所
中小企業技術開発産学官連携推進委員会	10月21日 ～23日	広島県東部工業技術 センター	若槻正明	広島県東部工業技術センター
中小企業技術開発産学官連携推進委員会	10月23日	郡山ビューホテルア ネックス	長谷川辰雄	福島県ハイテクプラザ
第7回岩手県バイオテクノロジー研究推進会 議	10月23日	競馬会館	中山繁喜	岩手県農林水産部
部門別連携会議(醸造用微生物)	1月12日	工業技術センター	手塚敏幸、 大澤純也、 櫻井 廣、 畠山幸男、 小浜恵子、 伊藤良仁	(財)岩手生物工学研究セン ター
中小企業技術開発産学官連携推進委員会	1月23日 ～24日	広島市工業技術セン ター	泉田福典	広島市工業技術センター
平成14年度東北農業試験研究推進会議流 通加工部会	1月30日 ～31日	南部富士見ハイツ	手塚敏幸、 大澤純也	(独)農業技術研究機構東北農 業研究センター
21世紀プロジェクト平成14年度推進会議	2月16日	農林技術会議筑波事 務所	関村照吉	作物研究所
平成14年度バイオテクノロジー研究成果等検 討会	2月18日	盛岡地方振興局	櫻井 廣	農業技術普及課
中小企業技術開発産学官連携推進委員会	2月20日	かりゆしアーバンリ ゾー 那覇	高橋幾久雄	沖縄県工業技術センター
食品研究推進会議	3月6日 ～7日	国際会議場 (つくば市)	斎藤紘一	食品総合研究所理事長

## 他団体支援業務

### -1 知的財産権制度の普及・発明くふう展

～ (社)発明協会岩手県支部関係～

月 日	支援した業務	場 所	出席者
4月15日	会計監査	(社)発明協会岩手県支部	畠山幸男
4月25日	平成14年度理事会 総会	ホテル東日本	斎藤紘一、畠山幸男
8月29日	東北地方発明表彰選考委員会	青森市	杉田臣郎
9月26日	いわて発明くふう展	工業技術センター	長嶋宏之
9月27日 ～28日	企業の発明くふう展まつり	工業技術センター	企画情報部 外
10月18日	第38回岩手県発明くふう展審査会	工業技術センター	山本一之、手塚敏幸、 畠山幸男、久慈省一郎
10月27日	第38回岩手県発明くふう展表彰式	工業技術センター	斎藤紘一、畠山幸男、 久慈省一郎

### -2 (財)いわて産業振興センター支援業務

月 日	支援した業務	場 所	出席者
5月7日	第1回(財)いわて産業振興センター支援対象 企業審査委員会	マリオス	畠山幸男
5月16日	第1回地域プラットフォーム活動推進連絡会	イーハトーヴこづかた	畠山幸男
5月24日	第1回RSP事業推進会議	マリオス	杉田臣郎
5月28日	第2回(財)いわて産業振興センター支援対象 企業審査委員会	マリオス	畠山幸男
6月3日	第1回RSP事業推進会議ワーキング委員会	マリオス	畠山幸男
7月29日 ～2月3日	いわて ISO14001認証取得研究会	マリオス	和合 健
8月23日	第4回(財)いわて産業振興センター支援対象 企業審査委員会	マリオス	畠山幸男
9月10日	第2回RSP事業推進会議ワーキング委員会	マリオス	畠山幸男
12月16日	RSP事業第3回推進会議ワーキング委員会	マリオス	畠山幸男
3月24日	第8回(財)いわて産業振興センター支援対象 企業審査委員会	マリオス	畠山幸男

### -3 技能検定

技能検定職種	月日	実施場所	担当者	担当部
機械加工 (数値制御旋盤作業)	7月13日	(株)ミヤノ	和合 健	電子機械部
放電加工 (彫彫り放電加工作業)	7月29日	(株)ミニアデック	若槻正明	
機械加工 (平面研削盤作業及び数値制御フライス盤作業)	8月3日	エレック北上 (株)	堀田昌宏	
機械加工 (数値制御旋盤作業)	8月4日	西根工業 (株)	園田哲也	
技能検定集中採点	9月10日 ~12日	工業技術センター	和合 健、 堀田昌宏、 園田哲也	
機械検査	2月8日	花巻高度職業訓練校	和合 健	
建具製作 (木製建具手加工作業)	9月11日	工業技術センター	浪崎安治	特産開発 デザイン部
建具製作 (木製建具手加工作業)	11月20日	工業技術センター	浪崎安治	
鉄工 (製缶作業、構造物鉄工作業)	7月21日	ポリテクセンター花巻	高橋幾久雄	金属材料部
ダイカスト(コールドチャンバーダイカスト作業)	7月21日	品川ダイカスト工業 (株)	茨島 明	
ダイカスト(コールドチャンバーダイカスト作業)	8月22日	SMC (株)	茨島 明	
ダイカスト(コールドチャンバーダイカスト作業)	8月24日 ~25日	筑波ダイカスト工業 (株)	茨島 明	
金属熱処理	9月1日	工業技術センター	齋藤 貴、 鎌田公一 (企画)	
電気溶接 技能五輪岩手県予選	2月23日	北日本機械 (株)	高橋幾久雄	
プラスチック成形 (射出成形作業)	6月29日	(株)ミニエーム	佐々木英幸	化学部
プラスチック成形技能検定に係る打ち合わせ	7月6日	工業技術センター	佐々木英幸	
プラスチック成形 (射出成形作業)	8月1日 ~2日	工業技術センター	佐々木英幸	
塗装 (金属塗装作業)	8月27日	盛岡地域職業訓練センター	穴沢 靖	
塗装 (噴霧塗装作業)	9月7日	(株)日東工業花巻工場	穴沢 靖	
みそ2級	2月14日	工業技術センター	櫻井 廣、畑山 誠、米倉裕一	
ハム・ソーセージ	5月10日	いわてプリモト	遠山 良	食品開発部
ハム・ソーセージ	7月19日	いわてプリモト	遠山 良	

#### -4 研究会等

名称	月日	テーマ	講師(敬称略)	開催場所	受講者数
----	----	-----	---------	------	------

##### (1) 岩手県メカトロニクス研究会

第1回講習会	5月30日	H- Aロケットの概要について	宇宙開発事業団 有田 誠	(株)盛岡地域交流センター	18
		商品開発のヒント	岩手県工業技術センター 斎藤絏一		
		人口知性体実現のための仮説(パート5)	(有)泉山電子会計センター 泉山恒男		
第2回講習会	7月11日	中小企業のための高齢者・障害者配慮の企業戦略	(株)トミー 高橋玲子	工業技術センター	17
第3回講習会	9月3日	小径ドリル・エンドミル切削加工技術の動向と実用化	コベルコツールエンジニアリング (株)五反田 修 出光興産(株) 齋藤敏夫	工業技術センター	19
第4回講習会	12月6日	LabVIEWってなに?	日本ナショナルインスツルメンツ (株)白井孝光 バイスリープロジェクト(株) 樋下裕司	工業技術センター	12
第5回講習会	2月7日	三次元動作解析装置の活用	(株)ナックイメー ジテクノロジー 玉澤治夫	工業技術センター	14

##### (2) 岩手県商品開発研究会

平成14年度通常総会	5月10日	総会	特産開発デザイン部 町田俊一	盛岡市勤労福祉会館	19
夏季研修会	7月6日	商品開発		小岩井農場	42
岩泉研修会	9月28日	商品開発	特産開発デザイン部 町田俊一	岩泉町かむら旅館	21

##### (3) 岩手県接合技術研究会

役員会	5月9日			工業技術センター	
総会 講演会	6月7日	QC的発想とその考え方	工業技術センター 斎藤絏一	ホテルルイズ盛岡	14
第47回研究会	7月24日	(1)全構協 性能評価審査感想	工業技術センター 高橋幾久雄	工業技術センター	7
		(2)共同研究の実験計画検討			
		(3)技術研修「耐震設計の歴史及び免震構造と制振構造」	(有)南部設計 浜田博敏		
第48回研究会	9月19日	(1)技術研修「突合わせ継手の食違いとアンダーカットの検査方法及び補修・補強方法」	(株)小山田工業所 千葉範彦	工業技術センター	11
		(2)共同研究「メッキ無しMAG溶接用ソリッドワイヤの適用性」			
第49回研究会	11月26日	(1)超音波探傷法	北日本機械(株) 内田信也	工業技術センター	9
		(2)摩擦攪拌溶接法	東北大学大学院工学研究科 粉川博之		
		(3)金型の補修技術	日本ユテク(株)工事部 平石正廣		

名称	月日	テーマ	講師(敬称略)	開催場所	受講者数
第50回研究会	1月21日	(1)共同研究「TIG接用深溶け込み剤の適用性」	日鐵住金溶接工業(株)東北支店 佐藤荘平	工業技術センター	5
		(2)技術研修「最近にの溶接技術」			

#### (4) 岩手県材料応用技術研究会

総会 理事会 講演会	6月7日	岩手環境スタンダードの意義と効果	(有)ファブリック 佐々木明宏 環境保健研究センター 阿部恵一	ホテルルイズ盛岡	18
第150回研究会	7月4日	研削加工技術 - 高速・高能率研削加工の最新動向 -	(株)岡本工作機械製作所 三澤 喬	工業技術センター	31
第151回研究会	10月4日	(1)最近の金型材料の活用のポイント及び技術動向	大同特殊鋼(株)技術サービス部 本田弘之	北上市基盤技術支援センター	24
		(2)金型加工用最新切削工具と高精度加工・高精度加工	東芝タンガロイ(株)切削工具開発部 小木曾信文		
創立30周年記念特別講演	12月12日	(1)ものづくりに思う	岩手経済同友会 東島未起	ホテル東日本	76
		(2)これからのものづくり戦略	東京電波(株) 熊谷秀男		
第152回研究会	2月28日	TG-DTA-MS、DSC、TMAの原理と応用	ネッチグレイテバウ東京事務所 松井照夫	工業技術センター	20

#### (5) 岩手県非鉄金属加工技術研究会

総会及び第31回研究会	4月16日	(1)国際化社会への対応	工業技術センター 斎藤紘一	エスポワール いわて	21
		(2)精密鑄造について	(株)ニッテツファインプロダクツ 湊 敏則		
第32回研究会	6月6日	(1)亜鉛ダイカスト品不良のフレク不良について	美和ロック(株)盛岡工場 北方秀和	工業技術センター	14
		(2)打痕のつかい連続式Wローラショットプラスと装置の開発	SMC(株)釜石工場 平田一彦、石山友教		
		(3)表面処理に関する新技術等の紹介	(株)東亜電化 高橋清正		
		(4)良品調査	工業技術センター 茨島 明、高川貴仁		
第33回研究会	7月11日	(1)縦型無枠生型造型機の紹介	(株)岩鑄鑄造所 佐藤正光	工業技術センター	12
		(2)会社紹介「マグネシウムの今後の課題」	筑波ダイカスト工業(株)遠野工場 西田公也		
		(3)会社紹介「ダイカスト製品の加工レス化」	水沢工業(株) 菅原美喜男		
		(4)良品調査	工業技術センター 茨島 明、高川貴仁		
第34回研究会	9月10日	工場見学会		(株)バン岩手工場、(株)岩鑄鑄造所	17
第35回研究会	10月21日	(1)種々のアルミニウム合金ダイカストの実体強度に及ぼす欠陥と組織の影響	東京都立産業技術研究所 佐藤健二	工業技術センター	11
		(2)溶湯品質の改善によるアルミニウム合金の品質向上	東京工業大学 神尾彰彦		

名称	月日	テーマ	講師(敬称略)	開催場所	受講者数
第36回研究会	11月28日	①)新技術(技能)とネットワーク化	(株)京信 菊地 宏	工業技術センター	11
		②)金型温度と発生する不良の関係	(株)胆江製作所 佐藤一 二		
		③)良品調査	工業技術センター 高川貫仁、勝負澤善行		
第37回研究会		良品調査のまとめ	工業技術センター 高川貫仁、勝負澤善行	工業技術センター	4

#### ⑥) 岩手食品加工研究会

定期総会 記念講演会	6月19日	サービスで美味しさを倍に!	工業技術センター 斎藤 紘一	工業技術センター	22
異業種交流・工場視察会	11月11日	HACCP対応漬物工場	八木沢商店 河野和義	陸前高田市	12
		ゼロエミッション対応工場	(株)酔仙酒造 河野正義		
技術講演会	3月11日	JAS法及び品質表示基準の解説について	(独)農林水産消費技術センター 仙台センター 百井 弘	工業技術センター	30

#### ⑦) 岩手県果実酒研究会

岩手県果実酒研究会	11月29日	ブドウ、ワインについて	山梨大学ワイン科学研究センター 山川祥秀	工業技術センター	20
-----------	--------	-------------	-------------------------	----------	----

#### ⑧) 清酒鑑評会

岩手県清酒鑑評会及び製造技術研究会	9月19日 ~ 20日		仙台国税局鑑定官、醸造技術部員他	工業技術センター	47
岩手県新酒鑑評会及び製造技術研究会	3月25日 ~ 26日		仙台国税局鑑定官、醸造技術部員他	工業技術センター	76

# 運營業務

## -1 工業技術研究推進会議

試験研究の効果的・効率的な推進を図るため、「岩手県試験研究評価ガイドライン」及び「岩手県工業技術研究推進会議設置要綱」に基づいた外部評価を以下のとおり実施した。

### ① 工業技術研究推進会議部会

- 【日時】 食品技術部会：10月30日(水) 13:30～17:00 評価対象 9課題、委員7名  
 材料技術部会：11月 5日(火) 13:30～17:20 評価対象10課題、委員7名  
 生産技術部会：11月 6日(水) 13:30～17:00 評価対象12課題、委員6名

【場所】 工業技術センター 小ホール

【内容】 各部会毎に平成14年度業務進捗状況及び試験研究評価について説明し、各委員から技術的かつ専門的な助言・評価等を受けた。(特に 企業ニーズ、委員の意見等を研究テーマへの反映、研究成果等の企業への技術移転、職員の意識向上、組織の活性化の観点から指摘を受ける) 研究評価結果及び具体的な対応は次頁以降に記載。

### ② 工業技術研究推進会議全体会議

【日時】 3月13日(木) 13:30～16:10

【場所】 ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング

【内容】 全部会合同で開催し、上記部会結果報告と平成15年度業務計画について報告・説明し、それに対し各委員会から、業務全体に係る総合的な助言・指導・評価等を受けた。(出席委員17名)

### ③ 岩手県工業技術センター 工業技術研究推進会議委員名簿

部会名	氏名	所属・役職	備考(担当部)
会長	丹野和夫	(財)いわて産業振興センター研究開発センター長	共通
生産技術部会	岩淵 明	岩手大学工学部機械工学科教授	工業系共通
	名須川利通	リコー光学(株)取締役事業本部長	電子機械部
	厨川常元	東北大学大学院工学研究科機械知能工学専攻教授	
	土井章男	岩手県立大学ソフトウェア情報学部教授	特産開発 デザイン部
	及川 雄	(有)藤里木工所専務取締役	
	梨原 宏	東北工業大学工学部工業意匠学科教授	
材料技術部会	甲田壽男	(独)産業技術総合研究所産学官連携部門総括主幹	金属材料部
	鈴木高繁	上尾精密(株)顧問	
	堀江 皓	岩手大学地域共同研究センター長	化学部
	阿部利彦	(独)産業技術総合研究所東北センター主任研究員	
	田面木哲也	(株)ニュートン代表取締役	
食品技術部会	紺谷和夫	愛知工科大学機械システム工学科教授	食品系共通
	板橋 修	(独)産業技術総合研究所東北センター所長代理	
	小野伴忠	岩手大学農学部応用生物学科教授	応用生物部
	小林昭一	岩手大学農学部農業生命科学科教授	
	中沢伸重	秋田県立大学生物資源科学部応用生物科学科助教授	醸造技術部
	佐藤智博	(株)あさ開生産部長	
	五枚橋 裕	(有)五枚橋ワイナリー代表取締役	
食品開発部	阿部? 子	(株)道奥代表取締役社長	食品開発部
	菅原悦子	岩手大学教育学部家政科教授	

計21名



平成14年度岩手県工業技術研究推進会議部会 研究評価結果 総括表

事業名	テーマ名	区分	所内評価	委員評価	
<b>電子機械部</b>					
1	特定産業集積活性化関連機関支援事業	超精密加工技術の開発	中間	3	2.8
2	公設試共同研究推進事業	アクティブセンシングによる非破壊検査システムの開発	中間	3	3.0
3		次世代クリエイティブソリューションシステムの開発	中間	3	3.1
4		工具磨耗自動補正機能を持つオープンCNCシステムの開発	中間	3	3.0
5	ネットワーク型磁気活用研究拠点形成推進事業	SQUID応用計測システムの開発	中間	3	3.2
6	木質バイオマス燃焼機器開発普及事業	木質バイオマスストーブの開発	中間	4	3.7
7	新方式木質チップボイラー開発事業	新方式木質チップボイラーの開発	事前	4	3.5
8	特定産業集積活性化関連機関支援事業	マイクロマシニングによる高機能製品開発	事前	4	3.0
<b>特産開発デザイン部</b>					
9	研究機関共同研究推進事業	漆液及び塗膜評価技術の開発	事後	4	3.8
10	福祉機器開発事業	人に優しい福祉機器の開発	中間	3	2.8
11	特定産業集積支援機関強化指導事業(交流連携)	金型設計等におけるCADデータ転送時の互換性問題解決	中間	3	3.0
12	ユニバーサルデザイン開発技術普及推進事業	地場産業製品へのユニバーサルデザインの導入	中間	3	3.6
<b>金属材料部</b>					
13	公設試共同研究推進事業	廃棄貝殻による鉄溶湯からの脱リン	事後	3	3.0
14	特定産業集積活性化関連機関支援事業	オーステンパ球状黒鉛鉄の高度化	中間	4	3.4
15	高温超電導体試作開発事業	軽希土類系酸化物超電導バルク材料の接合技術の開発	中間	3	3.2
16	素材再利用による新材料製造技術開発事業	耐摩耗性に優れたコンポキャストマテリアルの開発とその応用	中間	3	2.9
17	即効型地域新生コンソーシアム研究開発事業	廃棄超硬合金のリサイクルによる再生超硬合金の製造技術の開発	中間	3	3.1
18	鉄リユース技術開発事業	鉄からの脱マンガン・脱クロム技術の開発	事前	4	3.0
<b>化学部</b>					
19	特定産業集積活性化関連機関支援事業	有機超薄膜による金属の防食技術開発	事後	4	3.9
20	公設試共同研究推進事業	廃プラスチックの再利用技術に関する研究	事後	4	3.9
21	ネットワーク型磁気活用研究拠点形成推進事業	磁気利用による有機めつき法における膜制御技術	中間	3	3.0
22	産業廃棄物再資源化技術開発事業	溶融・結晶制御技術による産業廃棄物の無害化と有効活用	事前	4	3.9
<b>応用生物部</b>					
23	地域先端技術共同研究開発推進事業	畜産未利用資源からの有用成分の抽出	事後	4	3.9
24	環境に優しい機能性新素材開発研究事業	天然物を利用した生分解素材の開発	事後	3	3.0
25	研究機関共同研究推進事業	寒冷地生物資源の利用に関する研究	事後	3	3.0
26	いわて新ブランド食品創生事業	バイオテクノロジーによる食品機能性解明と加工技術開発	事前	4	3.6
<b>醸造技術部</b>					
27	フードシステム高度化推進事業	米を原料としたゼロエミッション醤油製造技術の開発	事後	3	3.1
28	県産吟醸酒商品化研究推進事業	酒造好適米評価、吟醸酒酵母開発、センサ酒質表現	事後	4	3.7
29	県産清酒品質向上研究推進事業	県産清酒の品質向上に関する研究	中間	3	3.3
30	研究機関共同研究推進事業	ヤマブドウの成分分析及び新商品開発に関する研究	中間	4	3.3
<b>食品開発部</b>					
31	フードシステム高度化推進事業	豆腐製造工程残滓の食品素材化技術及び利用食品の開発	事後	3	3.1

部会	平均点	最小～最大
生産技術部会	3.2	2.8～3.8
材料技術部会	3.3	2.9～3.9
食品技術部会	3.3	3.0～3.9

評価基準	内容
4点	全体事業効果が極めて高い
3点	全体事業効果が高い
2点	全体事業効果が低い
1点	全体事業効果が極めて低い

検討課題の区分	所内評価平均点	委員評価平均点
全31課題	3.4	3.3
事後10課題	3.5	3.4
中間16課題	3.2	3.2
事前5課題	4.0	3.4

## 研究評価結果への対応

所内評価及び部会評価を踏まえ、特に部会での評価が「B」未満の下記 3 研究課題について、センターとして以下のとおり対応することとし、3 月の全体会議で各委員に対し報告 説明した。

### 超精密加工技術の開発 (中間評価)

(評価点) 2.8

(主な意見) 研究の戦略性が曖昧、具体的な成果が不明、大切な生産基盤技術

(対応策) 加工技術は県内製造業での基盤技術であり、県内企業への加工技術に関する継続的な高度化支援は重要と考える。今後は実用技術と将来技術の両面から企業で必要としている加工技術について十分に情報収集し、成果の具体的な利用方法を明確にして積極的に技術移転を行う

(処置) 予算措置をしない研究は、平成 14 年度で終了。

### 人に優しい福祉機器の開発 (中間評価)

(評価点) 2.8

(主な意見) プロジェクト研究としての連携が希薄、絞り込んだ木製車椅子の商品化に対する差別化と移乗の問題、今後も研究を継続、JIS 準拠を評価。

(対応策) すぐに商品化してほしいとの要望が多いため、セミオーダーメイドのプロトタイプによる移転企業への技術支援を優先し、JIS 強度試験準拠を売りに普及及び販売を強化する。

(処置) 予算措置をしない研究は、平成 14 年度で終了。

### 耐摩耗性に優れたコンポキャストマテリアルの開発とその応用 (中間評価)

(評価点) 2.9

(主な意見) 進捗状況が不明瞭、ニーズの明確化、多くの企業で期待。

(対応策) 研究成果の一部は学会で発表するとともに、特許も 1 月に出願予定である。また、成果の応用化に向けて企業でも実用化テストを行っており、事業は着々と進んでいる。今後はプレゼンも工夫し、より理解し易く、より成果の高い事業となるよう努力する。

(処置) 継続

## 〔参考資料〕

### 1 主要設備機器

(取得価格100万円以上)

#### (1) 日本自転車振興会補助事業(平成5年度以降取得分)

年度	機 器 名	メーカー名	型 式	部 名
5	エスカ表面解析装置	アルバック・ファイ	ESCA5600ci	化 学
	オーシエ表面解析装置	日本電子	JAMP-7100E	
6	フーリエ変換核磁気共鳴装置	日本電子	JNM-LA400	化 学
7	電源切換式真空溶解炉	富士電波工業(株)	FTH-50-3VM	金属材料
	サンドミキサー	(株)キタニ	MSU-2E型	
	デジタル式微小硬度計	(株)アカシ	MVK-H100A2	
	精密切断機	中外機工(株)	HS-100	
8	ノイズ解析装置	ヒューレット・パッカート社	8753	電子機械
	三次元表面解析顕微鏡	ZYGO(株)	New View100	
9	放射電磁界イミュニティ試験設備	日本オートマチックコントロール(株)	IEC1000-4-3, ENV50140, CISPR	電子機械
10	水銀圧入式細孔分布測定装置	(株)島津製作所	155353500350	化 学
	レーザー光散乱式粒度分布測定装置	マルバーン社	33544/345	
11	300KN精密材料試験機	(株)エー・アンド・デイ	テンシロン万能試験機	金属材料
	金属用光学顕微鏡	ライカ(株)	ライカDMR/DC12	
	精密切断機	リファインテック(株)	リファインテックRCO-270	
12	量子計測システム	Tristan Technology Inc.	Model 601-NDT-M他	電子機械
	不良解析前処理システム	カスケードマイクロテック(株)	プローズステーションRF-1他	
	構造解析システム	SDRC社	I-DEASシステム他	
13	炭素硫黄同時分析装置	LECO社	CS-200-SC-144DR	金属材料
	キャピラリー電気泳動装置	アジレント・テクノロジー社	G1600A	化 学
	小型万能試験システム	(株)オリエンテック	テンシロン RTC1210A	特産開発 デザイン
14	高温ビッカース硬さ試験機	アカシ	アカシAVK-HF	材料技術
	高温摩耗試験機	インストロン	インストロン8802	

2) 国庫補助事業 (平成6年度以降取得分)

年度	機器名	メーカー名	型式	事業名	研究テーマ	部名
6	真円度測定機	ランクテレーホフソソ	列ロント300	指導		電子機械
6	DB及びCG開発装置	東芝	AS4085UniS	広域	三次元画像による製品検査技術の高度化	電子機械
6	3次元凝固解析システム	コマツソフト	コマツソフトSOLDIA	指導		金属材料
6	原子吸光分光光時計	島津製作所	AA-6400	流動	トリアンチオールのスーパ-ファイン化	化学
6	動的接触角測定装置	オリエンテック	DCA-1	流動		化学
7	真空ミキサー	(株)橋市	大竹式	地域食品	冷麺の製造技術の高度化	食品開発
7	ガス分析ユニット	共立医科機械	GC390型	地域食品	"	食品開発
7	マイクロフォーカスX線装置	東芝岩手電機(株)	TOSMICRON-6125	広域	三次元画像による製品検査技術の高度化	電子機械
7	データ収集装置		POWAERMAC	広域	"	電子機械
7	酵母発酵力測定システム	(株)サカワサイエンス	フォーモグラフィSS, サーマルタンク, ミキサー, 高沸点成分抽出装置			醸造技術
7	窒素分析システム	(株)成瀬器械	ケルダール窒素、タンパク質分析装置			醸造技術
7	調味食品製造装置	銘醸機械(株)	洗米機、チョッパー、ろ過機			醸造技術
7	三次元自動変角光度計	(株)成瀬理工	GP-200	国際創造	軟質材の高度利用開発の研究	化学
7	薄膜物性評価装置	(株)成瀬理工	MHA-400	国際創造	"	化学
7	表面界面物性測定装置	(株)成瀬理工	AN型	国際創造	"	化学
8	CD-ROM公報編集機器	日立製作所	FLORA-DM2	知的所有	CD-ROM公報閲覧整備事業	企画情報
8	CCDマイクロスコープ	キーエンス	VH-620	戦略的	高硬度難加工金属材料の高精度加工技術	電子機械
8	信号解析装置	(株)ソー トップ	VIEW	戦略的	"	電子機械
8	大型精密定盤	ナベヤ	GP-011-0	戦略的	"	電子機械
8	横切り丸鋸盤	協和機工	PW-1000A-H	国際創造	軟質材の高度利用開発	木工特産
8	加工木材物性評価用制振性能解析装置	松下インターテクノ	ブリュ- & ケア-	国際創造	"	木工特産
8	家具デザイン用パソコンシステム	Apple	PowerMacintosh9500/200	国際創造	軟質材の高度利用開発	木工特産
8	自動一面かんな盤	桑原製作所	KU-N600	国際創造	"	木工特産
8	手押かんな盤	桑原製作所	KPN-400	国際創造	"	木工特産
8	鋳込み形成装置	高木製作所	CVP050LS	指導		木工特産
8	高速ガス溶射装置	スルザーメテコジャパン	DJC型	地域先端		金属材料
8	焼成試験装置	デンケン	KDF1700KDF 7	指導		化学
8	窯業原料精製装置	日陶科学	ALM-300W他	指導		化学
8	O2-CO2細胞培養装置	ヒラサワ	CPO2-17	地域先端	畜産未利用資源からの有用成分の抽出	応用生物
8	純水/超純水製造装置	日本ミジバア	RFG-40	地域先端	"	応用生物

年度	機器名	メーカー名	型式	事業名	研究テーマ	部名
8	マイクロコンピュータ	TPI	フォンランタイフ	基盤強化		応用生物
8	画像DBサーチ装置	INDYSYUDIO他		広域	三次元画像による製品検査技術の高度化	電子機械
8	微弱光検査装置	浜松ホトニクス	C2400-4	広域	"	電子機械
8	香り認識装置	アルファMOS	FOX3000	地域食品	酒造管理への各種センサの実用化技術	醸造技術
9	ジーンパルサー	日本バイオラット	2626	広域共同	新規呈味性を有する醸造酵母の育種	応用生物
9	蛍光イメージアナライザー	宝酒造(株)	2979113	広域共同	"	応用生物
9	アミノ酸分析システム	日本ウォーターズ	D97SHC217M	指導		応用生物
9	インテグリティシステム	日本ウォーターズ	F97TMD035P	指導		応用生物
9	グリーンパンチ	(株)日立製作所	G204467001	指導		応用生物
9	変角分光測色システム	(株)村上色彩研	0680	国際創造	軟質材の高度利用開発の研究	化学
9	総合型熱変形解析システム	NEC三栄(株)	7070283	戦略的	高硬度難加工金属材料の高精度加工技術	電子機械
9	広帯域記録8mmテープレコーダ	TEAC(株)	641010	戦略的	"	電子機械
9	3成分動力計	日本キスラー(株)	623765	戦略的	"	電子機械
9	有機薄膜形成装置	日本真空技術(株)	MF97-1131	集積活性	有機超薄膜による金属の防蝕技術	化学
9	レーザー顕微鏡	オリンパス光学工	802001	集積活性	"	金属材料
9	フレームレス原子吸光分光光度計	ハリアンジャパン	EL98023316	集積活性	"	化学
9	ケルミネッセンスアナライザー	(株)東北電子産	059	集積活性	"	化学
9	熱衝撃試験器	エタック(株)	139802005	集積活性	"	電子機械
9	特許情報検索システム	新日本製鐵(株)	735MCIF2	知的所有	特許情報が有効活用モデル事業	企画情報
9	3次元CAD補助処理装置	住商エレクトロニクス	D800690B9CBO	産学官	エコキャストテクノロジーの創造	木工特産
9	サンド・エロージョン摩耗試験装置	佐々木電気(株)	SDH-9701	産学官	"	金属材料
9	ピンオンディスク摩耗試験装置	神鋼造機(株)	88	産学官	"	金属材料
9	ダイヤモンド溶射装置用アダプター	スルザーメコン	DJ-2700	地域先導	薄肉強靱鋳鉄の表面改質による高機能化	金属材料
10	CNCパイプベンダー	日進精機(株)	980130	づくり	福祉機器開発	電子機械
10	油圧式プレスブレーキ	(株)ニコテック	35120137	づくり	"	電子機械
10	メカニカルシャーリングマシン	(株)ニコテック	45120016	づくり	"	電子機械
10	形網加工機	日東工器(株)	800019	づくり	"	電子機械
10	アーク溶接ロボット	(株)ダイヘン	1L6510Y457307	づくり	"	金属材料
10	三次元動作解析装置	(株)ナック	VICON512	づくり	"	電子機械
10	重心特性解析装置	(株)ナック	9286A	づくり	"	電子機械
10	人間工学的評価装置	日本光電工業(株)	WEB-5000	づくり	"	電子機械
10	体形応用モデリングシステム	(株)浜野エンジニアリング	HEV-600PS	づくり	"	電子機械

年度	機器名	メーカー名	型式	事業名	研究テーマ	部名
10	多加水生地圧延機	大竹麵機販売(株)	特 1	フード	手作りひつみみの機械化製造技術開発	食品開発
10	ひつみ成型分割機	レオン自動機(株)	特 1	フード	"	食品開発
10	ガスクロデータ処理器	ジールサイエンス(株)	0D534853	フード	"	食品開発
11	YAGレーザー装置	(株)日鉄溶接工業	iLS-YC-25CLAY-806H	集積活性		金属材料
11	微小部X線回析装置	(株)リガク	RINT-2550/PC理工電機(株)	集積活性		金属材料
11	放電プラズマ焼結装置	(株)イズミック	SPS-3.20MK-VI(株)イズミック	集積活性		金属材料
11	原子間力顕微鏡	セイコーインスツルメンツ	セイコーSPA-50	集積活性		化学
11	高速比表面細孔分布測定装置	島津製作所	アサップ2010	集積活性		化学
11	三次元データ入力装置	住商エレクトロニクス	モデルメーカー-TypeH	集積活性		木工特産
11	平坦度測定装置	TOROPEL	TOROPEL社FM200XR	集積活性		電子機械
11	高周波プラズマ分析システム	パーキンエルマー・ジャパン	パーキンエルマー・ジャパン製	集積活性		化学
11	金属材料結晶育成炉	(有)マテルズ	マテルズMAT-130KS	集積活性		金属材料
11	衝撃試験装置	(株)東洋精機製作	(株)東洋精機製作所DG-U	公設試	廃プラスチック類の用途開発	化学
11	携帯用滑り抵抗測定器	(株)藤原製作所	SS-A-172	公設試	"	化学
11	超微粒摩砕機	増幸産業(株)	セレンディター-MKC	公設試	寒冷地生物資源の利用に関する研究	応用生物
11	超臨界流体抽出システム	ISCO日本分光	ISCO社SFX2-1	公設試	"	応用生物
11	SQUID弱磁場検出装置	トリストンテクノロジー	トリストンテクノロジー	公設試	アクティブセンシングによる非破壊検査システム開発	電子機械
11	発光分光分析装置	SpectroAnalytical	スペクトロラフX7ZUV	公設試	廃棄貝殻による铸物溶湯からの脱リン	金属材料
11	誘電率測定実験装置(アンテナ増幅器)	HP	HP製 マイクロ波増幅機	公設試	アクティブセンシングによる非破壊検査システム開発	電子機械
11	誘電率測定実験装置(ネットワークアナライザ)	HP	HP製 タイムドメイン010	公設試	"	電子機械
11	電波無響箱	トーキン	トーキン	公設試	"	電子機械
11	自動コロニーカウンター	PROTOCOL	PROTOCOL	地域先端	畜肉未利用資源有効利用に関する研究	応用生物
11	小型発行ジャータンク	ヤスタフインテ	ヤスタフインテ	地域先端	"	応用生物
11	麵類製造装置(麵用縦型ミキサー)	大竹麵機	大竹麵機	指導		食品開発
11	麵類製造装置(研究室用麵機)	大竹麵機	大竹麵機	指導		食品開発
11	麵類製造装置(高速GPC/LCシステム)	東ソー(株)	東ソー(株)	指導		食品開発
11	麵類分析装置(ガスクロ質量分析システム)	ヒューレットパッカート社	ヒューレットパッカート社	指導		食品開発
11	麵類分析装置(ガスクロケミステーション)	ヒューレットパッカート社	ヒューレットパッカート社	指導		食品開発
11	オカラサイクロンドライア	三共エンジニアリング	三共エンジニアリング	指導		食品開発
11	グラベンダー・ビスコブラフ	グラベンダー・社	グラベンダー・社	指導		食品開発
12	高せん断レオメーター	東洋精機製作所	ハイシエアキュピログラフNo.634	産業集積		電子機械
12	樹脂圧力・比容積・温度特性測定	島津製作所	PVT-200測定装置	産業集積		電子機械

年度	機器名	メーカー名	型式	事業名	研究テーマ	部名
12	設計解析支援システム	HP他	HPNT LH 3000他	産業集積		電子機械
12	走査イオン顕微鏡	セイコーインスツルメンツ(株)他	SM I9200他	産業集積		電子機械
12	圧力分布測定器	ニッタ(株)	F-SCAN (カフユニット2+スパーレシーバーボード1+ソフトウェア1)	公設試	次世代クイエイティブソリューションの研究	電子機械
12	電磁界シミュレーションソフトウェア	REMCOM社	XFDTD 5.1Pro +RPS Support Pro	公設試	アクティブセンシングによる非破壊検査システム開発	電子機械
12	マイクロスコープ	(株)キーンズ	VH - 7000C他	公設試	オープンCNCシステムの開発	電子機械
12	簡易3次元計測加工装置	ミルタ他	計測器 :Vivid700+加工機 :NC-5RX	公設試	次世代クイエイティブソリューションの研究	電子機械
12	周波数測定アップグレードキット	アジレントテクノロジー社	8719DU # 020	公設試	アクティブセンシングによる非破壊検査システム開発	電子機械
12	オープンCNC旋盤	(株)森精機製作所他	SL - 153M C他	公設試	オープンCNCシステムの開発	電子機械
12	レーザー	イオノプティック社他	JOL - D 8P他	公設試	アクティブセンシングによる非破壊検査システム開発	電子機械
12	CAD/CAMデータ修正システムソフトウェア	ITI	ITI CAD fix	産業集積		電子機械
12	CAD/CAMデータ修正システムハードウェア	HP他	HP Visualize Workstation X866他	産業集積		電子機械
12	電界放射型電子顕微鏡	(株)エリオニクス	ERA - 8800FE他	産業集積		金属材料
12	真空アーク溶接炉	日本特殊機械(株)	AF - 102 - 134	公設試	廃棄貝殻による鋳物溶湯からの脱リン	金属材料
12	小型高温高圧調理器	鳥取三洋電機(株)	鳥取三洋電機 クックロボ75L	フード	小型高温高圧調理器による雑穀利用食品	食品開発
13	3次元振動解析装置	グラフテック(株)	AT7300他	産業集積		電子機械
13	超微細放電加工機	三菱電機(株)	EDSCAN8E	産業集積		電子機械
13	製品解析用3次元モデル試作装置	シーメット(株)	SOUP 600GS	産業集積		特産開発デザイン
13	万能材料強度試験システム	(株)島津製作所	UH-F1000 kN	産業集積		金属材料
13	溶接接合部内部欠陥評価システム	コントロールビジョン	MWI-	産業集積		金属材料
13	コーティングテスター	高橋エンジニアリング	ACT-JP 3型	産業集積		金属材料
13	蛍光X線分析装置	フリップス社	Ma gx PRO-S	産業集積		金属材料
13	複合腐食評価装置	PRODUCTS社	Q-FOG CCT1100他	産業集積		金属材料
13	リアモーターステージ	(株)中央精機	ALD-105-H1L	公設試	オープンCNCシステムの開発	電子機械
13	光電界センサー	京都セミコンダクタ(株)	EFST13	公設試	アクティブセンシングによる非破壊検査システム開発	電子機械
13	RF信号発生器	ローテ・シュルツ社	SMR-20	公設試	〃	電子機械
13	スベクトラムアナライザ	アドバンテスト社	R3172	公設試	〃	電子機械
13	小型乳酸菌培養システム	エイブル(株)	BMJ-1型他	フード	米を原料としたゼリーミクション醤油製造技術	醸造技術
13	ブドウ糖自動測定装置	東洋紡績(株)	ダイヤグルカHEK-60	フード	米を原料としたゼリーミクション醤油製造技術	醸造技術
14	精密磁化測定装置	米国カンタムデザイン	M P M S	産業集積		金属材料
14	ウォータージェット加工機	北川工業	APL - 120C	産業集積		電子機械
14	樹脂金型評価システム	モールドフロー	モールドフロー M PA	産業集積		電子機械

年度	機器名	メーカー名	型式	事業名	研究テーマ	部名
14	熱分析システム	ネッチゲレイテパウ	STA409C	産業集積		化学
14	レーザー三次元測定器	三鷹光器	NH - 3PS	産業集積		電子機械
14	振動装置	富士工業(株)	FUM - 1	素材		電子機械
14	高硬度粉末造粒成型装置	(株)パウレック	FD - MP - 0	素材		金属材料

(注) 補助事業の名称

- 指導 : 技術指導施設費補助金
- 広域 : 技術開発研究費補助金 (広域共同研究推進事業) (H3 ~ H11)
- 流動 : 生活地域流動研究事業 (H5 ~ H7)
- 地域食品 : 地域食品産業高度化総合推進事業 (H7 ~ H9)
- 国際創造 : 国際技術創造研究推進事業 (H7 ~ H9)
- 知的所有 : 知的所有権センター管理運営事業 (H8 ~ H11)
- 戦略的 : 戦略的地域技術形成事業 (H8 ~ H10)
- 地域先端 : 地域先端技術共同研究開発促進事業 (H8 ~ H10)
- 基盤強化 : 中小企業経営基盤強化事業 (H8)
- 産業集積 : 特定産業集積活性化関連機関支援強化事業 (H9 ~ H14)
- 産学官 : 地域産学官共同研究推進事業 (H8 ~ H10)
- 地域先導 : 地域先導研究事業 (H10 ~ H12)
- 公設試 : 公設試共同研究推進事業 (H10 ~ H14)
- づくり : ものづくり試作開発支援センター整備事業 (H10)
- フード : フードシステム高度化対策事業
- 素材 : 素材再利用による新材料製造技術開発事業 (H14 ~ H16)



(3) 県単独事業 (平成6年度以降取得分)

年度	機 器 名	メ ー カ ー 名	型 式	部 名
6	ワークステーション	アップルコンピュータ社	Power Mac810	電子機械
	オートサンプラー	ウォーターズ	7177ラス	応用生物
	蛍光リーダー	コスモバイオ	SLT-F1	応用生物
	マイクロプレートリーダー	バイオラット	3550UV	応用生物
	2次元電気泳電解析システム	ファルマシア	マルチフォ	応用生物
	味認識装置	アンリソ	SA401 MSS325	醸造技術
	マルチオートカウンター 三精米器 (30kg)	藤原製作所 新中野工業	KC-10 型 RP-5型	醸造技術 醸造技術
7	プレゼンテーションソフトウェア	東芝岩手電機(株)	Netscape	企画情報
	インターネットサーバー	東芝岩手電機(株)	AS4035/85FX1	企画情報
	米品質判定装置	静岡製機(株)	RS-200型	醸造技術
	小型超高温炉	(株)アドバンテック	マッフル方式標準仕様	化 学
	パソコン (指導用) スクラッチテスト	東芝岩手電機(株) (株)島津製作所	東芝PV3538CW SST-101	企画情報 化 学
8	光造形装置樹脂交換用小型樹脂槽	シーメット	SP400用	特産開発
	焼成炉	シンコー科学	MGH-DP-150S	金属材料
	精密鑄造装置	東京ロストワックス工業	TLW-9610	金属材料
	超精密成形研削盤 方向性凝固装置	長島精工 佐々木電機本店	NP515-F SNO-961	金属材料 金属材料
9	真空蒸着装置	日本電子(株)	JK130132-1039	金属材料
	溶射用ブース	第一開明(株)	KAIMEI11	金属材料
	純水製造装置	(株)ヤマト科学	35600703	応用生物
	ワックス射出成形機	(株)東京ロストワックス工業	46809	特産開発
	透磁率測定装置	愛知製鋼(株)	98011	金属材料
	湯流れ解析装置	(株)コマツソフト	3647J00549	金属材料
	精密ラム形ソフトフライス盤	長島精工(株)	P5-9702-56	金属材料
	循環ファン付き箱型電気炉	中外エンジニアリング	EQ19-2606	金属材料
	灼熱加熱炉	中外エンジニアリング	EQ19-2623	金属材料
	ラボラトリー ディスクヨレ 20リットル醗酵タンク	BUHLER MIAG ヤスタグファインテ(株)	20353952 14082-01,02	醸造技術 醸造技術
10	ペンキ-マルテス密閉式自動引火点試験器	田中科学機器製作(株)	APM-6形	化 学
	塗装面測定装置	ミルタ(株)	22711016	化 学

## 2 知的財産権の取得・出願状況

### (1) 取得 < 特許 >

No.	名 称	取得年月日	特許番号	発 明 者	
				所 属	氏 名
1	廃棄物を用いたコンクリート組成物	H14.12.13	3379644	化学部 岩手大学	佐々木秀幸 藤原忠司、江東
2	鋳鉄の熱処理方法	H14.10.25	3364193	金属材料部 企画情報部	勝負澤善行、茨島 明、 高川貫仁 池 浩之
3	石鹼含有体及び石鹼含有体の製造方法	H14.10.11	3359059	特産工業部 木材工業部 松川温泉(株)	佐々木 陽 高橋民雄 高橋 晟
4	走査型スライト顕微鏡	H14.4.26	3302344	電子機械部 (株)アオバサイエンス	大坊真洋
5	軟質木材用塗料組成物	H14.3.1	3283429	化学部 特産開発デザイン部 産業技術短大 特産開発デザイン部 斉藤(株)	穴沢 靖 浪崎安治 高橋民雄 有賀康弘 東 達弥
6	木材の熱処理方法	H13.7.19	3212708	化学部 松川温泉(株) 産業技術短大	佐々木 陽 高橋 晟 高橋民雄
7	鋳鉄製品の製造方法	H12.8.11	3099011	金属材料部	川原正弘
8	ホログラム、ホログラムの作成方法及びホログラムの作成装置	H12.8.11	3098202	電子機械部 東北学院大学	大坊真洋 木村光照
9	物体の透視装置	H12.5.19	3068823	電子機械部 岩手大学	大坊真洋 田山典男
10	鋳造製品の製造方法	H12.3.24	3049055	企画情報部 金属材料部	池 浩之 勝負澤善行、茨島 明、 高川貫仁
11	金属の金型鋳造方法	H12.1.21	3025667	金属材料部 (株)水沢鋳工所	川原正弘 高橋和義
12	CT 装置	H11.6.11	2936391	電子機械部 岩手大学	大坊真洋、南幅留男、藤 澤 充、熊谷隆美、長谷 川辰雄 田山典男
13	物体の透視装置	H11.6.4	2934858	電子機械部 岩手大学	大坊真洋 田山典男
14	象嵌装飾体の製造方法	H9.7.4	2668191	木工特産部 (有)一戸チップ工業所	浪崎安治、有賀康弘、高 橋民雄 田村邦彦
15	冷麺の製造方法	H9.2.27	2611911	保存流通部 県乾麺工業協同組合 岩手大学	遠山 良 碁石芳男 櫻井米吉
16	金属とゴム、プラスチックおよび塗料等の有機材料との接着方法	H8.11.6	2108012	化学部	河野隆年、小向隆志、瀬 川晃児、佐々木英幸
17	ポリアミ系樹脂組成物及びそのめっき方法	H8.9.2	2089804	化学部	佐々木英幸
18	被測定物の位置検出方式	H8.8.23	2082336	機械金属部 計量研究所 ラビアス電気(株)	南幅留男、佐々木 淳 切田 篤 大島千里、中島敦弘
19	漆液の精製装置	H8.4.25	2047435	特産工業部 東森電子(株)	町田俊一、高橋勇介 安永 繁、大森栄一
20	切断青果物の保存処理方法	H8.4.25	2047443	保存流通部	関村照吉
21	鋳物砂の水分調整方法 鋳物砂の水分調整装置	H6.6.21	1851652	機械金属部	米倉勇雄、南幅留男、高 橋正明、藤澤 充、菊池 浩之、佐々木 淳

### < 意匠 >

No.	名 称	取得年月日	登録番号	発 明 者	
				所 属	氏 名
1	机	H14.10.4	1159049	特産開発デザイン部 産業技術短大	有賀康弘、浪崎安治 高橋民雄

② 出願中  
< 特許 >

No.	名 称	出願年月日	出願番号	発 明 者	
				所 属	氏 名
1	金属複合材の製造方法	H15.3.26	2003-84733	金属材料部 企画情報部	池 浩之、勝負澤善行、 高川貫仁 茨島 明
2	断熱路盤構造	H15.3.24	2003-79449	化学部 環境保健研究センター 岩手大学 岩手建工(株)	佐々木秀幸 酒井晃二 藤原忠司 下家正治、他
3	ペレット燃料燃焼装置	H.14.12.13	2002-362461	特産開発デザイン部 電子機械部	東矢恭明、 堀田昌宏、園田哲也、田 中慎造
4	木質ペレット燃料燃焼装置	H.14.12.13	2002-362460	特産開発デザイン部 電子機械部	東矢恭明、 堀田昌宏、園田哲也、田 中慎造
5	臨界電流密度の高い酸化物超電導体	H14.11. 8	2002-325504	金属材料部	齋藤 貴、小野 元
6	生体内の障害を緩和する機能性組成物	H14. 9.20	2002-313481	応用生物部	小浜恵子、山口佑子
7	速乾性漆液の加工装置	H14. 7.31	2002-222396	特産開発デザイン部 産業技術短大	町田俊一 小林正信
8	臨界電流密度の高い酸化物超電導体	H14. 7. 8	2002-198284	金属材料部 企画情報部	齋藤 貴、小野 元 鎌田公一
9	アルミニウム合金と同時処理可能なマグネシウム合金の表面処理方法	H14. 4.26	2002-49753	化学部	穴沢 靖
10	冬期(氷点下)から夏期(40℃)に渡って、全ての季節に施工できる水系下塗材用組成物	H14.3.28	2002-91215	化学部 (社)日本塗装工業会 (株)セブンケミカル	穴沢 靖 木村光徳、吉田勇太郎、 高橋孝治 久保田信二、小貫真裕
11	近接場光励起スクイット顕微鏡装置	H14.3.27	2002-89341	電子機械部 岩手大学	大坊真洋
12	使用済みコンクリート型枠からの炭化物	H14.3.25	2002-83634	化学部 岩手大学 (株)小松組	佐々木 陽 成田榮一 佐々木 勲
13	表面処理剤、表面処理方法、及び表面処理された製品	H14.2.26	2002-49753	化学部 (株)共立 (株)日本バレーライジング	穴沢 靖 丹野信一、軽部健志 大下賢一郎、綾野幸彦
14	半導体の検査方法及び半導体の検査装置	H13.12.27	2001-397801	電子機械部	大坊真洋
15	廃プラスチック担持体及び製造方法	H13.10.29	2001-330360	特産開発デザイン部 ジェイティーン(株) (株)ウエルテック	浪崎安治、有賀康弘 草薙義勝 佐藤文昭
16	トリアジノチオール誘導体の薄膜形成方法	H13.10.26	2001-329030	化学部 岩手大学	鈴木一孝 森 邦夫、馬場 守
17	部分炭化木製品	H13.10.3	2001-307475	化学部 岩手大学 (株)小松組	佐々木 陽 成田榮一 佐々木 勲
18	アスファルト混合物及びその製造方法	H13.7.5	2001-204652	岩手建工(株) 企画情報部 環境保健研究センター	下家正治、大沼一人 佐々木秀幸 酒井晃二
19	地盤形成方法	H13.7.5	2001-204651	岩手建工(株) 企画情報部 環境保健研究センター 岩手大学	下家正治、大沼一人 佐々木秀幸 酒井晃二 藤原忠司
20	スクイット磁気画像化装置	H13.3.30	2001-101264	電子機械部 岩手医科大学	大坊真洋 志子田有光
21	レーザー加熱装置及びレーザー加熱方法	H13.3.30	2001-101263	電子機械部	大坊真洋
22	3次元形状計測システム	H13.3.30	2001-102228	電子機械部 岩手県立大学	長谷川辰雄 土井章男
23	鑄鉄溶湯からの脱リン方法	H13.3.27	2001-90664	金属材料部 企画情報部	高川貫仁、勝負澤善行、 茨島 明 池 浩之
24	固体表面の装飾被膜形成方法及び固体表面の装飾被膜	H13.3.27	2001-90663	化学部	鈴木一孝
25	磁気測定装置及び磁気測定方法	H13.2.26	2001-050294	電子機械部	大坊真洋

26	針葉樹用紫外線硬化塗料組成物	H12.11.9	2000-341850	化学部 木工特産部	穴沢 靖、 高橋民雄、浪崎安治、有 賀康弘、小宮山健二
27	複合材及び複合材を用いたブロック体	H12.11.2	2000-335644	化学部 セイナン工業(株)	佐々木秀幸 江 東
28	リンゴジュースの製造方法	H12.3.9	2000-65125	醸造技術部 (有)阿部農園	桜井 廣、平野高広 阿部皓夫
29	単板積層材及び単板積層材の製造方法	H12.3.2	2000-57181	化学部 木工特産部  林業技術センター 宮古地方振興局林務部	穴沢 靖 高橋民雄、浪崎安治、有 賀康弘 谷内博規 高芝俊雄、川村 守
30	ロボット動作教示装置	H12.1.31	2000-23067	電子機械部	長谷川辰雄
31	木材の炭化処理法	H11.9.30	平 11-277719	化学部 岩手大学 日本エコシステム(株)	佐々木陽 成田榮一、蓬田 茂 大久保和男
32	微生物担体及びこれを利用した生ごみ処理装置	H11.7.16	平 11-203729	応用生物部 化学部 日本エコシステム(株)	山本 忠 佐々木陽 大久保和男
33	ワイン酵母の交雑育種方法	H11.2.25	平 11-48404	醸造技術部 前醸造技術部 (財)岩手生物工学研究セ ンター	櫻井 廣、中山繁喜 小林麻由美 中沢信重、大川久美子、 佐藤利次、江井 仁
34	臨界電流密度の高い酸化超電導体	H10.7.1	平 10-186629	化学部 金属材料部 (財)国際超電導産業技 術研究センター	瀬川晃児 鎌田公一、齋藤 貴 村上雅人、ミヤラ ムラ リダ
35	ワックス原形の成形装置	H10.3.12	平 10-61372	木工特産部 金属材料部 化学部	町田俊一、小林正信 米倉勇雄 鈴木一孝
36	鋳鉄の複合材及び鋳鉄の複合材の製造方法	H10.2.20	平 10-56148	金属材料部	勝負澤善行、茨島 明、 池 浩之、高川貫仁
37	生ゴミ処理用多孔質酸性化木材チップ及びその製造方法	H9.8.28	平 9-247911	応用生物部 木工特産部 松川温泉(株) (株)日本エコシステム	山本 忠 佐々木 陽 高橋 晟 大久保和夫
38	鋳鉄の製造方法	H8.2.29	平 8-71277	金属材料部  (株)ベン岩手工場	川原正弘、高橋幾久雄、 米倉勇雄 深沢達雄、梶原英司
39	金属の熱処理装置	H7.6.2	平 7-136513	金属材料部 (株)アクト企画 岩手鋳機工業(株)	勝負澤善行 田中 宏 石川健壽、及川吉道
40	刃物及びその製造方法	H5.12.15	平 5-314993	管理部 特産工業部 木材工業部 岩手鋳機工業(株)  釜定本店	勝負澤善行 町田俊一 有賀康弘 石川健壽、及川吉道、加 藤敬二、 渡辺史彦 宮 伸穂
41	農耕用鋳造耕耘爪	H3.7.17	平 3-204067	水沢分室 都生工業(株)	勝負澤善行 田中 宏

< 意匠 >

No.	名 称	出願年月日	出願番号	発 明 者	
				所 属	氏 名
1	温風暖房機	H14.12.2	2002-33285	特産開発デザイン部 電子機械部	東矢恭明、 堀田昌宏、園田哲也、田 中慎造
2	温風暖房機	H14.12.2	2002-33284	特産開発デザイン部 電子機械部	東矢恭明、 堀田昌宏、園田哲也、田 中慎造
3	学校用家具 (イス)	H14.3.27	2002-7985	特産開発デザイン部 産業技術短大	有賀康弘、浪崎安治 高橋民雄

### 3 職員の海外研修・海外調査

No.	職 員	出張期間	出張先	研修・研究調査テーマ
1	金属材料部主任専門研究員 勝負澤善行 木工特産部主任専門研究員 浪崎安治	H7.10.16 ~ H7.10.24	アイルランド	リマリック大学との共同研究に関する説明・意見交換 大学の関係分野の視察、企業視察
2	木工特産部主任専門研究員 町田俊一 専門研究員 有賀康弘	H7.11.16 ~ H7.12.2	アイルランド デンマーク フィンランド	デザイン技術調査 企業視察
3	副所長(工業) 河野隆年 金属材料部主任専門研究員 勝負澤善行 企画情報部主任専門研究員 藤原裕雅	H8.3.16 ~ H8.3.24	アイルランド	木材技術センター調査 家具等のデザイン状況調査 企業視察 ジェトロ・ダブリン訪問
4	醸造技術部主任専門研究員 中山繁喜	H8.6.30 ~ H8.7.10	ドイツ ベルギー	岩手県地ビール研究会 地ビール事情調査
5	醸造技術部専門研究員 小澤麻由美	H8.6.29 ~ H8.7.9	フランス ドイツ	欧州地域におけるワイン醸造技術の調査
6	木工特産部上席専門研究員 高橋民雄 主任専門研究員 浪崎安治 専門研究員 小林正信	H8.7.24 ~ H8.8.2	アイルランド	木工手工具技術技能交流 企業視察
7	木工特産部主任専門研究員 浪崎安治 金属材料部専門研究員 茨島 明	H8.11.19 ~ H8.11.29	アイルランド	ADI製木工用刃物の研究調査 企業視察
8	木工特産部上席専門研究員 町田俊一 主任専門研究員 浪崎安治 企画情報部上席専門研究員 藤原裕雅	H9.6.14 ~ H9.6.20	アイルランド	MC QUADE工学部長との会談 ウッドテクノロジーセンターでの成果視察 小径木広葉樹の乾燥技術についての意見交換 今年度の交流計画、次年度以降の計画 企業視察 GRANGER SAWMILLS LIMITED MUNSTER JOINERY LIMITED REGIONAL TECHNICAL COLLEGE LIMERICK SCHOOL OF ART & DESIGN ハント博物館見学
9	金属材料部主任専門研究員 茨島 明 専門研究員 池 浩之 木工特産部専門研究員 小林正信	H9.11.16 ~ H9.11.26	アイルランド 英国	ウッドテクノロジーセンター施設 設備見学 リマリック大学にて研究発表、Howmedica社工場視察 デザインセンター(ダブリン)視察 JETROダブリン事務所(木材事情調査) JETROロンドンセンター(木材事情調査) アイルランドの木材事業についてVTR説明 ADI製刃物によるトカスプールの切削試験
10	所長 甲田壽男 副所長(工業) 河野隆年 木工特産部主任専門研究員 浪崎安治 主任専門研究員 有賀康弘	H10.2.25 ~ H10.3.4	アイルランド	ULWTC展示会に参加 ウッドテクノロジーセンター幹部との会談 プロジェクトの締めの会合 自然環境大臣との懇談 リマリック大学視察 水力発電所訪問 Willamette-Europeの工場見学 イノベーションセンターの見学
11	食品開発部主任専門研究員 関村照吉	H10.4.6 ~ H10.4.9	大韓民国	冷麺、ひつまみ技術調査 国際食品展調査
12	木工特産部専門研究員 小林正信	H11.1.31 ~ H11.2.5	大韓民国 ソウル市 全羅北道	日韓漆関連技術交流会への参加 漆器展示会への出品・シンポジウムでの発表 漆植栽地見学 螺鈿漆器工房見学
13	食品開発部主任専門研究員 関村照吉	H11.5.11 ~ H11.5.15	大韓民国 山林庁	ひつまみ 冷麺技術調査
14	木工特産部専門研究員 小林正信	H11.7.5 ~ H11.7.11	大韓民国	韓国における薬剤施用による採漆、漆精製技術及び分析・評価技術
15	金属材料部上席専門研究員 勝負澤善行 企画情報部専門研究員 池 浩之	H11.10.4 ~ H11.10.15	ペルー共和国	南部鉄器製造技術を含む鋳物技術での国際交流 協力
16	木工特産部主任専門研究員 有賀康弘	H11.11.20 ~ H11.11.28	フィンランド	北欧の家具等木製品開発及び生産技術調査
17	醸造技術部部長 櫻井 廣	H12.1.31 ~ H12.2.6	オーストラリア	オーストラリアにおける酒類製造販売状況調査
18	木工特産部上席専門研究員 町田俊一	H12.5.9 ~ H12.5.16	フィンランド	北欧におけるデザイン工芸の状況調査
19	化学部主任専門研究員 鈴木一孝	H12.12.13 ~ H12.12.20	ホルレル	磁気利用による有機めっき法における膜制御技術に関する研究成果発表
20	化学部上席専門研究員 佐々木 陽	H12.12.14 ~ H12.12.21	ホルレル	硫化水素型高温温泉水処理木材の炭化とその性質に関する研究成果発表
21	特産開発デザイン部 上席専門研究員 町田俊一	H14.7.30 ~ H14.8.6	台湾	中日技術合作計画 2002 地方工業産業の運営及び販路促進の策劃(台湾省国立工芸研究所)
22	電子機械部主任専門研究員 長谷川辰雄	H14.6.22 ~ H14.6.30	米国 ラスベガス シアトル	地域産業活性化のための独創的情報処理技術(IT)の開拓及び実用化調査

#### 4 海外発表

No	発表者	出張期間	出張先	発表内容	予算事業名
1	金属材料部 主任専門研究員 瀬川晃児 専門研究員 齋藤 貴	H7.6.17 ～6.24	アメリカ ハワイ州 マウイ島	Microstructure and Suprconolucting Properties of OCMG Processed (Nd,Sm,Eu)-Ba-Cu-O Composite Bulks	高温超電導体試作開発事業
2	金属材料部 主任専門研究員 鎌田公一	H7.12.12 ～12.18	アメリカ ハワイ州 ホノルル市	Influence of the Alloying Elements on the Mechanical Properties of SUS 304 Steel Powders by Liquid-phase Sintering Method	高温超電導体試作開発事業
3	金属材料部 主任専門研究員 鎌田公一	H12.12.12 ～12.18	アメリカ ハワイ州 ホノルル市	Mechanical Alloying of Ti-Al Powder Mixture in Argon Containing Nitrogen Gas	高温超電導体試作開発事業
4	電子機械部 専門研究員 大坊真洋	H8.6.6 ～6.12	アメリカ コロラド州 デンバー市	Developments of CT System Using Singular Value Decomposition Method	広域共同研究推進事業研究員海外派遣事業(情報科学課)
5	電子機械部 専門研究員 長谷川辰雄	H8.11.17 ～11.28	アメリカ マサチューセッツ州 ボストン市	Developments of Intersctive Multimedia Database	研究員海外派遣事業(情報科学課)
6	木工特産部 上席専門研究員 佐々木 陽	H9.10.11 ～9.10.18	アメリカ サンフランシスコ	Case Studies Developing local Industry dy Hotspring Water and Geothermal Energy	研究員海外派遣事業(情報科学課)
7	木工特産部 上席専門研究員 高橋民雄 主任専門研究員 浪崎安治 化学部 主任専門研究員 穴沢 靖	H9.10.30 ～11.3	中国 蘇州	Improvement in the Soft wood Coating	国際技術創造研究推進事業
8	電子機械部 専門研究員 大坊真洋	H10.7.18 ～7.26	アメリカ カルフォルニア州 サンディエゴ市	Visualization of X-ray Computer tomography using computer gene-rated holography	基盤的先導的技術研究事業
9	応用生物部 主任専門研究員 小浜恵子	H10.9.13 ～9.19	アメリカ ミネソタ州 ミネアポリス	Food functionality and structure of millet protein:Effect of dietary protein from proso,fox-tail and Japanese millets on cholesterol and triglyceride metabolism,especially plasma HDL levels	研究員海外派遣事業(情報科学課)
10	木工特産部 上席専門研究員 佐々木 陽	H11.3.1 ～3.9	フィリピン マニラ市	Case Study on the System for Decomposition of Garbages by using Small Wood Pieces treated in the Hot Spring Water	基盤的先導的技術研究事業
11	電子機械部 主任専門研究員 大坊真洋	H13.8.23 ～9.4	デンマーク コペンハーゲン	Non-contact Evaluation of Semiconductors using a Laser SQUID Microscope	地域結集型共同研究事業
12	電子機械部 主任専門研究員 長谷川辰雄	H14.6.22 ～6.30	アメリカ ラスベガス	A simple three-dimensional measurement of human shape using mesh net	政策課題海外派遣研修

## 5 主要行事及び特記事項一覧表

月 日	主 要 行 事 及 び 特 記 事 項 等
4.1	工業技術センター初 民間出身所長就任
4.15	センター利用満足度調査を開始 (任意アンケート)
4.23	研究等成果発表会開催
6.18	県境産廃不法投棄現場視察 (環保研センターと合同)
7.1	所内人事異動 (藤澤上席 :電機 企画、佐々木 (秀) 主専研 企画 化学)
7.1	テクノブリッジ推進事業正式スタート
7.17	超電導工学研究所との共同研究成果を記者発表 (県庁)
7.23	県広報誌 Signal 7月号で工業技術センター活動内容を紹介
7.26～28	いわてクリーンエネルギーフェア2002に木質ペレットストーブを出展
7.27～29	イーハトーブの科学と技術展に研究成果を出展
8.6	JICAペルー研修生3名受入 (金属材料部、特産開発デザイン部)
8.14	技術情報誌 (No.20)発行
8.17～18	きたかみ子ども科学教室に研究成果を出展
8.26～30	インターンシップ研修生受入
8.29	研究報告 (第9号)発行
9.1	電子機械部に遠藤専研着任
9.27～28	一般公開開催 (企業発明くふう展まつり併催)
10.1	所内人事異動 (茨島主専研 :金属 企画)
10.16	企画情報部に賢木主事着任
10.28	所内消防訓練実施
10.30	工業技術研究推進会議部会 :食品技術部会
11.5	〃 材料技術部会
11.6	〃 :生産技術部会
12.20	JICA研修生成果発表会
1.17	北東北公設試技術連携推進準備会第1回会合を開催 (当センター)
1.28～29	ISO14001定期審査
2.20	会計検査院による会計実地検査
3.10	県科学技術振興議員懇談会で所長講演
3.14	工業技術研究推進会議全体会議
3.26	平成15年度基盤的・先導的技術研究推進事業ヒアリング
3.27	手作りビデオ編集委員会が工業技術センター所長賞受賞